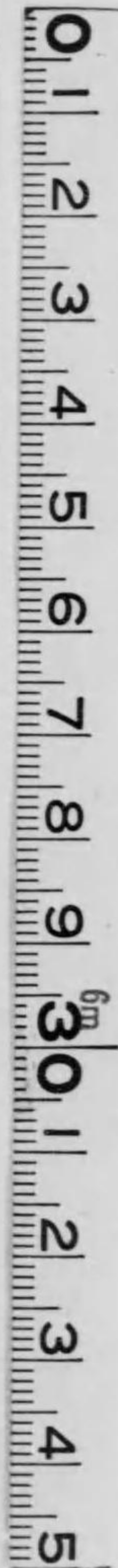


11  
266

執持鈔講錄 全



始





11-266



講師池原雅壽述

執持鈔講錄

大正六年度安居

大正  
6. 7. 5  
内交



執持鈔分科

將講此鈔五門分別

一造意

初緣起(有二義)

二正造意

初通造意

二別造意

初就宗祖

二就覺師

二大意

三題號

四本文五



初第一章二

初票

二正學宗祖言二

初明來迎在諸行往生義

別科

初解文相

二問答料簡

二明眞實信心不待來迎義

別科

初論起釋由

二解文相

三問答料簡

第二章二

○一本願寺聖人等

迎ハ諸行等

○眞實信心ノ等

初票

二學宗祖言二

初出讚文

二示往生要二

初示歸佛二

初票信心爲先義

二顯歸他力相二

初略釋

二廣釋二

初示佛智不可測

二示歸願力義

三結

二示依師教信順相二

○一又ノタマハク

○是非シラス等

○往生淨土ノ等

○往生ホドノ等

○スヘテ凡夫ニ等

○カヘスノ如來等

○コレヲ他力ニ等



初票

二示稟承師教信順義二

初明依師教領受決心

二明信順師教相二

初示領受本願依師教

二顯信順師教墮惡所不後悔

二徵理成義

二結

二第二章二

初票

二出釋示二

初示光明寺和尚釋念佛往生願

二釋文二

○サレハワレト等

○故聖人ノ仰ニ等

○シカルニイマ等

○タトヒ彌陀ノ等

○ソノユヘハ等

○コレヲ自力ヲ等

○一又ノ給ハク等

○光明寺和尚等

初解文相

二問答料簡

二述義五

初述善惡凡夫往生意二

初正述

二結示

二述得生之意二

初述善人得生

二明惡人得生

三顯承上舉領解惡業唯爲惡趣因

四結釋二

初述義

二舉文結

○善惡ノ凡夫等

○コノコ、ロ等

○シカレハ善業等

○善人ノ往生等

○惡人ノ往生等

○サレバヲノレ等

○シカレハ善モ等

○コレニヨリテ等



五釋 増上縁

○増上縁ト等

四第四章二

初票

○一又ノ給ク等

二釋二

初示 光明名號因縁四

初票

○光明名號ノ因縁

二示 光明縁三

初票

○彌陀如來四十八等

二約 願示攝取

三約 成就示遍照

○彌陀如來四十八等

二示 名號因二

初正示

○サレハコノ光明

二明 名號聞持由他力

○シカレハ名號等

四結

二示 兩重因縁二

○コレニヨリテ等

初承 上學文

二別釋 但使信心文二

初牒文

○但使信心ト等

二述釋四

初示 獲信因縁義

○光明ト名號ト等

二示 得生因縁義

○シカレハ信心等

三顯 二法互成 示平生業成義二

初正示

○サレハ名號ニ等

二學 指南鈔

○サレハ本願ヤ等

四學 祖釋 成義

二重示 光明名號因縁義二

○本願寺ノ聖人等



初正示喻嫌異釋二

初正示

二簡異解

二結因緣勸思惟

五第五章二

初票

二釋二

初舉法勝益勸誠退屈

二正顯平生業成義四

初就正定業示平生業成義四

初示信名號為平生業成義

二簡能稱業成義

三就自信迷平生業成自督

○コレヲタトフ等

○世ノヒトツ子ニ等

○彌陀佛日ノ等

○一私ニイハク等

○根機ツタナシ等

○名號ヲ正定業等

○彌陀ノ名願力等

○ワレスデニ等

四述臨終業成之失

二就願成就約橫超斷示平生業成義

三就言南無者釋約願行具足示平生業成義

四就業道成辨示平生業成義二

初就殺生罪示業道成辨

二對辨念佛

五跋文

○一切衆生ノ等

○シカレハ平生等

○ソモク南無ハ等

○又殺生罪等

○念佛モマタ等

○嘉曆元歲丙寅等



# 執持鈔講錄

講師 池原雅壽述



謹而此ノ鈔ヲ案スルニ平生業成唯信正因ノ主旨ヲ顯示シテ他流ノ能稱正因臨終業成ノ迷謬ヲ攪破シ以テ愈ヨ今家ノ特色ヲ發揮シ給フ聖教ナリ然バ本宗ノ要義ハ罄シテ此ノ鈔ニ蘊在ス故ニ苟モ宗學ニ志ス者ハ一日モ輕忽ニ附スベカラズ此ノ度 尊命ニ由テ今將ニ此ノ鈔ヲ講セントス固ヨリ淺識ノ一分甚ダ恐レアルコトナリト雖先輩ノ指導ニ順シテ聊カ全彪ノ一班ヲ窺ハントス

將講今鈔以五門分別 一者造意 二者大意 三者題號 四者本文 五者跋文

初造意二 初緣起 一正造意 初二緣起トモ慕歸繪詞十<sub>五丁</sub>「嘉曆ノ初丙寅ノ年ソノ季商ノ節上旬ノ候飛驒國ニ願智坊永承トイフ禪徒申請ケレハ執持鈔トナツケタル文ヲツクリテアダヘケリ」トアリ又今鈔跋文ニ「嘉曆元歲丙寅九月五日



拭老眼染禿筆トアレハ御製作ノ年時ハ以テ知ルベシ又最須敬重繪詞七九ニ

「タマ〜津ヲ問タテマツル者ニハ西方ノ通津ヲシメシ給フトキ後日ノ廢忘ヲ  
タスケントテシルシ給フベキヨシ申請ケル輩ニハ一紙ノウケ片時ノ程ナドニイ  
ト思案ニ及ハスタ、卒爾ニ筆ヲソメラル、事著述アマダアリ後ニソノ名ヲ題セ  
ラレテ執持鈔願々鈔最要鈔本願鈔ナト號セラルコレミナ所被ノ輩ノツタナキヲ  
サキトシテ漢字ノ筆體ノマヨヒヤスキチサシオキ所望ノ族ノオロカナルヲ本ト  
シテ和字ノ製作ノコ、ロエヤスキチモチ井ラル、所ナリ執持鈔ニイハク平生ノ  
一念ニヨリテ往生ノ得否ハサタマルモノナクカ平生業成ノ立旨コレニアリ他力  
往生ノ深要タウトムヘシ」トアリ是レ等ノ文ニ由テ今鈔ノ縁テ起ル處ヲ知ルベ  
シ時ニ前ノ敬重繪詞ニ就テ初ニ口傳鈔改邪鈔ヲ出シ次ニ執持鈔ヲ學ケテ平生業  
成ノ立旨コレニアリ他力往生ノ深要タウトムヘシトアリ抑モ卷數ノ大ナルニツ  
ケバ口傳鈔ハ二卷アリ改邪鈔亦同シ爾ルニ僅カナル執持鈔ニハ釋文ヲ舉ケ而シ  
テ贊辭マデ添エルハ如何ト云フニ是ハ注意スヘキ點ニシテ即チ覺師著書ノ年序

ヨリ云ヘハ執持ハ嘉曆元年ニシテ其次ガ口傳鈔元康元年其次ガ改邪鈔建武四年  
ナリ然バ執持鈔ハ第一ノ御著述ナリ而シテ口傳鈔ハ固ヨリ他力信心平生業成ノ  
義ハ明シテハアレドモ其所明ノ大體ヨリ云ヘバ宗祖在世ノ言行ヲ述ルコトガ所  
詮トナル又改邪鈔ハ末流迷倒ノ邪路ヲ塞ガンガ爲ニ破邪顯正ガ正シク其所詮ト  
ナル正シク正面ヨリ他力信心平生業成唯信正因ノ義ヲ慇懃ニ示スハ獨リ執持鈔  
ノミナリ故ニ敬重ニ於テ如上ノ贊辭ヲ添エ給フナリ。

第二造意 是有一初通造意 二別造意 初ニ通ノ造意ヲ述レバ是ニ三義アリ  
初ニ佛恩報謝ノ義即チ御文四帖通四ニ「サレバ他力ノ信心發得セシムルウヘナレ  
バセメテハカヤウニクナズサミテモ佛恩報盡ノツトメニモヤナリヌベキトモオ  
モヒ」トアリ又御式文ニ「然者祖師聖人發起金剛信心助成衆機往益豈非本願  
相應之德乎寧非佛恩報盡之勤哉」ト略文類ニハ「佛恩正窮盡明用淨土文類聚ニ  
トアリ是等ノ文ニ據レバ佛恩報謝ノ爲ニ此ノ鈔ヲ製作シ給フト謂フベシ第二利  
益衆生ノ爲ナリ今鈔跋文ニ「拭老眼染禿筆是偏爲利益衆生也」トアリ即チ御



文四帖<sup>四</sup>ノ「キクヒトモ宿縁アラバナドヤオナシコ、ロニナラザラントモオモ  
ヒハンベリ」トアル文ニ照シテ知ルベシ第三合<sup>通</sup>法久住ノ爲ナリ即チ御文四帖  
ノ「本願ノヒトスデノトウトサハカリノアマリ卑劣ノコノコトノハチ筆ニマカ  
セテカキシルシチハリヌ」トアリ今鈔跋文ニ「於燈下馳老筆留之」トアリ是  
レ偏ヘニ法ヲシテ久住セシメンガ爲ナリ名利ノ爲ニ非ルコト知ルベシ已上通ノ  
造意終ル、次ニ別造意分爲二 初就宗祖 是ハ本鈔ニ五章アル中前四章ハ各章  
ミナ宗祖ノ御言ヲ擧ゲテアリ故ニ前四章ハ宗祖ニ就クナリ其前四章ハ如何ト云  
フニ惣シテ云ヘバ他力信心平生業成唯信正因ノ旨ヲ顯示センガタメニ外ナラズ  
先ヅ第一章ハ即チ十八十九對辯シテ第十八願ノ機ハ眞實信心ヲ獲得ス眞實信心  
トハ即チ禮讚ノ二種深信ナリ既ニ眞實信心ヲウル人ハ攝取不捨ノ光益ニ與カリ  
テ正定聚ニ住ス故ニ臨終マツコトナク來迎タノムコトナシト示スコレ他力信心  
平生業成唯信正因ノ義ヲ示シ給フナリ第二章ハ第一章ノ義ヲ詳カニシテ機ニ  
約シテ他力信心平生業成唯信正因ノ義ヲ顯ス即チ其御言バニ「往生淨土ノタメ

ニハタ、信心ヲサキトスソノホカチカヘリミザルナリ」ト豈唯信正因ニアラズ  
ヤ又「往生ホドノ一大事凡夫ノハカラフベキコトニアラズ<sup>乃</sup>如來ノ御チカヒニ  
マカセタテマツルベキナリコレチ他力ニ歸シタル信心發得ノ行者トイフナリ」  
トコレ他力信心ニアラズヤ又「聖人ノ御化導ニアヅカリテ彌陀ノ本願チキ、攝  
取不捨ノコトハリナムチニオサメ生死ノハナレガタキチハナレ淨土ノムマレガ  
タキチ一定ト期スルコト」ト是レ平生業成ノ義ヲ顯スニアラズヤ然バ第二章ハ  
第一章ヲ詳カニ顯シ給フナリ次第三章ハ本願ニ就テ示ス即チ機ノ善惡ヲ用井ズ  
己レチ忘レテ他力ニ歸スル義ヲ述ブコレ他力信心平生業成唯信正因ノ旨ヲ顯ス  
ニ外ナラズ機ノ善惡ヲ用井ズ直チニ本願ニ歸スルハ豈他力信心ニアラズヤサレ  
バオノレチワスレテアフギテ佛智ニ歸スルマコトナクンバオノレガモツトコロ  
ノ惡業ナンゾ淨土ノ正因タランヤトハ豈唯信正因ノ義ニアラズヤ此ノ信心ヲ發  
得スレバ淨土往生ヲ決定ス豈平生業成ノ義ニアラズヤ第四章光明名號ノ因緣  
ニ由テ信心ヲ發得ス信心發得シヌレバ攝取ノ光益ニ與カリ報土ノ眞身ヲ得證ス



即チタノム一念ノ時往生一定御助治定ノ身トナルコレ豈他力信心平生業成唯信  
正因ノ義ニ非ズヤ然バ前四章ハ惣シテ論ズレバ宗祖ノ御言バニ據リテ他力信心  
平生業成唯信正因ノ義ヲ明スナ所詮トスル也 次第五章ハ 二就覺師 此ノ一  
章ハ前四章ヲ稟承シテ平生業成等ノ義ヲ詳カニ顯シ給フナリ其義如何トナレバ  
今章冒頭ノ文ニ根機ツタナシト卑下スベカラズ佛ニ下根ヲスクフ大悲アリ等  
トアリ拙シトハ能ハザルコト物ニ巧ミナラヌナ云フ觀經上品上生ノ人ハ讀誦大  
乘等ノ行ヲ修スルコト勇猛精進ナレバ上根上智ニシテ巧ミナリト謂フベシ爾ル  
ニ惡ハ止メラレズ善ハ修セラレヌ者ナレバ根機ツタナシ即チ罪惡生死無有出離  
之緣ノ徒ラモノナリカ、ル徒ラ者ユヘ助カルヤラ助カラヌヤラト卑下シテ信シ  
兼ルナリ然ルニ夫ヲ卑下スルコトナカレ我身ハ惡キ徒ラモノ彌陀ハ其機目當テ  
ノ御慈悲ト信シ心ノ巧ミナラザルコトヲ識知シテ明カヌ此身デ此機目當テトイ  
フコトニ安心スルガ即チ卑下スルコトナカレノ意ナリ佛ニ下根ヲ救フノ大悲ア  
リトハ夫ヲ救フガ彼ノ阿彌陀佛四十八願攝受衆生ノ一段ナリ即チ二種深信ナリ

第一章ニハ眞實信心ト云ヘリコレ禮讚ノ深心釋ニシテ二種深信ナリ第二章ニハ  
是非知ラズ邪正モワカヌモノトハ罪惡ノ凡夫ナリカ、ル者ハ佛願ニ歸シ攝取不  
捨ノコトハリヲ胸ニオサメテ願力ニマカセ奉リ往生一定ト期スルハ豈二種深信  
ニ非ズヤ又第三章ニカ、ルアサマシキモノハ六趣四生ヨリ外ニスミカハナク浮  
ム期ナキ爲ニトリロキ起シ給ヘル願ナレバ卑下スベカラズト勸メ給フムチアリ  
去バ已レテ忘レテ仰ギテ佛智ニ歸スルマコトナクンバ等トアリコレ二種深信ナ  
リ夫ヲ承ケテ二種深信ヲ示シテ根機ツタナシト卑下スベカラズ等ト述給フ是  
レ上ノ三章ヲ稟承スル處ナリ又行業オロソカナリト疑フベカラズ經ニ乃至一  
念ノ文アリ等トアルハ是ハ第四章ニサレバコノ光明ノ緣ニアウ衆生ヤウヤク無  
明ノ昏闇ウスクナリテ宿善ノタチキサストキ正ク報土ニムマルベキ第十八ノ念  
佛往生ノ願因ノ名號ヲキクナリシカレバ名號ヲ執持スルコト自力ニアラズ等ト  
アリ此ノ如クナレバ行業オロソカナリトモ彼ノ鎮西流ノ如ク稱フル念佛ヲ以テ  
往生ノ正因トナシ五萬六萬ノ念佛ヲ以テ往生ノ正因ト募ル其レニ嫌フテ名號ヲ



執持スルヲ以テ往生ノ正因トスルユヘタトヒ行業ハオロソカニシテ稱フルコト少ナクトモ疑フベカラズ唯ダ信心ヲ要トス夫ヲ願成就ノ文ニ歸シテ經ニ乃至一念ノ文アリ佛語ニ虚妄ナシ本願ニアヤマリアランヤト示シ給フコ、ヲ以テ下ノ所明コノ歸スル處ヲ示ス即チ名號正定業ノ義ヲ釋シテ正定業ト名クルコトハ佛ノ不思議力ヲタモテバ往生ノ業正ク定ルユヘナリト或ハ善知識ノコトバノ下ニ歸命ノ一念發得セバソノ時ヲ以テ娑婆ノオハリ臨終トオモフベシト横超斷ニ約シ或ハ願行具足ニ約シテ南無ト歸命スル一念ニ彼ノ佛ノ因位ノ萬行果地ノ萬德ミナコトトク一名號ノ中ニ攝在シテ十方衆生ノ往生ノ行體トナレバ阿彌陀佛即是其行ト釋シタマヘリト願行具足ニ約シテ平生業成ノ義ヲ示シ給フ或ハ又殺生業ヲツクルトキ地獄ノ定業ナムスブモ臨終ニカサチテツクラザレドモ平生ノ業ニヒカレテ地獄ニカナラズオツベシ念佛モマダカクノゴトシ本願ヲ信ジ名號ヲ稱フレバソノ時分ニアタリテ必ズ往生サダマルナリトシルベシト業道成辨ニ約シテ平生業成ノ義ヲ顯ス然レバ上ノ四章ノ旨ヲ稟承シテ他力信心平生業

成唯信正因ノ義ヲツマビラカニ示サンガ爲メニ第五章ヲ造リ給フナリ、然レバ今鈔一部總シテイヘバ他力信心平生業成唯信正因ノ旨ヲバ明サンガタメニ此ノ書一部ヲ製作シ給フト云フベキナリ。

二大意 是ハ平生業成ノ義ヲ顯スヲ以テ大意トス如何トナレバ第一章ノ眞實信心ノ行人ハ攝取不捨ノユヘニ正定聚ニ住ス即チ彌陀ヲタノム一念ノ處ニ攝取ノハタラキアルユヘ如何ニ地獄ニ墮ント思フトモ地獄へ墮テズシテ必ズ極樂ニ往生ス故ニ是レ平生業成ナリ御文ニ帖目四通「故ニ如來ノ誓願ヲ信シテ一念ノ疑心ナキトキハイカニ地獄へオナントオモフトモ彌陀如來ノ攝取ノ光明ニオサメトラレマイラセタラン身ハワガハカラヒニテ地獄へモオナズシテ極樂ニマイルベキ身ナルガユヘナリ」トアリ此ノ文ニテ知ルベシ、又第二章ニハ「往生淨土ノ爲ニハタ、信心ヲサキトスソノホカチバカヘリミザルナリ」トアリ又「イマ聖人ノ御化導ニアツカリテ彌陀ノ本願ヲキ、攝取不捨ノコトハリチ胸ニオサメ生死ノハナレガタキチハナレ淨土ノムマレガタキチ一定ト期スルコトサラニワ



タクシノナカラニアラズ」トアリ是レ本願ノ由レヲ聞テ往生一定ト領解スルナ  
リ豈平生業成ノ義ニ非ズヤ、第三章ニハ云ク「コノコ、ロハ善人ナレバトテオ  
ノレガナストコロノ善ヲモテカノ阿彌陀佛ノ報土ヘムマル、コトカナフベカラ  
ズトナリ惡人マダ申スニヤオヨブ<sup>乃</sup>至<sup>乃</sup>サマダゲトナラズ」又云ク「サレバチノレ  
チワスレテアフギテ佛智ニ歸スルマコトナクンバチノレガモツトコロノ惡業ナ  
ンゾ淨土ノ正因タランヤ」ト爾レバ我身ハ惡キ徒ヲ者ト思テ仰デ本願ニ歸スル  
是レ二種深信ノ領解ナリ即チ乘彼願力定得往生ノ意ナレバ平生業成ノ義ナルコ  
ト勿論ナリ、扱第四章ハ光明名號因緣ノ義ヲ顯ハスナレバ是又平生業成ノ義ナ  
リ光號ノ因緣ニ由テ信心ヲ發起スコレ獲信ノ因緣ナリ而シテ信心起ルトキ攝取  
ノ光益ニアヅカルハ得生ノ因緣ナリ愚禿鈔上<sup>上</sup>「眞實淨信心ハ内因ナリ攝取不  
捨ハ外緣ナリ」トアリ因緣和合シテ淨土ニ往生スルナリ既ニ信心起ルトキ攝取  
ノ光益ニアヅカリ正定聚ニ住ス豈平生業成ノ義ニ非ズヤ三帖<sup>通</sup>「ツギニ阿彌陀  
佛トイフ四字ハイカナルコ、ロゾトイヘバイマノゴトクニ彌陀ヲ一心ニタノミ

マイラセテウダガヒノコ、ロノナキ衆生ヲバ必ズ彌陀ノ御身ヨリ光明ヲハナナ  
テ<sup>乃</sup>至<sup>乃</sup>阿彌陀佛トハマウシタテマツルナリ」トアリ爾レバ平生業成ノ意ナルベシ  
第五章ニ至レバ上ノ四章ヲ稟ケ傳ヘテ他流ノ義ヲ簡別シテ平生業成ノ義ヲ押シ  
立テ「我スデニ本願ノ名號ヲ持念ス往生ノ業成辨スルコトヲ喜ブ」トアリ又「善  
知識ノコトバノシタニ歸命ノ一念發得スレバ其時ヲ以テ娑婆ノ終リ臨終ト」示  
シ給フ爾レバ平生業成ナリ是ヲ以テ一部ノ歸スル處平生業成ノ義ヲ明スヲ以テ  
大意トスルナリ。

三題號 先ヅ執持ト云フコトハ是ハ根本ハ彌陀經ナリ執持名號ト説ク龍樹ノ易  
行品ニハ「恭敬ノ心ニ執持シテ彌陀ノ名號ヲ稱スベシ」トアリ吾祖デハ彌陀經  
ノ執持名號ヲ釋シテ略文類<sup>十六</sup>「執者心堅牢而不<sup>レ</sup>移持者名<sup>ニ</sup>不散不失故曰<sup>ニ</sup>不亂<sup>ニ</sup>  
ト執持名號ト票シテノ御釋ナリ是ガ執持鈔ト名ケ給フ題號ノ執持ノ意ナリ下ノ  
文ニモ「名號ヲ執持スルハ自力ニアラズ」トアリ又「ワレスデニ本願ノ名號ヲ  
持念ス往生ノ業成辨スルコトヲ喜ブ」ト又ハ「名號ヲ正定業ト名ルコトハ佛ノ



不思議力ヲタモテバ往生ノ業正シク定マルナリ」ト爾バ執持ト云フハ信心ナリ  
 扱略文類ノ釋ニ心堅牢而不<sub>レ</sub>移トハ是ハ觀經ノ文ニ令<sub>レ</sub>心堅住專想不<sub>レ</sub>移ト説ク是  
 モ經ノ表テデハ日想觀ニシテ日輪ヲ處觀ノ境トシテ夫レニ心ヲ堅住セシメテ專  
 想不移ト外ヘ心ヲ移サヌコトナリ爾ルニ廢立ノ意ニ就テ附屬ノ經文汝好持是  
 語持是語者即是持無量佛名トアル文ヨリ振り返リミレバ觀經ハ念佛ヲ説ク  
 ヨリ外ナシ定散ノ行ハ處廢ノ者トナル爾ルトキハ心名號ニ堅住シテ餘行餘善餘  
 佛餘菩薩ニ心ヲカケザル義ナリ夫レガ專想不移ナリ即チ執持ノ義ヲ顯ハス加之  
 ナラズ往生要集下末<sup>十</sup>「若不<sub>レ</sub>雜修專行此業此即執心堅牢定生極樂國」トアリ  
 觀經ノ堅ノ字トコノ牢ノ字ト兩方合シテ心堅牢而不<sub>レ</sub>移ト釋ヲ施シ給フ凡ソ牢  
 トハ四面ヲ圍デ出ルコトノカタキヲ云フ心ヲ一境ニ住シテ他ヲ緣ゼズ外ヘ心ヲ  
 遣ラズシテ專ラ夫レニ心ヲ置クコトナリ持者名不散不失是ハ論註上<sup>六</sup>「持者名  
 不散不失」トアルニ據リ給フソコデ名號ヲ執持スルコトハ名號ノ一法ニ心ヲ置  
 テ彌陀ヲタノムト云フコトヲ心ニ持チテ忘レザルヲ云フ、而シテ略文類ニ執持

名號ト票シコトサラ名號ノ二字ヲ安ズルコトハ他流デハ名號ノ能稱ノ功ヲ頼ン  
 デ持チ物モチテ助ケ給ヘト思フテ之ヲ募ルナリ夫ヲ簡ビ嫌フテ名號執持ヲ以  
 テ往生ノ因トスルコトヲ顯ハス、六要四信卷別序ノ文ニ「惑定散自心昏金剛  
 真心」トアルハ之ヲ云フナルベシ、而シテ略文類デハ論主ノ一心ト本願ノ三信  
 ト一異ヲ問答シテ三信即一ノ一心ト顯ハシ其次ニ觀經ノ三心ト大經ノ三信ト一  
 異ヲ問フテ隱ノ義ニ據レバ一ナルコトヲ示シ其次ニ經ノ三心ト執持ト一異如  
 何ヲ問フテ隱ノ義ニヨラバ一ナルコトヲ顯ハス之ヲ能合ノ論主ノ一心歸命ニ望  
 ムレバ執持ト云フハ即チ一心歸命ノコトハリニテ名號ノ由レハ彌陀ヲタノムコ  
 トユヘ其レヲ心ニトリタモツガ執持ノ義ナリト顯ハスナリ、其義ヲ示スガ今ノ  
 執持鈔デハ「ワレスデニ本願ノ名號ヲ持念ス往生ノ業スデニ成辨スルコトヲ喜  
 ブ」トアリ又云ク「名號ヲ執持スルコトハ自力ニアラズ」ト又云ク「名號ヲ正  
 定業ト名クルコトハ佛ノ不思議力ヲタモテバ往生ノ業正シク定ルユヘナリ若シ  
 彌陀ノ名願力ヲ稱念ストモ往生ナチ不定ナラバ正定業トハ名クベカラズ」ト爾



レバ名號執持ト云フハ自力ノ稱念ヲ嫌フ意ナリ、此ノ義ヲ相承シテ詳カニ示シ給ヘタハ三帖目三通ナリ「サレバソノ信心ヲトルトイフハイカヤウナルムツカシキコトゾトイフニナニワヅラヒモナクダバヒトスデニ阿彌陀如來ヲフダゴ、ロナクダノミダテマツリテ餘ヘコ、ロナチラサバランヒトハダトヘバ十人アラバ十人ナガラミナホトケニナルベシコノコ、ロヒトツチダモタンハヤスキコトナリダバコエニイダシテ念佛バカリヲトナフルヒトハオホヤウナリソレハ極樂ニハ往生セズ」等トアリ是レ全ク執持鈔ノ意ヲ承ケテ名號念持ノ義ヲ釋シ給フナリ今暫ク此ノ御文ヲ分別スルニ「何ノワヅラヒモナクダバ一ト筋ニ阿彌陀如來ヲフダ心ナクダノミダテマツル」トハ論主ノ一心歸命ナリ四帖<sup>通初</sup>ニ「當流ニ立ル處ノ他力ノ三信トイフハ第十八願ニ至心信樂欲生トイヘリコレスナハチ三信トハイヘドモダバ彌陀ノダノムトコロノ行者歸命ノ一心ナリ」トアリ然バ何ノワヅラヒモナク阿彌陀如來ヲフダゴ、ロナクダノミダテマツルトハ三信ヲ合シテ論主ノ一心歸命ヲ相承ス而シテ是ガ其儘執持念持ノ義ナルコトヲ顯シテ

始メニハトルト云ヒ終リニハ餘ヘ心ナラサザラント云フ第十八ノ念佛往生ノ意是ニ在ト顯シ給フナリ又次ニ執持鈔ノ如ク口稱念佛ヲ嫌フテ唯ダ聲ニ出シテ念佛バカリヲ稱フル人ハ大様ナリ夫ハ極樂ニハ往生セズト示シ給フ誠ニ相承ノ明ナルコト掌ヲ見ル如シ、然ハ今鈔ハ略文類ニ執持ト二經ノ三心ト同一ノ旨ヲ示シ三經大綱雖有顯彰隱密之義彰信心爲能入トアルヲ據リ所トシテ名號能稱ヲ正因ト募ル他流ノ義ヲ嫌ヒ名號執持唯信正因ノ義ヲ顯ス爲ニ名號ヲ執持スル時ニ往生ノ大益ヲ成ズルト唯信正因平生業成他力信心ノ義ヲ顯シテ執持鈔ト題シ給フト知ルベキナリ、次ニ鈔トハ唯信文意<sup>初</sup>ニ「鈔ハスグレタルコトヲスキイダシテアツムルコトバナリ」トアリ執持ノ義ノ肝要タル處ヲ取り集メタルノ鈔ナリ依執持之鈔依主釋ナリ上來題號ヲ釋シ終ル。

一本願寺聖人仰云

四本文五 初第一章二 初稟宗祖語 本願寺等トアル御語ハ第五章ノ私ニ云クニ對シテ宗祖ノ御語ナルコトヲ示ス是レ外ニ對スレバ彼ノ鎮西等ノ他流ニ對



シテ聖人御相傳ノ説ナルコトヲ顯ハス、本願寺ノ號ハ滅後ノ安立ナリ和論語ヲ見レバ本願寺ハ覺信尼公ノ建立トアリ又御傳鈔ニ佛閣ヲ建テ影像ヲ安ズトアレバ御滅後ニ於テ覺信尼公ノ盡力ニ由テ本願寺ノ勅號ヲ賜ハリテ佛閣ヲ建立シ給フ然ルニ後ノ號ヲ開祖ニ及ボシタハ歸スル處高祖聖人ノ開宗立教ノ御高德ヨリ起ル故ニ末ヲ本ニ及ボシテ本願寺聖人トノ給フ、コレ他流鎮西等ニ簡ブ爲ナリ口傳鈔中末<sup>初</sup>聖光上人ノ事出タリ同中末<sup>十六</sup>體失不體失ノコトニ付テ西山上人ノコト出ヅ爾レバ三百八十餘人ノ中デ滅後ノ流義ノ殘リテアルハ鎮西西山等ナリ是以テ吾祖ノ口傳ヲ傳ヘル口傳鈔ニ西山鎮西ノ元祖ノ口傳ニ非ザルコトヲ示シ給フ爾レバ夫レヲ嫌フテ本願寺聖人トノ給フ、遺德記<sup>十六</sup>「文明十四年春ノ比思召ケルハ當寺ハ是悉龜山伏見兩御代ヨリ勅願所ノ宣ヲ蒙リテ私ナラザル寺ナレバ」云云爾バ其ノ寺號ハ久遠實成阿彌陀本願寺ト云フナリ今夫ヲ略シテ唯ダ本願寺ト云フ蓋シ他力本願弘通ノ道場ナレバナリ、又祖師ハ御在世ニ寺ノ建立ナキニアラズ專修寺興正寺ハ是ナリ本願寺ハ滅後ノ建立ナレドモ祖師ノ影像ヲ

安シ遺骨ヲ納メタマツル血脉法脉兩相承ヲ全フシタル寺ナルガユヘニ祖師ノ御門流ニ於テ根本ノ本山ト稱シ本廟ト云フコトガコ、ニ於テヨク聞ユルナリ、次ニ聖人ト云フハ古昔物語ニ「或ル出家ヲ尊デ上人ト名ク又聖人トモ名ク官位ノ名聞ヲ求メズ又利營ヲ好マズ名利ヲステ、道心深キ人故ニ某ヲバ聖人ト名クルナリ」トアリ吾祖ハ其邊ニ於テ聖人ト名ク御傳鈔上第二段ニ「建仁第一ノ曆春ノコロ<sup>上人</sup>廿九歲 隱遁ノコ、ロザシニヒカレテ源空聖人ノ吉水ノ禪坊ニ尋子マイリ給ヘキ」又口傳鈔上<sup>四</sup>ニ「善綽ノ御房マフサレテ云ク西意ニ坐ノ說法聽聞仕リヲハリ又言語ノ及ブ處ニアラズト云々三百八十餘人ノ御門侶ノナカニソノ上足トイヒソノ器用トイヒスデニ清選ニアタリテ<sup>乃</sup>誓言發願ヲハリキ」トアリ況ヤ肉食妻帶和光同塵ノ相ヲ現シ給フコレ隱遁ノ光リヲ隱シ給フ相ナリ由テ聖人ト云フ、凡ソ佛教ニハ無漏ノ智慧ヲ發得シタル人ヲ聖人ト云フ今ハ是ニアラズ又吾祖ハ一宗ノ御開山ナレバ淨土ノ法門通達セザルコトナシ徳高キユヘニ聖人ト云フ和讃ニ源空ヒジリトシメシツ、トアリヒジリトハ秀デ、知ルト云フコト



ナリ即チ淨土ノ法門ヲサトリ給フコト千萬人ニ勝レ給ラユヘ聖人ト名クルナリ  
又ヒシリトハ非ヲ知ルト云フコトニテ惡キコトヲ知レバ再ビセヌ云フ是等ハ  
德ニ就テ聖人ヲ釋スルナリ、次ニ仰セトハ惣シテ上ヨリ命令ノコトヲイフ御文  
ニ阿彌陀如來ノ仰セラレケルヤウハトアリ又御傳鈔ニ大師聖人仰セラレテノタ  
マハクトアリ全體仰セノ字ハアフグト訓ズ頭ヲ上ゲテアフギミルコトナリ今上  
ヨリノ命令ハ下タル者ハ仰ギ敬フテ其言ヲ受奉ルニヨリテ上ヨリ下ニ命ズルヲ  
仰トイフナリ。

來迎ハ諸行往生ニアリ等

二正舉宗祖語二 初明來迎在諸行往生義、扱此下ニ於テ以ニ科可辨、初解文  
相、扱祖語ヲアグルニ四章アル中初メニ來迎不來迎ヲ明シタハコレ平生業成ノ  
義ヲ明スニ就テ臨終業成平生業成ノ對辨シテ示シタマフナリ其臨終業成ト平生  
業成トナ對辨シテ示スニ就テ其根本ヲ論ズルトキハ十八十九ニ歸セザルベカラ  
ズ十九ノ願ニハ臨壽終時假令不與大衆圍繞現其人前者不取正覺トアリ之臨終來

迎ナリコレニヨリテ之ヲ見レバ即臨終業成トイフベキナリ又第十八願ハ至心信  
樂ノ思ヒ起ルトキ若不生者不取正覺ノ誓約ヲ得テ攝取ノ光益ヲ蒙ル故ニ平生業  
成トナリ臨終ヲ待タズ來迎ヲ期セザルナリ由テ平生業成ノ義ヲ顯スニ付テ來迎  
不來迎ノ義ヲ舉テ十八十九ヲ對辨シ給フ是レ平生業成ノ義ヲ顯ス處ノ本トナル  
ナリ、扱文相ヲ解セバ來迎トハ極樂ヨリ阿彌陀如來來至シテ衆生ヲ迎接シ給フ  
ヲ云フ凡ソ來迎ノ事ハ大經ニ四ヶ處アリ願文ト三輩章トナリ觀經ニ九ヶ處阿彌  
陀經ニ一ヶ處ナリ、次ニ諸行往生トハ選擇集上十一「若依導綽禪師意者往生行  
雖多東而爲二一謂念佛往生二謂萬行往生」トアリ即チ觀經ニハ世戒  
行ノ二福ヲ分テ九品ノ往生ヲ勸ム是レ諸行往生ナリ、諸トハ非一ノ義ニシテ行  
一ニ非ルガユヘニ諸行ト名ク、次ニ自力ノ行者ナルガユヘニトハ末燈鈔<sub>丁五</sub>ニ「マ  
ヅ自力トマフスコトハ行者ノチノノ緣ニシダガヒテ餘ノ佛號ヲ稱念シ餘ノ  
善根ヲ修行シテワガ身ヲタノミワガハカラヒノコ、ロチモテ身口意ノミダレゴ  
、ロチツクロヒメテダウシナシテ淨土ヘ往生セントオモフチ自力トマフスナリ」



トアリカトハ力勵ナリ自分ノツトメヲ云フ願力ヲ仰ガズシテ自善ヲ勤ムルユル  
他力攝取ノ益ナシ故ニ善根功德ノモナモノ持テ阿彌陀如來ニ助ケテ請フナリ所  
謂ル臨終來迎ヲ待テ佛ノ加護ヲ仰ヒテ往生ノ素懷ヲ遂ントスルナリ故ニ來迎ヲ  
請フニハ臨終ヲ待タテバナラヌ臨終ノ時ニ來迎ニ與カリ其時往生ノ業因定リテ  
極樂ニ生ル其處ヲ臨終マツコト來迎タノムコトハ諸行ノ人ニイフベシトノ給フ  
ナリ

二問答料簡 問云來迎ヲ請フコトハ來迎ニ何ノ勝益アリヤ答漢語燈七右五丁已下  
可見今取意シテ述レバ一ニ臨終正念ナラシメンガ爲ナリ、如何トナレバ行者命  
終ラントスル時疾苦身ニ逼リ必ズ境界、自體、當生、ノ三愛ヲ起ス我が妻子財  
寶ニ愛着ヲ起スハ境界愛ナリ我が身體ニ愛心ヲ起スハ其次ナリ未來當生ノ處ニ  
愛心ヲ起スハ第三ナリ此ノ爲ニ正念ニ住スルコト能ハズ此時ニ阿彌陀如來大光  
明ヲ放テテ行者ノ前ニ現ズ行者已ニ未曾有ノ事ヲ見テ專心歸敬シテ更ニ他念ナ  
シ如來ノ大悲心行者ニ加祐スルユヘニ心ヲ亂レザラシメ妄念忽テ止ミテ正念

安靜ナリ之ヲ稱贊淨土經ニ慈悲加祐シテ心ヲ亂レザラシメ命ヲ捨テ終テ即チ往  
生ヲ得テ不退轉ニ住スト又小經ニハ阿彌陀佛與諸聖衆現其前是人終時心  
不顛倒即得往生阿彌陀佛極樂國土トアリ爾レバ心不顛倒トハ正念ニ住セシ  
處ナリ、一ニ道路ヲ指示セシメン爲、藥師本願經デ見レバ西方極樂ヲ願フテ藥  
師ノ名號ヲ聞ク者アラバ八菩薩ヲ遣ハシテ極樂へ導クトアリ之ニ順ジテミレバ  
彌陀モロ／＼ノ聖者ト共ニ來迎シ給フハ道路指示ノ爲ナリ、三ニ魔事ヲ退治セ  
ン爲ナリ、古ニ曰ク道高ケレバ魔高シト佛道修行ニハ必ズ魔障アリ大經序分ニ  
モ釋迦成道ノ時魔卒官屬而來逼試トアリ爾バ諸行往生ノ行者臨終ノ時魔障競ヒ  
起ルソコデ彌陀ノ來迎アレバ光明ニ照サレテ魔難立ナドコロニ去ル是故ニ諸行  
ノ人ハ佛ノ來迎ヲ請フコトナリ。

問云來迎ハ諸行ニアリト云ハ、口傳鈔下評「第十九ノ願文ニモ現其人前者ノウ  
ヘニ假令不與トサカレタリ假令ノ二字ハタトヒトヨムベキナリタトヒトイフハ  
アラマシナリ非本願タル諸行ヲ修シテ往生ヲ悋求スル行人ヲモ佛ノ大慈大悲御



覽シハナダズシテ修諸功德ノナカノ稱名ヲヨンドコロトシテ現シツベクバソノ  
 ヒトノマヘニ現ゼントナリ」此ノ文ニ據レバ殊更念佛ヲヨン處トシテ來迎スル  
 トアレバ來迎ハ諸行往生ニアリト云フト相違スルニ非ズヤ如何答フ是ハ古來種  
 々ノ說アリ一說デハ修諸功德ト云フハタトヒ觀經上六品デモ悉ク諸行念佛俱行  
 ノ者ナリ處デ念佛ハ彌陀ノ本意ユヘ念佛ヲヨリ處トシテ來迎スルト、又一說デ  
 ハ下上品ノ文ニ就ク此ノ時ハ觀經九品段ハ九品ノ行人一機々々ニ對シテ讚嘆ノ  
 言アリ上下品ニハ「五百化佛一時授手讚言法子汝今清淨發無上道心我來迎汝」  
 トアリ又中々品ニハ「行者自聞空中有聲讚言法子如汝善人隨順三世諸佛教故  
 我來迎汝」トアリ上ノ文ハ菩提心ハ佛ニナルタチナリ其ノ清淨ノ菩提心ヲ起シ  
 タユヘ今來迎ノ佛ガ讚メ給フ又中々品ハ既ニ世戒行ノ三福ハ三世諸佛淨業正因  
 ナリコレ三世諸佛ノ教ヘナリ今其ノ戒ヲ持スルユヘ隨順三世諸佛教故ト讚メ給  
 フ今下上品ハ初メニ十二部經ノ首題名字ヲ聞キ後ニ念佛ヲ聞ク其念佛ニ就テ讚  
 メ給フナリ然ルニ同シ念佛ナレドモ眞門ノ念佛アリ弘願ノ念佛アリ眞門ノ念佛

ハ諸行ヲ少善根少福德ト捨テ、大善大功德ノ名號ニ行ヲ説キ廢立ハスレドモ如  
 何ニセン行ニ行功ヲ見テ一日七日ノ別時念佛ヲ修シテ往生ノ業因ト募ルナリ弘  
 願ノ念佛ハ廢立ノ極致ニシテ彌陀ヲ頼ム一念ニ往生ヲ満足シテ其後ノ念佛ハ行  
 ニ行功ヲ見ズ唯ダ報恩ノ念佛如實ノ大行ナリ爾ルニ下上品ノ念佛ハ萬行隨一ノ  
 念佛ニシテ三福中ノ行福ニ攝スル念佛ナリ故ニ眞門弘願ノ念佛ニ簡ヒテ修諸功  
 德ノ中ノ稱名ヲヨンドコロトシテ殊更要門位中ノ念佛ナルコトヲ顯ハス故ニ  
 タトヒ念佛デモ自力要門ノ念佛ナルユヘ往生不定ノ念佛ナリ夫ヲ顯ハサンガ爲  
 ニ修諸功德ノナカノ稱名ヲヨン處トシテ等トノ給フト云云、今案ズルニ第一說  
 ハ漢語燈一五三丁ニ但念佛往生、助念往生、但諸行往生、ノ文アリ此文ノ但諸行  
 往生トアルニ違ス唯但ノ二字ハ他ヲ兼ルヲ嫌フ言ナリ若シ九品共ニ念佛ヲ稱ヒ  
 ルト云フナラバ但諸行ノ文ヲ如何ガスル、又第二說ハ佛ハ其機々々ニ對シテ修  
 スル處ノ法ヲ讚メ給フ今下上品ノ機ハ念佛ニ付テ讚メ給フ而シテタトヒ念佛シ  
 テモ自力ナレバ往生不定ユヘ他力念佛ニ歸セヨト云フ爲ニ自力念佛ノ往生不定



ナル義ヲ示シタ者ナリト云フ、此說ハ一往尤モナレドモ今更ニ今案ノ一義ヲ呈  
 ス抑モ口傳鈔ノ文ハ初メニ非本願タル諸行ヲ修シテト惣シテ萬善諸行ヲ束テテ  
 出シ給フ爾レバ單ニ十二部經首題名字ノ一行ニ對シテ念佛ノ最勝ヲ顯シテ讚嘆  
 シ給フニハ非ル可シ是ハ凡ソ觀經ヲ解スニ三義ヲ以テ分別ス可シ一ニハ要門當  
 意ノ義コノ時ハ上ニ示ス如ク上下品ハ菩提心ニ付テ讚嘆シ給フ中々品ハ戒行ニ  
 付テ讚嘆シ給フ下上品ハ念佛ニ付テ讚嘆シ給フ其機々々ノ讚嘆ニシテ應病與藥  
 ノ對機說ナリ不淨觀ヲ修スル者ニハ不淨觀ハ最勝也ト讚嘆シ慈悲觀ヤ因緣觀ヲ  
 修スル者ニハ亦其觀ヲ讚嘆スル如シ是ハ要門當意ノ義ナリ、第二ニハ誘引門ノ  
 義コレガ今一義ヲ述ル處ナリ漢語燈<sup>二三</sup>已下ニ附屬流通ノ廢立ノ義ヲ助ル文  
 トシテ七文ヲ以テ證據ニ出セリ其第四文ハ下品上生ノ文ナリ即チ上ニ十二部經  
 ノ首題名字ヲ修スル時ニ僅ニ千劫ノ罪ヲ滅ス爾ルニ念佛ヲ稱フレバ五十億劫ノ  
 罪ヲ滅スルユヘ念佛ノ功德勝ル故ニ佛ハ十二部經ノ首題名字ヲ聞クコトヲ讚ゼ  
 ズ一聲ノ稱名ノユヘニ來迎スト讚嘆シ給フ此文廢立ノ證據ニナルハ十二部經ノ

首題名字ノ一切經ヲ攝スル故ニ萬善諸行ハ悉ク之ニオサメテ諸善ナステ、念佛  
 一行ヲ讚シ玉フト見込ミ玉フ事ト伺ハル、依テ觀經ノ下上品ノ心ハ此ノ義ヲア  
 ラハスト見テ萬善諸行ヨリ念佛一行ガ勝レ其念佛一行ノ爲メニ佛來迎シタマフ  
 ト要門ノ位ノ中ニ弘願念佛ノ味ヲ含マセテ萬善諸行ヲ廢シテ念佛一行ノ者ヲ迎  
 トルト萬行隨一ノ念佛ノ功チアラハシ玉フ仍テ諸行ナステ、念佛ニ歸セヨ自力  
 ナガラモ念佛ニ歸セヨトス、メ玉フ之ガ覺師ノ御心ナリ之ハ誘引門ノ心デ如此  
 ノ妙釋ヲ揮ビ玉フコレ諸行ノ來迎チステルトコロデ見込也覺如上人ハ種々發揮  
 ノ妙說アリ身心命終說或ハ攝取ト遍照ノ別ヲ分明ニ顯シ或ハ平生業成ノ名目チ  
 立テ玉フ等ハ皆覺師ノ功績ナリ今モ覺師微妙ノ釋ヲ揮ヒ給フ所也、扱次ニ第三  
 義ノ廢立ニ約シテ弘願ノ上デ論ズルトキハ如何ト云フニ是ハ末燈鈔<sup>七</sup>ニ「彌  
 陀ノ本願トマフスハ名號ヲトナヘンモノヲ極樂ヘムカヘントナカハセタマヒタ  
 ルチフカク信シテトナフルガメデタキコトニテ候ナリ」トアリ此ノ念佛ニ來迎  
 チ云フハ和語燈<sup>二</sup>「只彌陀ノ本誓ノ善惡チモ嫌ハズ名號チ唱フレバ必ズ迎ヒ



給フツト信シ名號ノ功德イカナル過チモ除滅シテ一念モ十念モ必ズ往生ヲ得ル  
 事ノ目出度事ヲ深ク信シテ疑心一念モナカレト云フ心ナリ」トアルヲ相承シテ  
 末燈鈔ニ此ノ如ク述給フ而シテ念佛來迎ト云フコトハ其本ハ觀經下上品ヨリ外  
 ニナキナリ而シテ是ガ如何ニシテ第十八願ノ意トナルカト云フニ附屬ノ經文ヨ  
 リ振り返リテ見ルナリ附屬ノ文デハ望佛本願意在衆生一向專稱彌陀佛名ト  
 ナル此ノ附屬ノ文意ヨリ汝稱佛名故我來迎汝ノ經文ヲ照シ合セテ見ルトキハ  
 「彌陀ノ本願ハ名號ヲトナヘンモノヲ極樂ヘムカヘントナカハセタマヒタ」コ  
 ト、ナルナリ是レ廢立ノ極致ヲ述タ者、以上觀經ヲ解スニ三義アル中今ノ口傳  
 鈔ノ釋ハ觀經當分ノ釋ニモ非ズ又廢立極致ノ弘願釋ニモアラズ定散ノ機ヲ誘引  
 スル義ニヨリ深ク元祖ノ意ヲ得テ誘引ノ一義ヲバ設ケ給フト窺フコトハ此ノ如  
 シ取捨任情、問云若シ然ラバ來迎ハ諸行往生ニアリトイヒ又念佛來迎トイフテ  
 弘願ノ念佛ニ來迎アリ此相違如何答云是ハ二義ヲ以テ伺フベシ一ツニハ行者請  
 求門、二ツニハ覺體親近門、今來迎ハ諸行往生ニアリト云フハ行者ノ請ヒ求ル

邊ニ付テ云フコトナリ諸行往生ノ行者ハ我ト行願ヲ起シテモ定散ノ自心ヨリ起  
 ス故臨終業成ノ義トナルカルガ故ニ臨終正念ヲウスル時ハ淨土ニ往生スルコト  
 能ハザルナリ是ヲ以テ諸行往生ノ人ハ臨終正念ニ住セザルベカラザルナリ然ル  
 ニ我等ハ煩惱多キ身ナリ六要三十一ニ「凡人臨終識心無主善惡業種無不發現或  
 起惡念或起邪見或生繫戀或發猖狂惡相非一皆名願倒因」トアリ爾レバ臨  
 終ニハ種々ノ惡念生シテ正念ニ住スルコト難シ由テ佛ノ來迎ニ與ラザレバ正念  
 ニ住スル能ハズ臨終ニ來迎ヲ待テ往生ヲ決定ス故ニ自力ノ行者ハ是非來迎ヲ要  
 スルナリ故ニ來迎ハ諸行往生ニアリ自力ノ行者ナルガユヘニト云フ此邊ヨリ云  
 ヘバ來迎ハ諸行往生ニアリト云ハチバナラヌ、爾ニ覺體親近門ノ義ヨリ云ヘバ  
 爾ラズ阿彌陀佛ニ於テハ念佛ガ御好キナリヤ諸行ガ御好キナリヤト二ツ并ベ置  
 タナラ念佛ト云ハチバナラヌ其御好キナ御心ヨリ云ヘバ諸行ハ嫌ヒユヘ迎ヘズ  
 念佛ハ好キユヘ迎ヘ給フ故ニ弘願念佛ノ來迎ハ覺體親近門ナリ又諸行來迎ハ行  
 者請求門ノ邊ナリコレニヨリテ各據一義并不相違ト謂フ可シ、問云往生要集中



末<sup>十八</sup>「佛子知否唯今即是最後心也臨終一念勝百年業若過此剎那生處應一定今正是其時當一心念佛決定往生西方極樂微妙淨土八功德池中七寶蓮臺上應作是念如來本誓一毫無謬願佛決定引攝我」トアリ爾バ臨終ノ一念ハ百年ノ業ニ勝レリト是レ臨終ヲ待ツ所以ナリ由テ今ノ文ニ臨終マツコト來迎タノムコト諸行往生ノ人ニ云フベシトアリ爾ニカ、ル文ヲ知リナガラ眞宗ニ於テ劣リタル平生ノ時ヲ取テ平生業成ト云フハ臨終業成ニ劣ルニ非ズヤ如何答云是ハ百年ノ業ニ勝ルト云フハ諸行ノ上ニテ平生ト臨終ヲ分ケテ此ノ如ク云ヘシナリ御當流ノ彌陀ヲタノム一念平生業成ト云フハ此義トハ格別ナリ即チ和讃ニ信ハ願ヨリ生ズレバ等信卷別序ニ獲得信樂發起自如來選擇願心ト又御文ニ帖目<sup>通</sup>ニ信ズル心モ念ズル心モ皆彌陀如來ノ御方便ヨリ起サシムルモノナリト是等ノ文ヨリ云ヘハ他力廻向ノ信心ハ佛心ナリ佛智ナリ如來廻向ノ心ナレバ臨終一念百年ノ行業ニ勝ルトアル一念ヨリ勝レタルコト勿論ナリ故ニ要門ノ分域ヲモテ弘願ノ信心ヲ難ズベカラズ由テ弘願ノ上ニ於テハ佛智佛心ヲ得テ攝取ノ光益ニ由テ往

生定マルコトナレバ來迎ヲタノマズ臨終ヲマダザルコト知ルベシ上來來迎ハ諸行往生ニアリトイフ一段ヲ辨ズルコト如此。

眞實信心ノ行人ハ攝取不捨ノユヘニ等

二明眞實信心行人不待來迎扱此下ニ於テ三科ヲ以テ辯ズベシ初論起釋由之ハ本文ニ第十八願ノコ、ロトアリ第十八願ノコ、ロヲ述ベナガラ眞實信心ノ行人ハ攝取不捨ノ故ニ等トイフ釋ヲ施シ給フ由ヲ論ズルナリ之ハ願成就ノ文ノ經意ヲモテ第十八願ヲ釋シ給フタモノデ願成就ヲモテ第十八願ヲ見レバ是非此ノ如ク釋セチバナラヌナリ、先ヅ本願ノ至心信樂ノ三信ハ六要四<sup>十八</sup>ニ「眞知疑蓋無間雜故是名信樂信樂卽是一心也一心卽是眞實信心」トアリ是レ本願ノ三信ヲ願成就ニ移セバ三信卽一ノ信心トナル是以テ善導大師ノ往生禮讚ニハ觀經ノ深心ヲ釋スルニ願成就ヲ以テシテ深心者眞實信心トアリ禮讚デハ前後ノ二心ヲ自力ニ約シ中間ノ深心ヲ他力ニ約スコレ隱彰弘願ニ約スレバ一ノ深心ニ前後ノ二心ヲ攝ムル義ヲ顯ハス是レ願成就ノ經意ヲ示スユヘナリ散善義ニテハ觀經



ノ深心ト本願ノ信樂ト合シテ釋スルユヘ深心トハ深ク信ズルノ心ト云フ禮讚  
 ハ聞其名號信心歡喜ノ信心ト合スルユヘ深心者眞實信心ト云フ故ニ此ノ信心ハ  
 三信卽一ノ信心ナリ、願成就ノ信心ハ三信卽一ノ信心ト云フコト改邪鈔末下五見  
 ル可シ「ソレ本願ノ三信トイフハ至心信樂欲生コレナリ正シク願成就シタマフ  
 ニハ聞其名號信心歡喜乃至一念トトケリ」トアリ以之可知、爰ニ攝取不捨ノ言  
 ノ出タハ本願ノ文デハ若不生者不取正覺ノ義ヲ顯シ願成就デハ至心廻向ノ義也  
 コレ果上ノ攝取不捨ヲ顯スナリ願々鈔下七「起下トイフハシモノ住不退轉ノ前道  
 ナ達スルコトマタ至心ニ廻向シタマヘル如來大悲ノ無緣ノ慈悲ヨリ成ゼラル、  
 モノナリ」トアリ爾レバ眞實信心ノ行人ハ攝取不捨ノユヘニト云ハチバナラヌ  
 行人ト云フハ願成就ノ經文ニ乃至トイフ言アリ乃至ハ六要五ノ卷ニ「多少ヲ攝  
 スルノ言ナリ」トアリ爾レバ信心ヲ得タ上ニ念佛ヲ稱フル故行人ト云タモノナ  
 リ或ハ又云ベシ一多證文三十一「卽得往生トイフハ卽ハスナハチト時ヲヘズ日ヲヘ  
 ダテヌナリ又卽ハツクトイフソノ位ニツクト云言ナリ得ハウベキコトヲ得タリ

トイフ眞實信心ヲ得レバ無碍光佛ノ御コ、ロノウチニ攝取シテステタマハザル  
 ナリ乃至往生ヲウトハノタマヘルナリ」トアリ是デ見レバ善導大師ノ二河喻ノ御  
 釋ニ若不生者ヲ果上ニ約シテ我能護汝トノ給フ卽得往生ハ若不生者ノ相而シ  
 テ若不生者ハ果上ノ攝取不捨ソコデ卽得往生ヲ攝取不捨デ顯シタモノナリ而シ  
 テ住不退轉ハ正定聚ナリ故ニ今ノ文ノ眞實信心ノ行人ハ攝取不捨ノ故ニ正定聚  
 ニ住スルト云フコトハ全ク願成就ノ意トナルナリ、由テ願成就ノ意ヲ以テ本願  
 ナナガムレバ至心信樂欲生ノ三信ハ眞實信心ト云フコトニナル乃至十念ハ眞實  
 信心ノ行人ト云フコトニナル一帖目通二「フタ心ナク如來ヲタノム心ノ子テモ  
 サメテモ憶念ノ心ツ子ニシテワスレザルヲ本願タノム決定心ヲエタル信心ノ行  
 者トハイフナリサテコノウヘニハダトヒ行住坐臥ニ稱名ストモ彌陀如來ノ御恩  
 ナ報シマフス念佛ナリトオモフベキナリコレヲ眞實信ヲエタル決定往生ノ行者  
 トハマフスナリ」同三ニ「一心ニフタゴ、ロナク彌陀一佛ノ悲願ニスガリテタ  
 スケマシマセトオモフ心ノ一念ノ信マコトナレバ乃至コレヲ當流ノ安心決定シタ



ル信心ノ行者トハマフスベキナリ」此ノ御文ニ照シテ眞實信心ノ行人ハ乃至十念ノ意ト伺フベシ、次ニ攝取不捨ノユヘニ正定聚ニ住ストハ若不生者不取正覺ノ意和讃ニ曰ク「若不生者ノチカヒユヘ信樂マコトニトキイタリ一念慶喜スルヒトハ往生カナラズサダマリヌ」トアリ以之可知若不生者ノ誓ヒガ衆生ノ機ニ届ヘテ信樂ヲ獲得シ而シテ一念慶喜スル人ハトハ往生定リシコトヲ喜ブ人ナリ其人ハ大般涅槃ノ妙果ヲウルナリ是ガ果上ニ約スレバ即チ攝取不捨ノ誓ヒヲ顯スユヘ善導大師ハ我能護汝トノ給フテアリ護リテモコフユヘ往生定ル往生定ルガ故ニ正定聚ニ住ス故ニ慶喜ノ心モ起ルナリ、以上ノ道理ヨリ見ルトキハ願成就ヲ以テ第十八願ヲ見テ之ヲ釋シ給フ御意ヲ伺ヒ知ルベキナリ一解文相、眞實ノ信心トハ禮讚ノ二種深信ノ心ニシテ禮讚ノ二種深信ノ釋相ニスレバ我身ハワロキイタヅラ者ト知テ本願ヲ信ジテ少シノ疑モナキハ眞實信心ナリ二帖目十五通ニ「夫當流ノ安心ノスガタハイカバトナレバマヅ我身ハ十惡五逆五障三從ノイタヅラ者ナリトフカク思ヒツメテソノ上ニ思フベキヤウハカ、ルアサマシキ

機ヲ本ト助ケタマヘル彌陀如來ノ不思議ノ本願力ナリトフカク信ジテ少シノ疑心ナケレバカナラズ彌陀如來ハ攝取シタマフベシコノ心コソスナハチ眞實信心ヲエタルスガタトハイフベキナリ」ト是即眞實信心ノ義ナリ少シモ疑ナキガ眞實ノ義ヲアラハス又眞實ノ信心トイフハ眞實ハ雜修不至心ニキラフコトバナリ五帖目十五通ニハ「ソレ信心ナトルトイフハヤウモナクタ、モロ／＼ノ雜行雜修自力ナントイフワロキコ、ロチフリステ、一心ニ深シ彌陀ニ歸スルコ、ロノウタガヒナキチ眞實信心トハマウスナリ」トアリ是デ見レバ自力雜行雜修ノ心チステ、彌陀ニ歸スル心チ眞實信心ト云フ、或ハ又煩惱ノ虛假不實ノ心チ止メテ心底ヨリ御慈悲ヲ信ズルユヘ眞實ノ信心ト云フ、又願成就ノ上ニ於テ論ズレバ信心歡喜ノ信心ハ眞實功德ノ名號ノ賜モノナレバ眞實信心ト云フ、又至心廻向ヨリフリ返レバ如來ノ眞實御慈悲ノ心ヨリ御廻向ノ信心ナレバ眞實信心ナリ、扱眞實信心ニ攝取不捨ノ語ノ連續シタハ如何ト云フニ是ハ深心釋ニ「深心即是眞實信心」乃至今信知彌陀本弘誓願及稱名號下至十聲一聲等定得往生等トト



リ定得往生トハ決定往生ノ思ヒニナルコトナリ處デ此ノ定得往生ト云フコトガ彌陀ニ約スレバ攝取不捨ノ義ナリ彌陀ノ方ノ法決定デ攝取ノ光明ノ中へ攝メトリ如何ニ地獄へ落ナント思フトモ落サル處ガ法決定ナリ其法決定ガ機ノ方へ現ハレテ定得往生ノ機決定トナル由テ末燈鈔九十一「往生ノ心ニウタガヒナクナリ候ハ攝取セラレマイラセタルコト、ミエテ候」トアリ爾バ眞實信心ノ人ハ攝取ノ光益ニ與カルユヘ由テ眞實信心ノ行人ハ攝取不捨ノユヘニト觀經ノ經文ニ合シテ攝取不捨ノ語ヲ出シ給フナリ臨終業成ニ對スル故攝取不捨ノ語ヲ用ヒダマフナリ、扱正定聚ニ住ス等トアル正定聚ノ語ハ論註下五十三ノ文ニ據リ給フナリ攝取不捨ニ與カレバ正定聚ニ住スルト云フコト願成就ノ經意ニテ即チ至心廻向乃即得往生住不退轉ト云フ文意ナリ爾バ攝取不捨ノユヘニ正定聚ニ住スルト云ハチバナラヌ是ヲ六要二一八ニ「十方群生海歸命斯行信者攝取不捨故名阿彌陀佛是日他力是以龍樹大士曰即時入必定曇鸞大師云入正定之聚」トアリ爾バ攝取不捨ノ義ハ正定聚トナルナリ法ニ約スレバ攝取不捨機ニ約スレバ正定聚

トナル故ニ攝取不捨ノユヘニ正定聚ニ住ストノタマフ、サテコノ攝取不捨ノユヘニ正定聚ニ住ス以下ノ文ハ二度讀ムベシ攝取不捨ノユヘニ臨終マツコトナシ來迎タノムコトナシ又正定聚ニ住スルガ故ニ臨終マツコトナシ來迎タノムコトナシカク二度ニ見テ義ヲ取ルベシ之ヲアラハシダガ一帖目四通ナリ云不來迎ノコトモ一念發起住正定聚ト沙汰セラレ候トキハサラニ來迎ヲ期シ候ベキコトモナキナリコレ住正定聚ノ故ニ來迎タノムコトナシト云ベキナリ又云眞實信心ノ行者ハ一念發起スルトコロニテヤガテ攝取不捨ノ光益ニアヅカルトキハ來迎マデモナキナリト知ラル、ナリト爾レバ攝取不捨ノ故ニ來迎マデモナシト云ベキナリサテ正定聚ニ住スルガ故ニ必ズ滅度ニイタルトハ正定聚ニ住シタモノハ必ズ大般涅槃ノ妙果ヲサトルベシサテ此滅度ニ至ルトイフニ付テニ義アルナリ一ニハ之ヲ現益ニ約シテイフナリ此時ハ現生正定聚トス必ハ必定ノ義デ後ニアル事ガ前方ニ定ルナイフ滅度ハ命終テ淨土ニ往生シテ開ク後ノ果名ナレド其果ガ此世ニアルトキニ定リアルヲ必至滅度トイフ本願鈔左丁一念歡喜ノ思オコルニ



ツイテ往生タナドコロニ定ルヲ正定聚ノ位ニ住ストモイヒ必ズ滅度ニイタルナ  
 リトモ攝取不捨ノ益ニアヅカルトモイフナリ一ニハ必至滅度ヲ因ニノヅメテ果  
 ナトク言トス此時ハ往生ノ後ニ得ル所ノ果ニシテ第十一願ノ必至滅度ノ當益ニ  
 ツクト同ジコト、ナルナリ今ハ論註ノソノマ、ノ言ナレバ當益ナルベシ已ニ正  
 定聚ニ住スルガ故ニ滅度ニイタルトイフ由テ現當ノ二説アリ爾シ本願鈔ニ準ズ  
 レバ第一説ガ宜シキガ次ニ來迎タノムコトナシトハ之ニツクニ先輩慧空師ノ叢  
 林集四<sup>十五</sup>ニコノ不來迎ノ不ノ字ニ四義ヲ含ムトイフ一ニハ不期來迎ノ義平生  
 業成ノ故ニ即得往生ノ故ニモハヤ臨終ヲ待テ來迎ヲタノムコトナキナリ信ノ一  
 念正定聚ニ住シタレバ何ゾ來迎ヲ待テ往生ヲ決セン依テ御文一帖目四通ニ來迎  
 ナ期スルマデモナキナリトアリ一ニハ不事來迎ノ義、之ハ來迎ノ有無ヲ沙汰セ  
 ザルナリ末燈鈔<sup>十五</sup>ニ善信ノ身ニハ臨終ノ善惡ヲ申サズ信心決定ノ人ハ疑ナク正  
 定聚ニ住スルコトニテ候トアリタノム一念ノ時往生一定御助治定ノ安心ニ住ス  
 レバサラニ來迎ヲコト、セザルナイフ嘆異鈔<sup>四</sup>攝取不捨ノ願ヲタノミダテマ

ツラバイカナル不思議アリテ罪業ヲオカシ念佛申サズシテオハルトモスミヤカ  
 ニ往生ヲトグベシト是ガ來迎ヲ事トセザル相ナリ三ニハ不可來迎ノ義是ニ一  
 義アリ一ニハ諸行往生ノ人ハ來迎ノ勝レタル緣アリテ往生ヲ得ント欲ス信心ノ  
 人ハ既ニ往生定得スレバ何ゾ來迎スルニ及バンヤ用事ノスミシ上ハ來迎スベカ  
 ラズト云フ義ナリ一ニハ法事讚下<sup>十一</sup>ニ一坐無移亦不動トアリ般舟讚<sup>十六</sup>ニ一  
 坐華臺未曾動ト爾バ眞佛既ニ報身不動ナレバ來迎ナシト云フ義ナリ四ニハ來迎  
 アリトモ來迎ニ非ズト云フ義ナリ是ハ無非不ノ三字ハ阿ノ別名ト云フテ同ジコ  
 トナリ由テ不來迎ト云フコトハ非來迎ト云フコトナリト夫ハ一念發起ノ信心起  
 ル時ヨリ來テ現ハレ給フ眞要鈔本<sup>十一</sup>ニ「タ、一念ノ信心定マルトキ乃淨土ノ莊  
 嚴ヲモミルナリ」トアリ是ハ攝取不捨ノ時ニコノ益ニ與レドモ未ダ現ハレズ其  
 レガ臨終ニ現ハル、ユヘニ攝取不捨ノ時ニ有ル益ガ臨終ニ現ハル、モノナレバ  
 來迎ニアラズト云フ義ナリ已上四義知ル可シ、扱一義ヲ呈セバ來迎不來迎ハ例  
 ナ出セバ得非得相翻而立ト云フ如ク來ト云フトキハ不來ニ對スルガ當然ナリ眞



要鈔末八十一「一坐無移亦不動徹窮後際放身光」トアリ其次ニ善無畏三藏ノ語ヲ引テ「理智不二名彌陀身不從他方來迎引接」トアリ此文ハ來迎セヌト云フコトナリ是デ來不來相翻スルナリ是ガ不來迎ノ義ナリ爾ニ此ノ不來迎ヲ行者ノ領解ニ約シテ云ヘバ來迎ヲ待タザルガ故ニ不期來迎ノ義モ立ツ來迎ヲ重ゼザルユヘ不事來迎ノ義モ立ツ又攝取不捨ノ佛體ガ顯現スル義ニ約スレバ非來迎ノ義モ立ツ報身如來ハ動カザルユヘ不可來迎ノ義モ立ツ爾レドモ不來迎ト云フコトハ來ラヌト云フコトガ大體ナリ夫ヲ望メ様ノ義門ニ由テ種々ノ義ガ立ツコトナリ其種々ノ義門ヲ取テ來迎不來迎相對シテ云フナリ故ニ來迎不來迎ノ當分ハ得非得相翻而立ノ意ニテ解スベシ是ハ有案ノ一義ナリ 三問答料簡 問云眞實信心ノ行人ハ攝取不捨ト云フコトハ吾祖何レヨリ見込ミ給フヤ答云全體現生正定聚ト云フコトハ源ハ龍樹菩薩ノ指南ナリ即チ論文ニ「人能念是佛無量力功德即時入必定」トアリ能クトハ宿善開發ノ機ヲ顯シテ法ヲ領納スルコトノ滿足スル義ヲ顯ス、無量力功德ヲ念ズレバトハ願成就ノ經文ノ信心歡喜乃至一念ナリ龍樹

ニ在テハ本願ノ三信モ念ノ一字ニ約メテ念我稱名ト云ヒ願成就ノ經文モ念ノ一字ニ約メテ無量力功德ヲ念ズレバトノ給フナリ唯信鈔文意二七ニ「喜ハコ、ロノウチニツ子ニヨロコブコ、ロタエズシテ憶念ツ子ナルナリ」トアリ爾バ信心歡喜ヲ攝ムレバ念ノ字ニナルナリ其時正定聚ニ住ストナリ、問云現生正定聚ト云フコトハ聞ユレドモ攝取不捨ノ故ニ正定聚ニ住スルト云フコトハ知レ難シ如何答云此文ニ無量力功德トアリ無量力トハ六要二七蓋由阿彌陀佛有三大慈悲力大誓願力大智慧力大三昧力大威神力大摧邪力大降魔力天眼遠見力天耳遙聞力他心徹鑒力光明遍照攝取衆生力二トアリ爾ガ無量力ノ中ニ攝取不捨ノ力アリ由テ六要二七八ニ此釋ヲウケテ「十方群生海歸命斯行信者攝取不捨故名阿彌陀是日他力是以龍樹大士曰即時入必定曇鸞大師云入正定之聚」トノ給フ爾バ無量力トハ攝取不捨ノ力ナリ由テ眞實信心ノ行人ハ攝取不捨ノユヘニ正定聚ニ住ストハ龍樹ノ無量力ヨリ出デ、之ヲ觀經ノ文ニ合シテ顯シ給ヘタルコト吾祖ノ御指南ニ照シテ知ルベシ、扱臨終マツコトナシ來迎タノムコトナシトハタノムト



ハアテカニスルコト今其意ナキチ云フ十九願ノ機ハ諸行往生ユヘニ臨終ヲマテ  
來迎ヲ期スルコトナリ知ルベシ上來第一章ヲ辯シ終ル。

一又ノタマハク

辨第二章一 初標、又ノタマハクノ言ハ吾祖ノ御相傳ヲ示シ給フナリ扱上章  
ニ序デ今章ノ來ル所以ハ上ニ眞實信心ノ行人ト云フ爾レドモ眞實信心ニ由テ生  
死ヲ得脱スル其眞實信心ノ相ヲ未ダ顯サズコレ今章ノ來ル所以ナリ。

是非シラズ邪正モワカヌコノ身ニテ等

二出文相二 初出讚文 此ノ和讚ノ文ハ三帖ノ結讚ニシテカヤウニ三帖ノ和讚  
ヲ造レドモ名利ニ人師ヲ好ミテ誠ニ是非邪正ヲモ知ラヌ淺間布キ身ト顯ス卑下  
謙退ノ御辭ナリ爾レドモ存覺上人ノ嘆徳文ニ順ズルニ彼文ニ初ニ愚禿鈔ト題ス  
ル選アリト述テ次ニ禿鈔ノ文ヲ擧ゲ而シテ次ニ此ノ釋卑謙ノ言辭ヲ借テ其理顯  
對ノ意趣ヲ存ス<sup>乃至</sup>末世凡夫ノ行狀ヲ示シ下根往生ノ實機ヲ表ストアリ爾バ辭ハ  
卑謙ノ言ナレドモ御自身ノ御心デハ末世凡夫ノ行狀下根往生ノ實機ヲ示シ此ノ

如キ淺マ布キ此ノ身ガ本願ノ實機ナリト即機ノ深信ノ機相ヲ顯シ給也ト可知悲  
歎述懷讚ニ小慈小悲モナキ身ニテ等トイフモ此心也カ、ル機ナレドモ信心獲得  
スレバ出離解脱ガ出來ル故往生淨土ノタメニハ信心ヲ要トスト顯ス意ニテ佛智  
ニ歸スルヲ報土ノ眞因トスルト云意ナリサテ文相ヲ釋セバ是非シラヌトハ是ト  
ハ義理ヲツトメテ法則ヲ守ルチ是ト云非ハ筋道ニ背キテ惡チナスナリ大經ニ八  
見善憎謗不思慕及但欲爲善妄作非法トアリ人ノ善チシテナシタイノ思モナク義  
理ニ背キ法則ニ違スル業チナスナリ又邪正ヲワカヌ此身ナリトハ外教ヲトルチ  
邪ト云佛法ヲ信ズルチ正ト云和讚ニ提婆五邪ノ法ニシタイヤシキモノニサダメ  
タリソコデ上ヲ結ビテソレチ分別出來ヌモノチ是非シラズ邪正モワカヌコノ身  
トノタマフナリ即愚痴闇鈍ノアリサマナリモツトモ是非邪正ノコトハ觀念法門  
ニ<sup>ナ</sup>ノ凡夫機性有其二種一者善性人二惡性人其善性人ト一聞即捨惡行善善人  
二者捨邪行正善人二者捨虛行實善人四者捨非行是善人五者捨僞行眞善人<sup>乃至</sup>  
言惡性人者一者謗眞行僞惡人二者謗正行邪惡人二者謗是行非惡人四者謗



「實行虚惡人五者謗善行惡惡人」等トアリ愚禿鈔上下「就善性有五種一善性  
 二正性三實性四是性五眞性乃至又復就惡性有五種一惡性二邪性三虛性四非性五  
 偽性」トアリ就テ見ルベシ、次ノ文ニ小慈小悲モナケレドモ等トハ慈悲ノコト  
 ハ論註下七「拔苦日慈與樂日悲」トアリ拔苦與樂ヲ云フナリ同上右「慈  
 悲有三緣一者衆生緣是小悲二者法緣是中悲三者無緣是大悲」トアリ衆生緣トハ  
 父母等ノ差別相ヲ緣シテ救フヲ云フ法緣トハ一切衆生ハ四大五蘊ノ法假リニ和  
 合シテ成ズ故ニ假ノ衆生ト名ク今其ノ法ヲ緣シテ起ス慈悲ヲ云フ無緣トハ一切  
 衆生體空ナリト觀シ心ニ實相ノ妙理ヲ證シテ空ニ即シテ有ノ衆生ヲ緣シテ起ス  
 慈悲ヲ云フ此ノ三緣序デノ如ク小、中、大、ノ慈悲ナリ今其中ノ小悲サヘモナ  
 キ此ノ身トノ給フ爾ニカ、ル身デアリナガラ名利ニ人師ヲ好ムトテ名ノ爲メ利  
 ノ爲メニ人ノ師トナルコトヲ好ムト云フコトナリ六要五三ニ「悲哉愚禿鸞沈  
 沒於愛欲廣海迷惑於名利大山不喜定聚之數不快近於眞證之證可耻可傷  
 矣」トアルハ此ノ相ナリ是ガ下根往生ノ實機ヲ現ハシ末世凡夫ノ行狀ヲ示シ給

フ而シテ此ノ機ガ信心一ツデ佛ニナルト顯ス即チ機法ニ實ノ意ナリ。

往生淨土ノ爲ニハタゞ信心テサキトス等

一示往生要二 初示歸佛二 初稟信心爲先義此文ハ是非知ラズ邪正モワカ  
 ヌ此ノ身ナレドモ淨土ニ往生スルニハ信心一ツデ往生ヲ遂ルヲ示スナリ此文  
 ハ唯信鈔二ニ「佛力無窮ナリ罪障深重ノ身ヲオモシトセズ佛智無邊ナリ散亂  
 放逸ノモノモスツルコトナシタゞ信心ヲ要トスソノホカチカヘリミザルナリ」  
 同九「往生淨土ノミナハ信心ヲ先トス」トアリ又和語燈ニ「往生極樂ノ爲ニ信  
 心ヲ先トス」トアリ此三文ヲ合シテ今ノ釋ヲ示シ給フ、扱此處ノ一段ニ吾祖ノ  
 釋モ擧ゲズ元祖ノ釋モ擧ゲズ殊更聖覺法印ノ唯信鈔ノ文ヲ擧ゲ給フハヨク注意  
 シテ伺フベキナリ是ハ口傳鈔ノ中ニ祖師ノ口傳ヲ明ス下ニ吾祖ガ元祖ノ命ニ  
 由リ法印ノ處ニ至リシニ法印ハ吾祖ヲ重シテ吾祖ニ說法ノ旨ヲ示シ吾祖又元祖  
 ニ其趣キヲ述ベ給フ處ノ相ヲ述テアリ即チ口傳鈔上三ニ云ク「聖人安居院ノ坊  
 ニイタリテ案内セラルオリフシ沐浴ト云云御使ヒタレヒトゾヤトトハル善信ノ御



坊ノ御入來アリト云云ソノトキオホキニオドロキテコノヒトノ御使タルヲ邂逅ナ  
 リオボロゲノコトニアラジトテイソギ温室ヨリイデ、對面」等トアリ夫ヨリ下  
 ノ文ニ「西意」二坐ノ說法聽聞ツカフマツリオハリ又言語ノヲヨブトコロニアラ  
 ズト云云二百八十餘人ノ御門侶ノナカニソノ上足トイヒソノ器用トイヒスデニ清  
 選ニアタリテ使節ヲツトメマシマス」等トアリ是ハ口傳鈔ノ中ニ法門ノ義筋ニ  
 巨ラヌ者ヲ第一章ニ出シ給フハ其意彼ノ鎮西流デハ聖覺法印アル時黑谷ノ正統  
 ナ傳ヘルハ聖光上人ナリト申サレタ。云フヲ重クトリテ黑谷ノ正意ハ鎮西ニ  
 アリト誇ル夫ニ對シテ重キ元祖ノ命令ニ由テ聖覺法印へ趣キ給フニ法印深ク吾  
 祖ヲ重シタリ之ヲ以テ元祖ノ正意ヲ傳ヘル者ハ吾祖ナリト殊ニ法印ノ語ヲ擧ゲ  
 テ示シ給フナリ之ヲ以テ窺フニ殊更聖覺法印ノ語ヲ用井給フハ下ニ元祖聖人ノ  
 コトヲ述テアリ其レニ先立テ法印ノコトヲ述タハ吾祖ノ信心爲本ノ義ハ元祖及  
 ビ聖覺法印ノ相傳ヲ得テ弘メ給フ信心爲要ノ義ナリト深ク顯サンガ爲ニ殊更唯  
 信鈔ノ文ヲ用井テ此處ニ擧ゲ給ヘタコトナリ爾バ深重ノ義ナルコトヲ考フ可シ

扱釋文セバ今コノ文ハ極樂ニ往生スルニ萬行諸善ハ要ニ非ズ能稱ノ念佛ヲ要  
 トスルニ非ズ唯ダ信心一ツヲ肝要トシテ其外ヲ願ザルト云フコトヲ示ス此ノ願  
 ザルト云フコト重ク心ヲ置クベシ唯信鈔デハ上ノ方ニ善惡ニ心配シテ往生如何  
 ト危フムユヘ罪業深重ヲオモシトセズ散亂放逸モステラレズ善根少キヲモ心配  
 セズ夫ヲ願ズ本願ヲ信ゼヨト云フ文言アリ爾バ二種深信ヲ示シ給ヘタモノナリ  
 善導ノ二河喩ノ御釋ニ不願水火二河念々無遺乘彼願力之道トアリ之ヲ承ケ  
 テ和語燈一二ニ二種深信ヲ釋シテ「只心ノ善惡ヲ願ズ罪ノ輕重ヲモ辨ヘズ心  
 ニ往生セント思テ口ニ南無阿彌陀佛ト唱ヘバ」等トアリコレ二種一具ヲ顯ス一  
 段ナリ御文三帖目通五ニ「ソレ在家止住ノヤカラ一生造惡ノモノモタ、我身ノツ  
 ミノフカキニハ目ヲカケズシテ乃他力ノ信心トイフコトヲヒトツコ、ロウベ  
 シ」等トアリ是レ二種一具ノ相ナリ然バ誠ニ甚深ノ御釋ト知ルベシ。  
 往生ホドノ一大事凡夫ノハカラフベキコトニアラズ等

二顯歸他力義ニ 初略釋 是ハ西鎮等ノ義ヲ揀ビ給フ信卷別序ニ迷定散自



心昏<sub>ニ</sub>金剛真心<sub>ト</sub>示シテアリ今凡夫自力ノ計ヒニテハ往生ヲ得ズト示シ給フナ  
 リ凡夫ノ計ヒトハ要門ハ計ヒナリ觀經九品ノ經文ヲ見テ上品上生ハコレ行福ナ  
 リ中品上生ハ戒福ナリ中下品ハ世福也<sub>コノ</sub>世戒行ノ三福ヲ以テ往生ノ果ヲ計フ  
 ガ是ナリ即チ因ヲ計ヒ果ヲ計フナリ其ノ計ヒチ拂フテ如來ノ他力ニ歸スベキコ  
 トヲ示ス是レ末燈鈔<sub>九</sub>ニ「往生ハナニゴトモ<sub>ノ</sub>凡夫ノ計ヒチナラズ加來ノ  
 御誓ヒニマカセマイラセタレバ<sub>コソ</sub>他力ニテ候ヘ<sub>乃</sub>仰セニ候ヘキ」ノ意ヲ述ベ  
 テ凡夫ノ計ヒニテハ到底往生スル能ハズト顯シ示スナリ、扱一大事ト云フハ稱  
 讚淨土經ニ曰ク「又舍利弗若有淨信諸善男子或善女人得聞如是無量壽佛無量  
 無邊不可思議名號極樂世界功德莊嚴聞已思惟若一日夜或二或三或四或五或六  
 或七繫念不亂<sub>乃</sub>我觀如是利益安樂大事因緣<sub>ト</sub>アリ法華經ニハ唯一大事因緣  
 トアリ又文類聚鈔<sub>十七</sub>「大聖世尊出興於世大事因緣顯悲願真利爲如來直說<sub>ニ</sub>示  
 凡夫即生爲大悲宗致<sub>ト</sub>アリ吾々永劫ノ初ツ事ニ極樂ニ往生シテウツクシキ佛  
 トナルハ豈一大事ノ因緣ニ非ズヤ爾バ凡夫ノ計ヒチ止メテ如來ノ計ヒニ任セヨ

トノ給フナリ、スベテ凡夫ニ限ラズ等 二廣釋二 初示佛智不可測 補處トハ  
 帖外御文五<sub>二</sub>「一生補處ト云フハ彌勒ノコトヲ申ナリ世尊ノアトヲツギテ出世  
 アルベキ菩薩ナレバ補處ノ華薩トハ云フナリ」トアリ知ルベシ、佛智ノ不思議  
 ナハカラフベキニアラズ、トハ大經ニハ「如來智慧海深廣無涯底<sub>ニ</sub>乘非處測  
 唯佛獨明了」トアリ又「其佛本願力聞名欲往生皆悉到彼國自致不退轉<sub>ト</sub>ア  
 リ此ノ二句ノ文ヲ合シテ善導ハ彌陀智願海トノ給フコレ因位ノ本願ガ其ノマ、  
 果上ノ智慧ナリ果智ハ其ノマ、因位ノ本願ナリ果チ因ニ攝ムレバ彌陀智願海、  
 因チ果ニ攝ムレバ彌陀ノ佛智海ニテ彌陀ノ智慧ハ因位ノ本願ニ外ナラズ由テ如  
 來智慧海ノ文ト其佛本願力ノ文トチ合シテ智願海ト善導ハノ給フナリ此ノコト  
 六要<sub>二</sub>四<sub>十</sub>ニ釋アリ又同<sub>二</sub>三<sub>十一</sub>ニ二乘非義測ニ就テ問答シテ釋シテ二乘ト云  
 フハ上ノ聲聞菩薩ノ二聖ヲサス辟支佛ハ聲聞衆ニ屬ス二乘ノ衆ミナ測ラレザル  
 ガ故ニトアリ而シテ六要ハ斯義ニ隨フテアリ爾レバ佛智ノ不思議ト云フコトハ  
 彌陀ノ佛智ハ廣ク五乘ヲ攝シ如何ナル惡人凡夫ヲモ助ケ給フコト深廣ニシテキ



ワホトリナシ故ニ二聖モ測ラレヌト示ス而シテ此ノ佛智ハ果チ因ニ攝ムレバ本願力ト云フベク因チ果ニ攝ムレバ佛智ト云フベシ何レヲ舉テモ相違ニ非ズ今其相違ニ非ザル義ヲ暫ク述レバ論註下<sup>十九</sup>ニ「願以成力力以就願」トアリ之ヲ御文ニ照セバ「阿彌陀如來ノ御袖ニヒシトスガリマイラスルオモヒナシテ後生ヲ助ケタマヘトダノミ申セバコノ阿彌陀如來ハ深ク喜ビマシクテ其御身ヨリ八萬四千ノ大キナル光明ヲハナチテ其光リノ中ニ其ノ人ヲオサマイレテオキタマフベシ」トアリ夫チ下ニ「アラ殊勝ノ超世ノ本願ヤアラアリガタノ彌陀如來ノ光明ヤ」ト五帖目<sup>通十二</sup>ニアリ、因位ノ本願ハタノム衆生ヲ助ルト云フ本願コノ本願ニ由テ阿彌陀佛トナリ給フ即チ末燈鈔<sup>左六丁</sup>ニ「第十八ノ本願成就ノユヘニ阿彌陀如來トナラセタマヒテ」ト是レガ願以成力ノ相ナリ、而シテ其願成就ノ故ニタノム衆生ヲ攝取シテ助ケ給フ即チコノ阿彌陀如來ハフカクヨロコビマシクテソノ御身ヨリ八萬四千ノ大キナル光明ヲハナチテ其人ヲ攝取シ給フ是ガ即チ力以就願ノ相ナリ故ニ因位果上ハ相違ニアラズ同ジコトナリ由テ果チ

因ニ攝メテハ彌陀ノ御誓ヒニマカセルト云ヒ又因チ果ニ攝メテハ佛智ノ不思議ヲ計フベキニアラズ往生ホドノ大事ハ如來ニマカセタマツルベシト云フ故ニ今ノ一段ニ如來ノ誓ヒニマカセ奉ルベシトモ佛智ノ不思議ヲ計フベキニ非ズトモノ給フナリ、カヘスレモ如來ノ御チカヒニマカセ等 一「示歸願力義」是ハ上ノ文ニカヘリミストアリ吾々が善シ惡シノ心配ナスルハ願ルナリ加之ナラズ鎮西等ハ皆自力ノ計ヒチ用井ルニヘ夫レニ對シテカヘスレト念チ入レテ如來ノ誓ヒニマカセタマツレヨト示シ給フ、マカセルトハ父子相迎集ノ諺註ニマカセルトハ自分ノ方ヲ負フテ向フノ方ノ云フ通りニナリテ夫レニオチツクコト、アリ是ニ據レバタノム者ヲ助クルトアル本願ニマカセテ善惡ノ計ヒ止メテ夫レニウチマカセヨリカ、リヨリタノムコトナリ末燈鈔<sup>下三</sup>ニ「彌陀佛ノ御チカヒノモトヨリ行者ノハカラヒニアラズシテ南無阿彌陀佛トタノマセタマヒテムカヘントハカラハセタマヒタルニヨリテ行者ノヨカラントモアシカラントモオモハヌチ自然トハ申ゾトキ、テサフラフ」トアリ此ノ文ニ同ジテ今示シ給フ



ナリ、コレヲ他力ニ歸シタル信心發得ノ行者トイフナリ、三結 他力ニ歸シタルトハ佛智他力本願他力ニ歸シタルコトナリ歸トハ行卷ニヨリタノムヨリカ、ルトアリ即チマカセルコトナリ、次ニ信心發得トハ和讚ニ釋迦彌陀ハ慈悲ノ父母種々ニ善巧方便シ乃至發起セシメタマヒケリトアリ又安心決定鈔ニ信心獲得ノ語アリ又正信偈ニモ獲信見敬大慶喜トアリ又惑染凡夫信心發トアリ是等ノ文ノ發ト得トナ合セテ發得ノ語ヲ造リ給フ要スルニ善惡ノ計ヒナステ、タノメ助クルノ本願ニ打ナ任セ往生一定ノ領解ニナリシナ信心發得ノ行者トノ給フナリ。

サレバワレトシテ淨土ヘマイルベシトモ又地獄ヘユクベシトモサダムベカラズ

二示依師教信順相三 初票 上來ハ願力ニマカセテ極樂ニ往生スルノ義ヲ顯ス是ヨリハ師教ニ順ヒ奉リ自力ヲ捨テ、他力ニ歸スル相ヲ示シ給フ其中今ハ苦樂昇沈ハ我身トシテ定ムベカラズト云フコトヲ顯ス、淨土ヘ參ルハ樂ニ上ルナリ地獄ヘユクハ苦ニ沈ムナリソコデ其ノ苦樂昇沈ハ只ダ師ニマカスベシ我トシ

テ定ムベカラズ是ハ口傳鈔中初丁ヨリ六丁ニ至ルマデ鎮西ノ聖光上人ノ傳ヲ示シテアリ其終リニ至テ「シカレドモソノ餘殘アリケルニヤツ井ニオホセサシオキテ口傳ニソムキタル諸行往生ノ自義ヲ骨張シテ自障々他ス」トアリ又同十六ニ西山上人ノ義ヲ述ベテ「善惠坊ノ體失シテ往生スルヨシノブルハ諸行往生ノ機ナレバナリ」ト是等ハ師教ニ從ハズ定散自心ニ迷フテ我トシテ往生ヲ定メタル義ナリ夫レニ揀ビテ我トシテ淨土ヘ參ルベシトモ定ムベカラズ又地獄ヘユクトハ日蓮ガ念佛無間ト云ヘリ今ハ夫レヲ云フナリ只ダ師教ニ從フヨリ外ナシト示ス師教ニ從フガ自力ヲステ、他力ニ歸スル相ナリ、苦樂昇沈ノコトハ往生要集上末三十一ニ「昇沈差別在レ心不在レ行」トアリ改邪鈔末十八「淨刹ニ往詣スルモ苦城ニ墮在スルモ心ノ一法ナリ」トアリ、今ノ一段ハ苦樂昇沈ハ凡智ヲ以テ測ルベカラズ全ク他力ニマカセ師教ニ順フベシト顯スナリ。

故聖人（黑谷聖人ノ御コトバナリ）ノオホセニ源空ガアラントコロヘユカントオモハルベシトダシカニウケタマハリシウヘハ等



二示稟承師教信順義<sup>二</sup> 初明依師教領受決心<sup>一</sup> 故聖人トハ故ハ物故ナリ古クナリ死ニ果テタルヲ云フ元祖ハ建曆第二壬申歲初春下旬第五日ニ淨土ニ還歸シ給フユヘニ故聖人トノ給フ往生要集下<sup>四</sup> 跋文ニ先師故慈惠大僧正トアリ御文一帖<sup>通初</sup>ニ故聖人トアリミナ死ナレタ人ヲ故ト云フ其故聖人ノ仰セニハ源空ガアラントコロヘユカントオモハルベシトタシカニウケタマハリシウヘハトハ是ハ御傳鈔上卷第七段信心諍論ノ處ニ「信心ノカハリアフテオハシマサン人々ハワガマイラン淨土ヘハヨモマイリタマハジヨク／＼コ、ロエラルベキ事ナリ」トアリ又嘆異鈔<sup>三</sup> 四<sup>丁</sup>ニモ「源空ガマイランズル淨土ヘハヨモマイラセタマヒサフラハシ」等トアリ是等ノ文ハ善惡ノ凡夫共ニ佛ノ方ヨリ賜ハル信心ヲ獲得シテ我が參ラン淨土ヘ參リ給フベシト言裏ニ其ノ意ヲ示サレテアル故ニ今其ノ裏面ノ意ヲ取リテ言ヲ返ヘシテ故聖人ノ仰セニハ源空ガアラン處ヘユカント思ハルベシトタシカニウケ給ハリシ上ハトノ給フナリ、ダトヒ地獄ナリトモ故聖人ノ渡ラセ給フ處ヘ參ルベシトオモフナリトハ既ニ元祖ト我身トハ信心一ナレバ

往生モ亦一ナリ故ニ故聖人ノ御化導ヲ承リシ上カラハダトヒ地獄ヘナリトモ共ニ參ルベシト思フナリトハ深ク師教ニ信順スル決心ヲ示シ給フ實ハ師教ハ本願ヲ傳ヘ釋迦ノ仰セヲ述ベ善導ノ御勸メヲノ給ヘバ元祖ノ仰セニ順フテ地獄ヘ墮ルコトアルベカラズ唯ダ師教ニ信順スルコトノ深キ決心ノ程ヲ示シタ者ナリ而シテ是ヲ上ニウケ返ヘセバ是非シラズ邪正モワカヌコノ身ニテ名利ニ人師ヲ好ムコトユヘ下中品ノ機ニテ地獄ヘ墮テチバナラヌ此身ナリトイヨ／＼機法ニ實ヲ顯シテ淺マ布キ凡夫ガ助カル道ハ彌陀ノ本願ヲ信ズルヨリ外ナシ苦樂昇沈ハ信心一ツト云フコトヲ顯シ師教ニ順フヨリ得分アルベカラズト示シ給フナリ。  
シカルニイマ聖人ノ御化導ニアツカリテ等

三明信順師教相<sup>三</sup> 初示受領本願依師教<sup>一</sup> 是ヲ二ツニ解スベシ初解文相  
二問答料簡 今ハ初メナリ此ノ處ハ上ノ文ト照映シテ解ス可シ吾等ハ善知識ニアヒ奉ラズバ地獄ニ墮ツベシ上ニ是非シラズ邪正モワカヌコノ身ニテ小慈小悲モナケレドモ名利ニ人師ヲユノムトアリ爾レバ觀經下中品ノ機ナリ即チ經文ニ



「或有衆生毀犯五戒八戒及具足戒如此愚人偷僧祇物盜現前僧物不淨說法無有懺愧以諸惡業而自莊嚴如此罪人以惡業故應墮惡道」トアリ下中品ノ機ナレバ善知識ニアヒ奉ラズバ地獄ニ墮ツベシ今モコノ度善知識ニアヒ奉ラズバ吾等凡夫ハ必ズ地獄ニオツベシトノ給フ、シカルニイマ聖人ノ御化導ニアヅカリテ彌陀ノ本願ヲ聞キテ、ト是レ此文ニ種深信ヲ述タモノナリ即チ彌陀ノ本願ヲ聞クトハ和語燈四<sup>三</sup>「次ニ深心ト云フハ佛ノ本願ヲ信ズル心ナリ我ハ惡業煩惱ノ身ナレドモ佛ノ願力ニテ必ズ往生スルナリト云道理ヲ聞テ深ク信シテ露塵計モ疑ハヌ心ナリ」トアリ爾レバ法ノ深信釋ハ攝ムレバ聞ノ一字ナリ由テ之ヲ承ケテ今聞ノ一字ニ約メテ彌陀ノ本願ヲ聞キテトノ給フ、攝取不捨ノコトハリナム子ニオサメトハ一河喻ノ文ニ汝一心正念直來我能護汝トアリ護ルトハ攝取不捨ヲ顯ス言ナリ愚禿鈔下<sup>三十一</sup>「護言顯阿彌陀佛果成之正意也亦形攝取不捨之願也則是現生護念也」トアリ、爾レバ法ノ深信モ本願、一河喻ノ文モ本願、兩方合スレバ法ノ深信ハ彌陀ノ本願ヲ聞テ攝取不捨ノコトハリヲ胸ニオサメテ

ト云ハチバナラヌ、時ニ法ノ深信釋ニ攝取不捨ト云フ言ノ來ルハ如何ト云フニ是ハ彼ノ阿彌陀佛ハ四十八願ヲ以テ衆生ヲ攝受シ給フトハ當分デハ衆生ヲ助ケテ極樂ヘ往生セシムルコトナリ爾レドモ乘彼願力定得往生ノ定ノ一字ヨリ攝受衆生ヲナガムレバ阿彌陀佛ハ四十八願ヲ以テ往生ヲ定メ給フト云フコト顯ハル而シテ是レチバ果ノ方ニ就ケバ攝取不捨ナリ其義ヲ顯シテ二河喻ノ文ヲ用井テ法ノ深信ヲ顯ストキ攝取不捨ヲ顯シ給フナリ、御文ハ皆コノ相ナリ一帖目<sup>通七ニ</sup>「タ、我身八十惡五逆五障三從ノアサマシキモノゾトオモヒテフカク阿彌陀如來ハタスケマシマス御スガタナリトコ、ロエマイラセテ<sup>乃</sup>至カタシケナクモ如來ハ八萬四千ノ光明ヲハナチテソノ身ヲ攝取シタマフナリ」二帖目<sup>通十五</sup>五帖目<sup>通十二</sup>之ニ同シ、ソコデ攝取不捨ノコトハリナム子ニオサメタ處ガ即チ往生一定ノ思ヒナリ由テ下ノ文ニモ一定ト期スルトノ給フテアリ、次ニ生死ノハナレガタキヲハナレ淨土ノムマレガタキヲ一定ト期スルコトワタクシノチカラニアラズ、トハ是ハ改邪鈔本<sup>二</sup>「往生淨土ノ正因ハ安心ヲモテ定得スベキヨシヲ釋成



セラル、條顯然ナリシカルニ吾大師聖人コノユヘテモテ他力ノ安心ヲサキトシ  
 マシマス<sup>乃</sup>至<sup>コ</sup>ノ一念ヲ他力ヨリ發得シタルノチハ生死ノ苦海ヲウシロニナシテ  
 涅槃ノ彼岸ニイタリヌル條勿論ナリ」トアリ此文ニ照セバ今ハ苦樂昇沈ハ唯ダ  
 信心一ツニアルコトヲ顯スナリ、扱生死ノハナレガタキチハナレルトハ我身ハ  
 罪惡生死ノ凡夫ニテ前世バカリニアラズ現在ガ罪惡生死ノ凡夫ナリ故ニ常沒常  
 流轉スルナリ今夫レヲ離レルコトユヘ生死ノハナレガタキチハナレト云フ、又  
 世戒行ノ三福ノ善アルモ煩惱多キ我身ナレバ其行ハ満足セズ即チ無有出離之緣  
 ナリソコデ淨土ノムマレガタキチ一定ト期スルコト私シノ力ニ非ズトノ給フ、  
 此ノ生死ノ離レガタキチハナレ淨土ノムマレガタキチ一定ト期スルノ文ハ改邪  
 鈔ニ照セバ生死ノ苦海ヲウシロニナシ涅槃ノ彼岸ニイタリヌル條勿論ナリノ文  
 ニ當ル、歸スル處苦樂昇沈ハ信心一ツガ正因タルコトヲ顯スナリ由テ殊更語ヲ  
 加ヘテ生死ノハナレガタキチハナレ淨土ノムマレガタキチ一定ト期スルコト、  
 ノ給フ是ガ即チ二種深信ノ乘彼願力定得往生ノ相ナリ、扱一定ノ言ハ和語燈一

三十七「只心ノ善惡ヲモ願ズ罪ノ輕重ヲモ辨ヘズ心ニ往生セント思テ口ニ南無阿彌  
 陀佛ト唱ヘバ聲ニ付テ決定往生ノ思ヲナスベシ其決定心ニ依テ即チ往生ノ業ハ  
 サダマルナリ」カク心得ツレバ易キナリ往生ハ不定ニ思ヘバ聽テ不定也一定ト  
 思ヘバ聽テ一定スルコトナリ」トアリ此ノ語ヲ用井給フナリ改悔文ニコノ趣ヲ  
 述ベテ往生一定御助治定トノ給フ、要スルニ此ノ一段ハ二種深信ノ御釋ノ意ヲ  
 取テ信心正因ノ義ヲ述ベ顯シ師教ヲ仰ギ給フ處ナリ、二問答料簡 問云信心爲  
 要ト上ニ票シナガラ今此處ニ二種深信ヲ出シ給フハ如何答云是ハ選擇集ノ蘊奧  
 ナ顯シ給フ處ナリ如何トナレバ選擇集三心章ニハ涅槃之城以信爲能入ト示シ  
 給フ之ヲ信卷六要四<sup>三十一</sup>涅槃眞因唯以信心トノ給フ而シテ涅槃之城以信爲能入  
 ト云フ御釋ノ源ハ善導大師ノ二種深信釋ナリ二種ノ深信ハ要スルニ乘彼願力定  
 得往生ノ言ニ歸スルナリ上述ノ如ク元祖ノ信心ヲ因トシ給フハ善導ノ二種深信  
 ニシテ吾祖ノ信心爲本ハ元祖ノ眞面目ヲ傳ヘ給フナリ故ニ高僧和讚ニモ「曠劫  
 多生ノアヒダニモ出離ノ強緣シラザリキ本師源空イマサズハコノタビムナシク



スギナマシ」又「諸佛方便トキイタリ源空ヒジリトシメシツ、無上ノ信心オシヘ  
テゾ涅槃ノカドヲバヒラキケル」トアルハ之ヲ顯シ給フナリ、今執持鈔ニ於テ  
信心爲本ト云フコトハ吾祖ガ元祖選擇集一部ノ奥義ヲ傳ヒ給ヘタル意ヲ顯ス爲  
ニ二種深信ヲ述テ信心肝要ノ義ヲ顯ス甚深ノ意味アル御釋ト窺フベシ。

タトヒ彌陀ノ佛智ニ歸シテ念佛スルガ地獄ノ業タルナイツハリテ往生淨土  
ノ業因ゾト聖人サツケタマフニスカサレマイラセテ等

二顯依師教墮惡趣不後悔 此ノ一段ハ吾祖日蓮上人ニ當リテ仰セラル日蓮  
ハ念佛無間禪天魔ト云フ今假リニ一步ヲ讓リテ念佛スルガ無間ノ業タル元祖  
聖人ニ詐ラレテ往生淨土ノ業因ト教ヒラレテ夫ガ爲ニ地獄へ墮ルトヒ後悔ノ念  
ヒアルベカラズトノ給フコレ深ク師教ニ信順シ給フ相ナリ法華問答上<sub>下</sub>「法華  
ノ文ヲモテ淨土ノ宗義ヲ校スルニ念佛ハコレ無間ノ業ナルベシトイフカクノ如  
キノ謗法邪見ノ惡義イカンカコレヲ會釋スベキヤ」同<sub>上</sub>「相傳ナクシテワヅカ  
ニ經文バカリヲ自見シテ諸經ノ明文ニクラクシテ漢家本朝ノ釋ヲ破シテアマサ

へ念佛無間ノ業トイフコノ義ヲ存センモノ出離ヲモトムルニハアラズシテ阿鼻  
ノ罪業ヲマ子カン歟」等ト述べ念佛無間ト云フコトハ廣ク一代ニ亘リテ文ニモ  
理ニモナシ反テカ、ル誹謗ノ罪人コソ無間ニ墮スベケレト示シテアリ由テ念佛  
無間ト云フコトハ彼ノ徒ノ誹リナルベシタトヒ夫レガ道理トシテ法然上人ニダ  
マサレテ念佛シテ地獄へ墮テタリトモ更ニ後悔セズトノ給フハ師教ヲ信順シ給  
フコトノ深キヲ示ス又決心ノ堅固ナルコトヲ顯シ給フナリ、次ノ文ニ、ソノユ  
ヘハ明師ニアヒタテマツラズシテヤミナマシカハ等<sub>ハ</sub> 三徵理成義 ソノユ  
ヘハ明師ニアヒタテマツラデヤミナマシカハ決定惡道ヘユクベカリツル身ナル  
ガユヘニトナリ、トハ吾等ハ小慈小悲モナケレドモ名利ニ人師ヲコノムナリ是  
非シラズ邪正モワカヌコノ身ナリトアレバ吾祖自ラ下中品ノ機ニ居シ給フサレ  
バ決定惡道ヘユクベキ身ナリ故ニ既ニ墮獄スベキ身ナレバ聖人ニスカサレテ地  
獄ニ墮ルトモウラミナシトノ給フナリ、次ニシカルニ善知識ニスカサレテマ  
ツリテ等トハヨシンバ惡道ニ墮テタリトモ吾一人趣クニアラズ故聖人ノ渡ラセ



給フ處ヘマイラントオモヒカタメタレバ敢テ辭セズト深ク師教ニ信順スルコト  
 ナ示シ給フ善惡ノ生處ハ吾トシテ計ラズ天堂モ地獄モ極樂モ師教マカセト云フ  
 御心ナリ、スカサレテトハ曾我物語ニ此ノ語アリダマサレテト云フ意ナリ、コ  
 レ自力ナステ、他力ニ歸スルスガタナリ、四結 是ハ師教ニ從ハテバ定散ノ自  
 心ニ迷テ念佛ヲ稱ヘナガラ念佛ノ奧義ヲ知ルコト能ハズ念佛ノ奧義ヲ知ル時ハ  
 自力ノ計ヒステ、我身ハ惡キ徒ラモノト知テ佛願ニ歸スルナリソコデ師教ニ信  
 順スル相ガ其マ、本願ヲ信ズル相ユヘ他力ニ歸スル相ナリト結ビ給フナリ是ガ  
 信心爲本ノ義ハ二種深信ニシテ元祖ノ眞面目ヲ傳ヘタ吾祖聖人ナルコトヲ顯シ  
 給フ一段ナリ上來第二章ヲ述ベ終ル。

又ノタマハク

第三章二 初標 是ハ高祖ノ御語ナルコトヲ票スルナリ扱今章ノ前二次デ來ル  
 所以ハ上章ニハ信心爲要ヲ示シテ二種信心ヲ述ベ我機ハ惡キモノナレドモ佛願  
 ナ信ズル計リデ往生スルヲウト顯セリ今章ニ來リテハ法ノ佛願ニ就テ示シテ我

機ノ善惡ニ關セズ我身ハ惡キ徒ラ者ト知テ本願ヲ信ズル計リデ願力ノ増上緣デ  
 往生スルト顯スナリ是ガ和語燈一七<sup>七</sup>ニ「サレバ善導ハ觀經ノ疏ノ一ノ卷ニ弘  
 願ヲ釋スルニ一切善惡ノ凡夫生ル、事ヲ得ル事ハ阿彌陀佛ノ大願業力ニ乘ジテ  
 増上緣トセズト云フ事ナシト云ヒ置キテ佛ノ密意弘深ニシテ教門サトリ難シニ  
 賢十聖モ測テ闕フ所ニアラズ况ヤ我レ信外ノ輕毛ナリ敢テ旨趣ヲ知ンヤトコソ  
 ハ釋シ給ヒタレバ善導ダニモ十信ダニモ至ラヌ身ニテ爭カ佛ノ御心ヲ知ルベキ  
 トコソハ仰セラレタレバマシテ我等ガサトリニテ佛ノ本願ヲ計リ知ル事努力思  
 ヒ寄ルマシキコトナリ只心ノ善惡ヲモ願ズ罪ノ輕重ヲモ辨ヘズ心ニ往生セント  
 思テ口ニ南無阿彌陀佛ト唱ヘバ聲ニ付テ決定往生ノ思ヒヲナスベシ其決定ニ依  
 テ即チ往生ノ業ハ定ルナリ<sup>乃</sup>至所詮ハ深信ト云ハ彼ノ佛ノ本願ハイカナル罪人ヲ  
 モ捨ズ只名號ヲ唱フルコト一聲マデニ決定シテ往生スト深ク憑テスコシノ疑ヒ  
 モナキヲ申也」トアルニ據リ給フナリ此ノ和語燈ノ釋ハ二種深信ヲ明ス一段ノ  
 文ナリ處デ此釋ニ弘願ヲ釋スル處ノ善導ノ一切善惡等ノ文ヲ引テ二種深信ノ義



ヲ示シテ只心ノ善悪ヲ願ズ罪ノ輕重ヲ辨ヘズ心ニ往生セント思テ口ニ南無阿彌陀佛ト唱ヘバ聲ニ付テ決定往生ノ思ヒヲナスベシ其決定ニ依テ往生ノ業ハ定ルトアリ是ハ二河喻ノ御釋ニ(六要四<sub>四</sub>引用)今信順二尊之意不願水火二河念念無遺乘<sub>レ</sub>彼願力之道トアル此ノ不願ノ言ト弘願釋ノ一切善惡凡夫得生者等ノ言トチ一ツニ合セテ只心ノ善悪ヲ願ズ罪ノ輕重ヲ辨ヘズト示シタモノナリ而シテ善導散善義ノ一心專念彌陀名號<sub>乃</sub>是名正定之業ノ文ハ稱フル念佛デ往生ヲ得ルト示セリ然ルニ散善義ノ法ノ深信釋ニハ乘彼願力定得往生ト信ズル一ツデ往生ト明シテアリ今兩方ヲ合シテ行ガ往生ノ因カ信ガ往生ノ因カヲ決擇シテ法ノ深信釋ノ決定ノ言ト定得往生ノ往生ノ言トヲ合セテ決定往生ノ思ヒトノ給ヒ往生ノ因ハ決定往生ノ信心ニ在ルコトヲ示シ給フ而シテ二河喻ノ文ニ依テ二種一具ノ義ヲ示シテ立義分ノ善惡ノ言ハ機ノ色デ夫レニ拘ラズ信ズル一ツデ往生スル二種一具ノ信心ヲ示シ給フナリ此ノ心ノ善惡ヲ願ズノ言ハ善惡ノ二字ハ立義分ノ文ニ據ル願ズノ語ハ二河喻ノ文ニ據ル此ノ二文ニ據リテ二種一具ノ義ヲ示

シ給フナリ尤モ二種深信ノ文ニ善惡ニ拘ラズ極樂往生ハ信心一ツト顯ス意アリ何トナレバ罪惡生死常沒常流轉トアレバ惡ガ妨ゲトナリテ生死ノ離レ難キ有様無有出離之緣トハタトヒ世戒行ノ三福ヲ勤メテモ煩惱惡業ガ障リトナルユヘ往生ノ因トハナラヌ此ノ如ク見ルトキハ善惡ハ機ノ色デ善モ往生ノ因トナラズ惡ハ亦妨ゲトナラズ爾バ善惡ハ悉ク心ニカケズ唯ダ本願ヲ信ズル計リテ往生スルト顯スガ二種深信ノ釋ナリ由テ和語燈ニハ一切善惡凡夫等ノ文ヲ二種深信ノ下ニ出シテ釋シ給フナリ、今章モ前章既ニ二種深信ヲ機ニ約シテ釋シ給フユヘ今ハ二種深信ヲ法ノ弘願ニモタセテ我機ノ善惡ニ拘ラズ己ヲ忘レテ本願ヲ信ズル一ツデ往生ヲウルガ本願ノ力ゾト立義分弘願釋ノ文ヲ引テ此一章ヲ顯シ給フ是レ和語燈ノ意ニ基クト知ルベシ。

光明寺ノ和尙(善導ノ御コト)ノ大無量壽經ノ第十八ノ念佛往生ノ願ヲ釋シタマフニ等

二出釋示三 初示光明寺和尙釋念佛往生願 光明寺和尙トハ漢語燈九<sub>十八</sub>新



修往生傳ヲ引テアリ其中ニ高宗皇帝善導ノ念佛ノ時口ヨリ光明ヲ出スヲ知リ又捨報ノ時精至此ノ如クナルヲ知テ寺額ヲ賜フテ光明ト云フトアリ爾バ善導ノ諡號ヲ以テ名クルナリ和尚トハ此處ニ親教ト翻ス或ハ和尚トハ和シテ尙ブト云フ意大衆ガ和合シテ尙ブユヘナリ、大無量壽經トハ觀小二經ニ對シテ大ノ字ヲ加フ、而シテ大無量壽經ト云フコトハ法照禪師ノ五會法事讚ニ出ルコトハ六要一丁八釋アリ今夫ヲ本トシテノ給フ、次ニ念佛往生ノ願トハ選擇集上上ニ「善導獨總云念佛往生願諸師別云十念往生願」者其意不周所以然者上捨一形下捨一念之故也善導總云念佛往生願者其意即周所以然者上取一形下取一念之故也」トアリ是ハ善導ノ御釋デハ第十八願ヲ釋シテ散善義右ニ上盡一形下至一日一時一念等トアリ、爾バ上盡一形モ下至一念モ念佛スレバ往生スト云フ本願ノ意ト顯スナリ、次ニ往生トハ漢語燈六左「言往生者捨此往彼蓮華化生艸庵瞑目之間便是蓮臺結跏趺之時從聖衆後一念之頃得生西方極樂世界故言往生也」トアリ是ハ往生要集指塵鈔一ニ此ノ處ニ法華ノ藥王品ヲ引テ釋シテアリ其

御文デハ即チ阿彌陀佛ノ國ニ往テ蓮華ニ化生ストアリ爾バ此土ヨリ極樂國土ニ往テ蓮華ヨリ生ズルヲ云フ故ニ念佛往生ノ願ト名ク是ト同シ文ハ六要七右「不空絹索神變眞言汝當生處是阿彌陀佛清淨報土蓮華化生」トアリ意ハ法華經ト同シコトナリ善導ニハ念佛往生ノ名目ハ無ケレドモ意ヲ取テ元祖ハノ給フナリ善惡凡夫得生者莫不皆乘阿彌陀佛大願業力爲増上縁トイヘリ

二學文コレヲ解スル一トス 初解文相 善惡凡夫トハ觀經九品ノ機ナリ上六品ハ善機下三品ハ惡機夫ヲ合シテ善惡ノ凡夫人ト云フ散善義四上上品上生ノ機ヲ釋シテ此即修學大乘上善凡夫人トアリ又同中中品下生ヲ釋シテ即是世善上福凡夫人トアリ又下品下生ヲ釋シテ即是具造五逆等重罪凡夫人トアリ 爾レバ九品ハ善惡ノ凡夫人トナル定散ノ機ハ皆善惡人ナリ總シテイヘバ善惡ノ凡夫人トイフベシ、莫不皆乘阿彌陀佛等トハ皆阿彌陀佛ノ大願業力ニ乘シテ夫ヲ増上縁トシテ淨土ニ往生スルトイフヲ顯スナリ乘トハ銘文末三ニ「乘我願力トイフハ乘ハノルベシトイフマダ智ナリ智ト云ハ願力ニノセタマフトシルナリ」トア



リ註解鈔二二「乘我願力云至心信樂トイヘルハ自力ノ信ニ非ス他力眞實ノ信心  
 事ヲ顯ス言也罪惡生死ノ凡夫一稱一念ニ報土往生ヲ遂クル事佛願ノ強緣ニ托ス  
 ルガ故也ト知ベシ」トアリ又六要二一四「乘ノ字ノ訓ニ「駕也勝也登也守也覆也」  
 トアリ駕トハ籠ヤ輿ニ乗ルコトデ信心ノ行者ハ彌陀ノ願力ニ乗托シテ本願ニマ  
 カセル相ナリ勝也トハ字書ニ勝ハ任トアリテ本願ニマカセルコトナリ登也トハ  
 願力ニス、ミ上ル相ナリ守トハ信心ノ行者ヲ願力ニノセ給ヘ守リテ生死ノ大海  
 ナ越エ渡シ給フヲ云フ覆トハ覆護即チ願力ニ攝取セラレテ生死ノ大海ヲ越エ渡  
 ルナリ初二訓ハ能乘ニ約シ後二訓ハ處乘ニ約ス皆信ニ付テ示シ給フナリ、二問  
 答料簡 問云第十八願ヲ釋スルニ禮讚ナリ觀念法門ナリ立義分ナリ皆稱我名號  
 ノ言アリ爾ニ今立義分序題門ノ御釋ニ莫不皆乘等ト云フテ稱我名號ノ言ナキハ  
 如何 答云是ハ歸三寶偈ニ彌陀本誓願極樂之要門ト云ヒ夫ヲ後ニ我依菩薩藏頓  
 教一乘海ト述テアリ要門ハ惡機ヲ攝スルト雖諸行往生ナレバ行ハオノレノ  
 因緣ニ從テ或ハ讀誦大乘アリ或ハ戒行ヲ修スルアリ爾ニ弘願ノ一法ハ機ハ五乘

ニ亘レドモ只念佛ノ一法ヲ信シ行ズル計リデ淨土ニ往生スルナリ夫ヲ受テ序題  
 門ニ至テ要門ハ定散二門弘願ハ一切善惡凡夫得生者莫不皆乘阿彌陀佛大願業力  
 爲増上緣ト如何ナル善惡ノ凡夫人モ只本願ニ乗ズル計リデ攝取シ給フト云フ誓  
 願一乘海ノ特色ヲ顯スナリ此ノ本願一乘ヲ顯スガ今ノ處詮ユヘ稱我名號ノ方ハ  
 述べ給ハザルナリ、問云此ノ文ハ何レヲ相承シ給フヤ 答云安樂集上三三他力  
 ナ顯ス一段ニ「大經云十方人天欲生我國者莫不皆以阿彌陀如來大願業力爲  
 増上緣也若不如是四十八願便是徒設語」後學者既有他力可乘不得自局已  
 分徒在火宅也」トアリ 其源ハ論註下三三他力ヲ明スニ二願ヲ以テ引證シテ次  
 三三三ニ「以斯而推他力爲増上緣」後之學者聞他力可乘當生信心勿自局分  
 也」トアリ今此等ノ文ヲ相承スルナリ處デ安樂集ハ論註ノ以斯等トアル以ノ字  
 ナ承ケテ莫不皆以阿彌陀如來大願業力爲増上緣ト云フ善導ハ之ヲ相承シテ  
 爾モ以ノ字ヲ乘ノ字ニ改メテ安樂集ノ既有他力可乘ト云フ乘ノ字ヲ取テ願力  
 他力ヲ顯シテ莫不皆乘阿彌陀佛等トノ給ヘタモノナリ、問云選擇集上本八丁ニ



順彼佛願故ヲ釋シテ「稱名念佛是彼佛本願行也故修之者乘彼佛願必得往生也」トアリテ往生ノ因ヲ行ニ約ス今信ニ約スルハ彼此相違ニ非ズヤ答云元祖ハ念佛爲本吾祖ハ信心爲本弘化ノ不同ヲ以テ知ルベシ、扱得生ノ文點ハ和語燈一七五ニハ「生ル、事ヲ得ル事ハ」トアリ口傳鈔上廿三凡夫ノ「ムマル、コトヲウルハ」トアリ又六要二四凡夫「生コトヲ得ルハ」トアリ何レニシテモ意味ハ同ジコト、知ルベシ

コノコ、ロハ善人ナレバトテチノレガナストコロノ善ヲモテコノ阿彌陀佛ノ報土ヘムマル、コトカナフベカラズトナリ等

二述義五 初述善惡凡夫、往生、意一 初正述 扱コノ下善モ彌陀ノ報土ニ生ルベカラズ惡業ヲ以テモ固ヨリ生ルベカラズ善惡ノ一ハ因トモナラズ扱ゲトモナラヌト云フニ就テ善惡二業ノ扱ヒハ如何ト云フニ是ハモト本願ヨリ起ル彌陀ノ本願ハ惡人正機ノ本願ニシテ萬善諸行ヲ選ビ捨テ、念佛一行ヲ以テ往生ノ因ト誓ヒ三信ヲ以テ淨土ノ正因トシ給フ善導ノ二種深信釋ハ此旨ナリ罪惡生死ノ凡

夫無有出離之緣ノ衆生ノ爲煩惱カ、ヘタ吾々善根功德モ少ナクテ淨土ヘ參ル因トハナラズ仕方ナキ者ヲ御助ケチ信ズル一ツデ淨土ニ往生スル旨ヲ明ス深信釋ナリ六要四四「衆名雜毒雜修之善亦名虛假諛偽之行不名眞實業也」此虛假雜毒之善欲生無量光明土此必不可也トアリ而シテ第十八願ノ三信ヲ信卷ニ涅槃眞因ト示シテ信心正因ノ義ヲ顯ス。然バ凡夫有漏ノ善ハ眞實報土ノ因トナラザルコトヲ示シテスベテ之ヲ化土卷ニ明ス而シテ六要四一「或云汝等衆生曠劫已來及今生身口意業於一切凡聖身上具造十惡五逆四重謗法闡提破戒破見等罪未能除盡然此等罪繫屬三界惡道云何一生修福念佛卽入彼無漏無生之國」永得證悟不退位也乃何況佛法不思議之力豈無種々益也トアリ惡業ノ扱ゲトナラヌヲ示スナリ 又嘆徳文ニハ「彼書所據義理甚深所謂決凡夫有漏之諸善不入願力成就之報土呈如來利他之眞心令生安養勝妙之樂邦」トアリコレ善惡二業ハ因トモナラズ扱ゲトモナラヌト云フ有様ナリ此ノ旨ヲ嘆異鈔ニ「彌陀ノ本願ニハ老少善惡ノヒトチエラバレズタ、信心ヲ要トストシルベシソノユヘ



ハ罪惡深重煩惱熾盛ノ衆生ヲタスケンガタメノ願ニテマシマスシカレバ本願ヲ信ゼンニハ他ノ善モ要ニアラズ念佛ニマサルベキ善ナキガユヘニ惡ヲモオソルベカラズ彌陀ノ本願ヲ妨ルホドノ惡ナキガユヘニ」トノ給フ口傳鈔上十一善惡二業ヲ述ル下ニ就テ見ル可シ之ヲ今文ニ善人ナレバトテオノレガナストコロノ善ヲモテカノ阿彌陀佛ノ報土ヘムマル、コトカナフベカラズ惡人又申スニオヨブ己ガ惡業ノナカラ三惡四趣ノ生ヲヒクヨリ豈報土ノ生因タラシヤ等トノ給フナリ四趣トハ三惡趣ト修羅道ヲ云フ、シカレバ善業モ要ニダ、ズ惡業モマダサマダゲトナラズ 二結示 是ハ嘆異鈔ノ善モ要ニアラズ等ノ句ヲ承ケテ上ノ善惡ノ二業因トナラザル義ヲ示シ給ヘタモノナリ。

善人ノ往生スルモ彌陀如來ノ別願超世ノ大慈大悲ニアラスハカナヒガタシ二述得生者意二 初明善人得生 是ガ得生ノ文ノ意ロナリ今ハ善人生ズルコトヲ得ルヲ明ス、彌陀如來ノ別願トハ往生要集下本二「四十八願中於念佛門別發一願云乃至十念若不生者不取正覺」トアリ選擇集本五十三「私云一切諸佛各

有總別二種之願 總者四弘誓願是也別者如釋迦五百大願藥師十二上願等是也今此四十八願者是彌陀別願也」ト又同九「故知四十八願之中既以念佛往生之願而爲本願中之王也」ト又和語燈ニ別願ノ名アリ 下ニ出ス然バ彌陀如來ノ別願トハ唯ダ別願トアリテモ別願中ノ別願ナリ、超世トハ阿彌陀偈經ニ「惟念法比丘乃從世饒王發願踰諸佛誓二十四章」トアリ大經ニハ我建超世願ト説ク和語燈一二「丁」ニ「彼佛モ我建超世願トナノリ給ヘリ三世ノ諸佛モ未ダ如是願ヲバ發シ給ハズ十方ノ薩埵モイマダ此等ノ願ハマシマサズ」同四六「右」ニ「カ、ル罪人共ヲヤス」ト助ケ救ハン料ニ發シ給ヘル本願ノ名號ヲ唱ヘナガラ塵計モ疑フ心ハアルマジキナリ十方衆生ノ言バノ中ニ有智無智有罪無罪善人惡人持戒破戒男子女人三寶滅盡後百歲迄ノ衆生皆コモルナリ」乃故ニ他力本願トモ云ヒ超世ノ悲願トモ云ナリ」トアリ唯信鈔文意廿ニ「法藏比丘超世無上ノナカヒチオコシテヒロメタマフナリ超世ハ餘ノ佛ノ御チカヒニスグレタマヘリトナリ」トアリ知ルベシ、大慈大悲トハ是ハ選擇集本廿八「然則彌陀如來法藏比丘之昔被催平



等慈悲普爲攝於一切不以造像起塔等諸行爲往生本願唯以稱名念佛一行爲其本願也」トアリ善惡人ノ爲ニ善惡ノ人ヲ併セテ救フ大慈大悲ノ本願ナリ故ニ善人ニ付テモ超世ノ大慈悲ニ非レバ叶ベガタキナリ、カナヒガタシトハ六要七五ニ「極樂無爲涅槃界隨緣雜善恐難生」トアリ恐難生トハ意口不生ヲ存スト六要ニ御釋アリ爾ハ報佛報土へ生ル、ニハ自力雜善ノ行デハ及ビガタシ唯信鈔文意九ニ「隨緣雜善恐難生トイフハ隨緣ハ衆生ノオノノ縁ニシタガヒテモロノ善ヲ修スルヲ極樂ニ廻向スルナリスナハナハ八萬四千ノ法門ナリコレハミナ自力ノ善根ナルユヘニ實報土ニムマレズトキラハル、ユヘニ恐難トイヘリ」等トアリ爾ハ善人モ亦叶ヒガタシト云フベシ、惡人ノ往生マタカケテモオモヒヨルベキ等 三「明惡人得生」惡人ノ往生マタカケテモオモヒヨルベキニアラザレドモ佛智ノ不思議ナル奇特ナアラハサンガタメナレバトハ六要七四ニ「若論衆生垢障實難忻趣正由託佛願以作強緣致使五乘齊入」トアリ實ニ煩惱垢障ノ多キ者ハ生ズベカラザレバ思ヒナカケテモヨルベキ報佛報土ニアラズ

ト云タモノナリ佛智ノ不思議トハ生ル可ラザル報土ニ生ズルハ是レ佛智ノ不思議ナリ安樂集上四「不思議智力者能以少作多以多作少以近爲遠以遠爲近以輕爲重以重爲輕有如是等智無量無邊不可思議」トアリ是ヲ下ノ釋ニ順スルニ以少爲多トハ臨終ノ十念ノ念佛デ八十億劫ノ罪ヲ滅スル義ニテ僅ナ十念々佛ノ少ヲ以テ多トスルナリ又十念ノ念佛デ直チニ八十億劫ノ罪ヲ滅スルハ是レ八十億劫ノ罪ノ多ヲ以テ少トスルナリ是ガ即チ名號不思議ナリ佛智不思議ナリ六要一右六丁ニ「圓融至德嘉號轉惡成德正智」トアリ名號即佛智ナルコト知ル可シ、奇特ナアラハサンガタメナレバトハ大經ニ奇特最勝トアリ是レ其ノ熟語ナリ 其義ヲ云ヘバ六要五右五丁ニ「禪宗智覺讚念佛行者云奇哉佛力難思古今未有」トアリ此下六要ニ具サニ文ヲ引テ釋ス今其意ヲ取リテ云ヘバ觀經下中品ノ如キハ風刀體ヲ解キ業鏡形ヲ照スノ時ニ當リテ善知識ニ遇ヒ劍林火車忽チ變シテ天華化佛ノ迎ヒト轉ズ是ガ奇特ノ義ナリ垢障多キ凡夫ガ轉シテ報佛報土ニ往生スルハ豈奇特ニ非ズヤ、五劫ガアヒタコレヲ思惟シ等トハ和語燈一右丁ニ



「彌陀如來ハ因位ノ時專ラ我カ名號ヲ念ゼン者ヲ迎ヘント誓ヒ給ヒテ兆載永劫ノ修行ヲ衆生ニ廻向シ給フ」同六<sub>右</sub>ニ「此修因感果ノ理リテ大慈大悲ノ御心中ニ思惟シテ年序ヲ空ニ積テ星霜五劫ニ及ベリ然テ善巧方便ヲメグラシテ思惟シ給ヘリ而モ我レ別願ヲ以テ淨土ニ居シテ薄地底下ノ衆生ヲ引導スベシ其ノ衆生ノ業力ニ依テ生ル、ト云ハ、カタカルベシ我レ須ク衆生ノ爲ニ永劫ノ修行ヲ送り僧祇ノ苦行ヲメグラシテ萬行萬善ノ果德圓滿シ自覺々他ノ覺行窮滿シテ其成就セン所ノ萬德無漏ノ一切功德ヲ以テ我が名號トシテ衆生ニ唱ヘシメン衆生若シ是ニ於テ信ヲ至シテ稱念セバ我が願ニコタエテ生ル、事ヲ得ベシ」同六<sub>左</sub>ニ「永劫ノ修行ハ是レ誰ガ爲メソ功ヲ未來ノ衆生ニ譲リ給フ超世ノ悲願ハ又ナシノ料ゾ志シ末法ノ我等ニ送り給フ」トアリ是等ノ義ヲ相承シテ惡人正機ノ本願ナレバ惡人ノ下ニ至リテ本願ノ正機ヲ示サセラレタモノナリ之ヲ嘆異鈔<sub>三十一</sub>ニ「聖人ノツチノオホセニハ彌陀ノ五劫思惟ノ願ヲヨク／＼案ズレバヒトヘニ親鸞一人ガタメナリケリ」トアリ口傳鈔上<sub>二十一</sub>ニ「五劫ノ思惟モ兆載ノ修行モタ

親鸞一人ガタメナリトオホセゴトアリキ」トアリ是ハ吾祖御一人ニ引受ケ給ヘテノ御語ナリ然バ餘人ノ爲ニハナラヌカト云フニ夫ハ案ズベキニ非ズ各々一人々々ニ其利益ヲ受クベシ何故ナレバ一人々々ノ爲ノ五劫永劫ノ願行ニシテ其願行チ一ツモ殘ス處ナク一人々々ニ受取ルナリ喩ヘバ天上ノ月光ハ一ナレドモ各自ニ皆受用スルガ如シ故ニ吾祖ハ御一人ニ引受ケテ親鸞一人ガ爲トノ給ヘタモノナリ、六趣四生ヨリホカハスミカモナク等トハ和語燈<sub>二</sub>ニ「其故ハ念々歩々ニ思ト思フ事ハ三塗八難ノ業チテモサメテモ案ジト案ズルコトハ六趣四生ノ纏ナリ」トアリ六要五<sub>左</sub>言斷<sub>乃</sub>至六趣四生因亡果滅トアリ六趣トハ地獄、餓鬼、畜生、修羅、人間、天上ナリ四生ハ論註下<sub>十一</sub>ニ「凡是雜生世界若胎若卵若濕若化眷屬若干苦樂萬品以雜業故」トアリ是デ四生ノ義可知、スミカモナシトハ和語燈<sub>二</sub>ニ「曠劫ヨリ以來三塗八難ヲ住家トシテ爛燃猛火ニ身ヲコガシテ出ル期ナカリケル也」トアリ嘆異鈔<sub>十一</sub>ニ「久遠劫ヨリイマ、デ流轉セル苦惱ノ舊里ハステガタイマダムマレザル安養ノ淨土ハコヒシカラズサフラ



フコト」トアリ然バ六趣四生ヨリホカハスミカモナシトノ給フ、ウカム期ナキ  
 カタメトハ和讃ニ「生死ノ苦海ホトリナシヒサシクシヅメルワレヲナバ」トア  
 リシヅメルニ對シテウカムト云フ式文ニ「弟子四禪線端適貫南浮人身之針曠海  
 浪上希遇西土佛教之查」トアリ查トハ韻會ニ水中ノ浮木トアリ往生要集中末<sub>註</sub>  
 「適得人身亦值佛教猶一眼龜值浮木孔」トアリ由テ下ノ文ニモ三塗八難ニユ  
 ソシヅムベケレトアル夫ニ對シテ證リノ岸ニ至ルコトヲウカムト云フタモノナ  
 リ、トリワキム子トオコサレタレバトテ十方衆生ノ中ヨリ惡人凡夫ニ對シテ殊  
 更起シ給フ本願ユヘトリワキト云フ、ム子トハ本トスル意ナリ御文二帖<sub>三</sub>ニ  
 「トリワキ神ヲアガメ子ドモ」トアリ又一帖<sub>七</sub>ニ「サテモ念佛法門ヲハナニトス  
 、メラレサフヲフヤラントリワケ信心トイフコトナム子トオシヘラレサフヲフ  
 ヨシ」トアリ是ニテ知ルベシ、惡業ニ卑下スベカラズトス、メタマフム子ナリ  
 トハ是ハ和語燈<sub>一六</sub>ニ「猶心ニ若シ貪欲瞋恚ノ煩惱ヲ具シ身ニ自ラ十惡破戒  
 等ノ罪業ヲモ犯ス事アラバ猥ニ自身ヲ怯弱シテ返テ本願ヲ疑惑シナマシ」等ト

アリ鎮勸用心ニ「根力頑莫生却慮佛攝下根誓既成行業之莫致狐疑經要十念  
 文是驗」トアリ然バ罪業ヲ卑下シテ本願ヲ疑フナヨト勸誠ノ意ヨリ今卑下スベ  
 カラズトス、メタマフム子ナリトノ給フ是レ即チ惡人正機ヲ顯シ機ノ深信ノ義  
 ナ示シ給フナリ

サレバチノレヲラスレテアフギテ佛智ニ歸スルマコトナクンバ等

三顯<sub>下</sub>承<sub>上</sub>ヲ舉<sub>テ</sub>領<sub>テ</sub>解<sub>テ</sub>惡業<sub>ハ</sub>唯爲<sub>ニ</sub>惡趣<sub>ノ</sub>因<sub>ニ</sub>サレバチノレトハ此ヲノレト云フ語  
 ナ覺師ノ聖教ニ用井給フコトハ大經序分ニ菩薩ノ慈悲ヲ述テ「於諸衆生視若自  
 己」トアリ安樂集上<sub>三</sub>ニ「既有他力可乘不得自局己分徒在火宅」トアリ是  
 等ハチノレノ語ノ出據ナリ又式文ニ「至心信樂忘己速歸無行不成之願海」トア  
 リ忘己トハ自力ノ計ヒテ止メルコトヲ云フ煩惱惡業ノ心配ヲ止メテ佛力ニ歸  
 スルコトナリ水火ノ二河ヲ顧ズトアル如シ是ガ己ヲ忘レル相ナリ、仰ギテトハ  
 仰グノ字ハ頭ヲ上ゲテ見ル意ニシテ即チ心ニ尊ムコトヲ云フ、佛智ニ歸スルコ  
 トナクンバ等トハ佛智ニ歸信スル言バナリ末燈鈔<sub>左</sub>ニ「自然トイフハモトヨ



リシカラシムトイフコトバナリ彌陀佛ノ御チカヒノモトヨリ行者ノハカラヒニ  
 アラズシテ南無阿彌陀佛トタノマセタマヘテムカヘントハカラハセタマヒタル  
 ニヨリテ行者ノヨカラントモアシカラントモオモハヌチ自然トハ申ソトキ、テ  
 サフラヘ」トアリ我が善シ惡シ心配スル計ヒノチキチ自然トハ申ゾト云フコ  
 トハ即チ己チ忘レテ彌陀タノム相ナリ未ダ計ヒノ有ルハ己ノアル相ナリ御文ニ  
 帖通初ニ照セバ「サテ彌陀如來ト申ハカ、ル我ラゴトキノアサマシキ女人ノタメ  
 ニチコシ給ヘル本願ナレバマコトニ佛智ノ不思議ト信ジテ我身ハワロキイタヅ  
 ラモノナリトオモヒツメテフカク如來ニ歸入スル心チモツベシ」トアリ是ガ己  
 チ忘レテ仰ギテ佛智ニ歸スル相ナリ即チ我身ハ惡キイタヅラモノナリトフカク  
 オモヒツメテトハ善シ惡シノ心配止メテ己チ忘レタ相ナリフカク如來ニ歸入ス  
 ルコ、ロチモツベシトハ深ク佛智ニ歸スルマコトノ信心ナリ、是レ今文ハ即チ  
 二種深信ノ意ナリ、スミヤカニトハ此ノ速ノ字ハ速得阿耨多羅三藐三菩提又ハ  
 速入寂靜無爲樂ト善キ所ニ使フテアリ今ハ惡キ所ニ使フテアル是ハ即得往生ノ

即ノ字ト今ノ速ノ字トノ區別ハ唯ダ早イト云フガ即ノ字ナリ其早キ中ニ障リナ  
 ク事ノ成就スルガ速ノ字ナリ善惡ハ相翻ノ者ユヘニ他力信心ハ地獄へ行ク障リ  
 ナリ煩惱惡業ハ極樂へ行ク障リナリ處ガ十惡五逆ノ罪チ造リ本願チモ信セズ念  
 佛チモ申サチバ障リチ離レテ地獄へ落チバナラヌ故ニ今速ノ字チ十惡五逆ノ罪  
 チ造リテ障リナク地獄へ落ル處ニ使フナリ、十惡五逆等トハ散善義等ニ「於一  
 切凡聖身上具造十惡五逆四重謗法闡提破戒破見等罪未能除盡」トアリ是ニ據  
 リ給フ十惡ハ殺生偷盜邪淫妄語綺語兩舌惡口貪瞋邪見等チ云フ四重ハ此十惡中  
 初ノ四ハ殊ニ罪重キユヘニ四重ト云フ、三塗八難トハ和語燈二左ニ「念々歩  
 々ニ思ト思フ事ハ三塗八難ノ業チテモサメテモ案ジト案ズル事ハ六趣四生ノ纏  
 ナリ」トアリ同六右ニ「如是シテ晝夜朝暮行住坐臥時トシテヤム事チ只放  
 ニ飽迄三塗八難ノ業チ重チ」等トアリ是等ノ文ニ據リ給フ六要五左ニ「獲得  
 金剛真心者橫超五趣八難道必獲現生十種益」トアリ此下六要ノ釋ニ五趣者道  
 如常言八難者律名句云一地獄二餓鬼三畜生四長壽天(無想天ノコトナリ)五北



州（北俱盧州）六佛前佛後七世智辨聰（是ハ支那ノ韓退之王陽修日本ノ林道春平田篤胤ノ如キヲ云フ）八諸根不具トアリ、三塗トハ八難ノ中ノ前ノ三ヲ云フ惡趣中ニテ總別ニ擧グルナリ、ヒカレテトハ是ハ牽引業デ馬ヤ牛ヲ口綱ヲ以テヒキ行ク如ク惡業ノ口綱ニ牽カレテ地獄ニ墮ルナリ、シヅムベケレトハ人間ノ果ヲ感ジテ居ル者ガ三塗等ノ惡趣ニ墮ルユヘシヅムト云フ、ナニノ要ニカタ、ントハ惡ガ極樂ヘ參ル正因トナラヌヲ云フ。

シカレバ善モ極樂ニムマル、タ子ニナラザレバ往生ノタメニハソノ要ナシ等

四結釋二 初述義 是ハ嘆異鈔ニ善モ欲シカラズ惡モ妨ゲトナラヌト云フ其意ノ如クデ上ノ文ノ意ヲ結ビ給フナリ此ノ善惡二業ノ事ハ覺師殊更思ヒテ留メ給フ其事ハ慕歸繪詞三<sub>五</sub>ニ「將又安心ヲトリ侍ルウヘニモナテ自他解了ノ程ヲ決センガタメニ延慶元年冬ノ比常陸國阿和田ノ唯圓房ト號セシ法侶上洛シケルトキ對面シテ日來不審ノ法文ニナイテ善惡二業ヲ決シ今度アマタノ問題ヲアゲテ

自他數遍ノ談ニチヨビケリカノ唯圓大德ハ鸞聖人ノ面授ナリ鴻才辯說ノ名譽アリシカハコレニ對シテモマス／＼當流ノ氣味ヲ添ケルトゾ」トアリ此文ニ依テ思ヘバ善惡二業ハ覺師ノ最モ心ヲ盡シ給フ一段ナリ、シカレバタ、機生得ノ善惡ナリトハ口傳鈔上<sub>右</sub>ニ「タトヒ讀誦大乘解第一義ノ善機タリトイフトモチノレガ生得ノ善バカリナモテソノ土ニ往生スルコトカナフベカラズマタ惡業ハモトヨリモロ／＼ノ佛法ニステラル、トコロナレバ惡機マタ惡ヲツノリトシテソノ土ヘノヅムベキニアラズシカレバ機ニムマレツキタル善惡ノフタツ報土往生ノ得トモナラズ失トモナラザル條勿論ナリ」トアリ是レ總シテ機ノ善惡ノ二ツハ自力ナレバ皆往生叶ハヌト示シ給フ義ナリ愚禿鈔下<sub>右</sub>丁ニ機ニ付テ一乘圓滿ノ機ト漸教廻心ノ機トヲ開キ此ノ二機ヨリ善機惡機ヲ開ク此ノ二機ニ一切ノ機ヲ攝メテ自力ヲ捨テ、他力ニ歸スルハ一乘圓滿ノ機ナリ自力ヲ捨ザルハ漸教廻心ノ機ナリ而シテ彌陀ノ報土ニ往生スルニハ此ノ生得ノ善惡ノ機デハ往生ハナラヌト顯シ給フナリ上ノ口傳鈔ノ次ノ文ニ「サレバコノ善惡ノ機ノウヘニタ



モツトコロノ彌陀ノ佛智ヲツノリトセンヨリホカハ凡夫イカデカ往生ノ得分アルベキヤ」トノ給ヘリ之ヲ以テ知ルベシ、コレニヨリテ善惡凡夫ノムマル、ハ大願業力ツト釋シタマフナリ、一學文結 上來ノ處明ハ善惡凡夫得生者莫不皆乘阿彌陀佛大願業力爲増上縁ノ文ヲ述ルニアリ今結釋ノ處ニ於テ其文ヲ略シテ示シテ善惡ノ凡夫ノ生ル、ハ全ク大願業力ツト釋シ給フナリ、願力ヲ業因トスルコトハ銘文本<sup>五</sup>「願力ニ歸命スレバ五道生死ヲトヅルユヘニ自然閉トイフナリ閉ハトツトイフ本願ノ業因ニヒカレテ自然ニ安樂ニムマル、ナリ」トアリ然バ吾々ハ第十八ノ大願業力ニ由テ往生ガ遂ゲラル、ナリ、ソコデ上ノ文ヨリ今ノ文ヲ照シテ見レバ上ニ己レヲ忘レテ佛智ニ歸スルコトヲ明シテアリ是レ莫不皆乘ノ乘ノ意ナリ乘トハ信ズルコトナレバナリソコデ二種深信發起スレバ佛ノ大願業力ヲ増上縁トシテ極樂ニ往生スト顯スナリ二種深信ニ大願業力ノ義ヲ合スルコトハ和語燈一七<sup>十</sup>已下ヲ見ルベシ 元祖相承ナリ之ヲ御文三帖<sup>十</sup>通ニ「ワレハアサマシキ惡業煩惱ノ身ナレドモカ、ルイタヅラモノヲ本トタスケタ

マヘル彌陀願力ノ強縁ナリト不可思議ニナモヒタテマツリテ」トノ給フ業因トハ増上縁ノ義ナリ六要二<sup>四</sup>左<sup>十</sup>ニ増上縁者是強縁也トアリ相承ノ嚴ナル處ナリ

増上縁トセザルハナシトイフハ彌陀ノ御チカヒノスグレタマヘルニマサレルモノナシトナリ

五釋「増上縁」 是ハ別シテ増上縁ト云フ義ヲ釋シ給フ増上縁トハ前ニ述ル如ク強縁ニシテ勝レタル縁ナリ、扱大願業力ヲ解スニ六要二<sup>四</sup>左<sup>十</sup>ニ大願業力ヲ大願大業大力ト分テ釋シテアリ就テ見ルベシ大願トハ彌陀如來ノ五劫思惟ノ超世無上ノ殊勝ノ願ナリ大業トハ兆載永劫六度萬行ナリ大力トハ果位ノ神力光明攝取衆生ヲ云フトアリ、又一義デハ本願ヲ大願業力ト云タモノニテ銘文末<sup>三</sup>「願力ニノセテ安養淨刹ニムマレシムルナリ又大願業力攝取シテ往生ヲエシムトイヘルコ、ロナリ」トアリ又同<sup>三</sup>ニ「増上縁ハスグレタル強縁ナリトナリ」トアリ此ノ文ヨリ照セバ大願業力併シ乍ラ増上縁ニシテ本願即増上縁ナリ惡逆ノ凡夫ヲモ漏サズ救ヒ給フ大慈大悲ハ彌陀ノ本願ニ限ルガ故ニ其本願ヲ大願業力ト



シテ夫ヲ業因トシテ往生スルナリ其意ヲ今ノ文ニ増上縁トセザルハナシトイフハ等ト示シ給フナリ上來第三章ヲ辯シ終ル。

一又ノタマハク

四第四章二 初票宗祖口訣 扱今章ノ前章ニ次デ起ル由來ヲ述レバ先ツ第一章ニ於テハ斯ノ書ハ平生業成ヲ旨トシテ明スユヘニ十八十九對辯シテ平生業成ノ義ヲ顯シ第十八ノ願意ヲ述ルニ眞實信心ノ行者ハ攝取不捨ノユヘニ正定聚ニ住ストアリ此ノ眞實信心トハ即チ禮讚ノ深信釋ナリ、第二章ニ至テハ前第一章ノ眞實信心ノ相ヲ詳カニシテ信心爲本ノ義ヲ示シ他力廻向ノ信心ノ義ヲ顯ス而シテ是レガ即チ吾祖ガ元祖ヨリ相承シ給フ義ナルコトヲ示シテ攝取不捨ノコトハリナムチニオサメ生死ノハナレガタキナハナレ淨土ノムマレガタキナ一定ト期スルコトサラニワタクシノチカラニアラズトノ給フ、第三章ニ至テハ前第二章ノ約機ノ二種深信ヲ法ノ本願ニ持タセ吾等ガ極樂ヘ生ル、ハ我機ノ善惡二業ニ由ラズ唯ダ大願業力ニ乗ジテ往生スル義ヲ示シ二種深信ノ領解ヲ述テサレバ

チノレチワスレテアフギテ佛智ニ歸スルマコトナクンバ等トノ給フ是レ第二第三ノ二章ハ眞實信心ノ相ヲ詳ニ示シ給ヘタモノナリ、扱第四章ハ第一章ニ攝取不捨ノユヘニ正定聚ニ住ストアリ其攝取不捨ノ理リハ即チ光明名號ノ義トナル由テ光明名號因縁ノ義ヲ顯シテ他力信心平生業成ノ義ヲ示シ給フナリ由テ今章ノ始メニモ彌陀如來四十八願ノ中ニ第十二ノ願ハ我ヒカリキハナカラントチカヒタマヘリ等ト遍照ノ光明ノ義ヲ述ズト直チニ攝取ノ光明ノ義ヲ示シ給ヘタハ上ノ文ニ照應スト云フベシ、加之ナラズ光明名號因縁ノ義ハ他流ノ光明名號因縁ノ處談ハ能稱正因ニ在ルコトヲ簡ビテ唯信正因ノ義ヲ顯シ平生業成ノ理リヲ示シ給フナリ此意ヲ以テ覺師ノ聖教ヲ伺ハザレバ其素意ヲ得ルコト能ハズ  
光明名號ノ因縁トイフコトアリ彌陀如來四十八願ノ中ニ第十二ノ願ハ我ヒカリキハナカラントチカヒタマヘリコレスナハチ念佛ノ衆生ヲ攝取ノタメナリ

二釋三 初示光號因縁四 初示光明縁二 初票 光明名號ノ因縁ト云フコト



ハ善導ノ禮讚ノ言ナリ六要二八三ニ引用シ給フ「若以願行來收非無因緣然彌陀世尊本發深重誓願以光明名號攝化十方但使信心求念」トアリ此處ニ因緣ト云ヒ光明名號トアレドモ直ニ光明名號因緣ト云フ義ニハアラズ因緣ハワケイワレト云フ程ノコトナリ爾レドモ名目ハ有ル正ク光號ノ因緣ノ義ヲノ給ヘタハ元祖ノ功ナリ和語燈一左四トニ「然バ光明ノ緣ト名號ノ因ト和合セバ攝取不捨ノ益ヲ蒙ラン事疑フベカラズ」トアリ之ヲ吾祖六要二右九ニ相承シテ兩重ノ因緣ヲ明シテ光明名號攝化十方但使信心求念ノ文ヲ引テアリ今之ヲ相承シテ光明名號ノ因緣ト云フコトアリトノ給フ、時ニ彼ノ鎮西ノ宗ニ順スルトキハ稱フル念佛ガ名號ノ因ニシテ能稱正因ヲ募ル即チ光明ノ御育テニ由リ衆生能稱ノ念佛ノ力ヲ籍リテ極樂ニ往生スルト云フガ彼ノ處立ナリ今夫ニ當リテ今宗デハ光明名號ノ因緣ト云フハ獲信ノ因緣ニシテ所行所信ノ名號ニ付テ光號ノ一ツガ因緣トナリテ信心ヲ生ズルナリコレ今家不共ノ義ナリ光號ノ因緣モ信心ヲ名號ニ攝メテ本願名號正定業デ光明ノ緣ニヨリテ極樂淨土ノ眞身ヲ證スルコトヲ談ズル因

緣ノ義モアリ是本章ノ初メノ間ノ所明ナリ其所ニ至リテ明ムベシ。

彌陀如來四十八ノ中第十二ノ願ハ

三釋二 初示光明緣三 初稟

我ヒカリキハナカラントチカヒタマヘリ二約願示攝取是ハ願文マ、チトレバ即願文ニハ光明無限量ノ義ヲ誓テアレバ即遍照ノ光明ナリ爾レドモ攝取ノ光明ノ義アレバ其光明ハ攝化利生ノ歸在スル第一義ナリソコデ觀經ノ念佛衆生攝取不捨ノ文ニ合シテ念佛衆生攝取ノ爲メナリトノタマフコトキハ十二ノ願ノ光明ハ第十八願ノ若不生者ノ誓意チアラハスナリコノ義ハ善導和尙ノ散善義ニ十八十二合說シテ若不生者ノ誓意ノ中ヘ十二ノ光益ヲ打込デ我能護汝トノ給フ即チ散善義註トニ「汝一心正念直來我能護汝」トアリ又往生禮讚ニハ「唯觀念佛衆生攝取不捨故名阿彌陀」トアリ御文ニ此ノ旨ヲ示シテ二帖通ニ「阿彌陀佛トイフ四字ハイカナルコ、ロゾトイヘバイマノゴトクニ彌陀チ一心ニタノミマイラセテウタガヒノコ、ロノナキ衆生チバカナラズ彌陀ノ御身ヨリ光明チハナチ



テテラシマシ／＼テソノヒカリノウチニオサメオキタマヒテサテ一期ノイノチ  
ツキヌレバカノ極樂淨土ヘオクリタマヘルコ、ロスナハチ阿彌陀佛トハマフシ  
タテマツルナリ」トアリ知ルベシ然ハ十二ノ願ノ攝化ノ重キ意ニ據レハ念佛衆  
生攝取不捨ガ所詮トナル是レ即チ第十二ノ願ヲ第十八願ニ疊ミ込テ窺フ義ナリ  
由テ今觀經ノ文ヲ以テ第十二ノ願ヲ窺フテ此ノ如ク願ノ奥旨ヲ顯シ給フ、時ニ  
覺師此ノ如ク釋シ給フハ其據リ所ハ如何ト云フニ是ハモト大經ニ本ヅク即チ大  
經上卷ニハ八十二合併シテ初ニ光德ヲバ十二ノ光明ヲ以テ讚嘆シ「遇斯光者  
三垢消滅身心柔軟歡喜踊躍善心生焉」ト説テアリ三垢消滅ハ破闇ノ益ナリ歡喜踊  
躍ハ滿願ノ德ナリ御文三帖通六ニ「信心歡喜トイフハ信心定リヌレバ淨土ノ往生  
ハウタガヒナクオモフテヨロコブコ、ロナリ」トアリ豈滿願ノ利益ニアラズヤ  
踊躍ノ相ハ御文一帖通初ニ「正雜ノ分別チキ、ワケ一向一心ニナリテ信心決定ノ  
ウヘニ佛恩報盡ノタメニ念佛マウスコ、ロハオホキニ格別ナリカルガユヘニ身  
ノチキドコロモナクオドリアガルホドニオモフアヒダヨロコビハ身ニモウレシ

サガアマリヌルトイヘルロ、ロナリ」トアリ然バ十二ノ願ニ歡喜踊躍ノ言ノ存  
スルモノハ二十八合説ノ義ナリ是ニ由テ釋迦牟尼如來ハ觀經ニ於テ諸行念佛  
ノ廢立ヲ示スニ第十八願ヲ大體トシテ十二ノ願ノ光益ヲ顯シテ「光明遍照十方  
世界念佛衆生攝取不捨」ト説キ給フ吾祖之ヲ願成就ノ經意ニ示シテ六要三十八ニ  
「何況十方群生海歸命斯行信者攝取不捨故名阿彌陀佛是日他力是以龍樹大士  
曰即時入必定曇鸞大師云入正定之聚」トノ給フ之ヲ覺師ハ願々鈔ニ「オホヨ  
ソコノ第十二第十三ノ願成就セズバタトヒ念佛往生ノ本願成就シテ生因タルベ  
シトイフトモ念佛衆生ノ往生ノ、ゾミ達シガタシソノユエハ光明無量ノ願ニコ  
タヘテ信心歡喜一念ノ機ヲ攝益シタマフ等」トコノ義ヲ傳ヘ給フ信心歡喜一念  
ノ機トハ願成就ノ經文ナリ聞其名號信心歡喜ト名號ノ由レテ聞テ信ズル衆生ハ  
念佛衆生ナリ攝取シ給フハ至心廻向ナリ至心廻向トハ攝取ノ光明ヲ以テ衆生ニ  
施與シ給フコトナリ又御文ニ此旨ヲ相承シテ「カ、ル機マデモタスケダマヘル  
ホトケハ阿彌陀如來バカリナリトシリテナニノヤウモナクヒトスデニ阿彌陀ホ



トケノ御袖ニヒシトリスガリマヒラスルオモヒナシテ後生ヲダスゲタマヘト  
タノミマウセバコノ阿彌陀如來ハフカクヨロコビマシクテソノ御身ヨリ八萬  
四千ノオホキナル光明ヲハナケテソノ光明ノナカニソノ人ヲオサマイレテチキ  
タマフベシト五帖通十二ニ示シテアリ同一帖通七同之、コレ光明攝取ハ第十八願  
ノ利益トシテ顯シ給フ御文ナリ而シテ今ハソノ攝取ノ根源ハ十二ノ願ニシテ十  
二ノ願ノ攝化利生ノ満足ハ攝取不捨ニアル故今ハ但シ第十二ノ願ヲ念佛衆生  
攝取ノタメナリトノタマフ甚深ノ御釋ナリ。

カノ願ステニ成就シテアマチク無碍ノヒカリヲモテ十方微塵世界ヲテラシ  
タマヒテ等

二約成就示遍照 此文ハ十二ノ願ニ付テ遍照ノ光明ヲ示ス是レ願文ノ當意ナ  
リ和語燈一右丁ニ「此故ニ彌陀善逝平等ノ慈悲ニ催サレテ十方世界ニアマチク  
光明ヲ照シテ一切衆生ニ悉ク縁ヲ結バシメンガ爲ニ光明無量ノ願ヲダテ給ヘリ  
第十二ノ願之ナリ」トアリコレ遍照ノ光明ナリ又同一右丁ニ至テ「總シテハ光

明無量ノ願ハ横ハ一切衆生ヲ廣ク攝取センガ爲ナリトアリコレ攝取ノ光明ナ  
リ之ヲ覺師相承シテ上ニハ願文ニ約シテ攝取ノ光明ノ義ヲ示シ今ハ成就ニ付テ  
遍照ノ光明ヲアラハシ給フナリ爾レバ今ノ御釋ハ和語燈ヲ相承シテ遍照ノ光明  
ノ義ヲ述ベ給フ而シテ覺師猶一步進シテ淨土論ノ盡十方無碍光如來ノ論文ニ合  
シテ示シ給フ口傳鈔上下七ニ遍照光ノ相ヲ述ブルニ「十方世界ヲ照耀スル無碍光  
遍照ノ明朗ナルニテラサレテ」トアリ、扱遍照ノ光明ト攝取ノ光明トナ明ニ示  
シ給フタハ願々鈔ナリリ即左三丁ニ「ソノユヘハ光明無量ノ願ニコタヘテ信心歡喜  
一念ノ機ヲ攝益シタマフソノ機ハマタ遍照ノ光明ニハグ、マレテ信心歡喜スレ  
バ」トアリ光明無量ノ願ニコタヘテ信心歡喜一念ノ機ヲ攝取シ給フハ攝取光ナ  
リ其機ハ又遍照ノ光明ニハグ、マレテ信心歡喜スルトハ遍照光ナリ是ガ覺師ハ  
淨土論ノ破闇滿願ノ無碍光ノ徳益ヲ觀經ノ光明遍照ノ文ニ合シテ見給フユヘニ  
光明遍照十方世界ハ破闇ノ徳次ノ念佛衆生攝取不捨ハ滿願ノ徳トナル由テ光明  
遍照ノ文ヲ破滿ノ二徳ト分ケタハ覺師ノ功ナリ之ヲ蓮師ニ來レバ五帖通十二ニ「カ



、ル機マデモダスケタマヘルホトケハ阿彌陀如來バカリナリトシリテ<sup>乃</sup>至<sup>至</sup>コノ阿彌陀如來ハ深く喜ビマシ<sup>レ</sup>テソノ御身ヨリ八萬四千ノオホキナル光明ヲハナテテソノヒカリノナカニソノ人ヲ、サメ入レテオキタマフベシ<sup>ト</sup>ハ執持鈔ノ次第ニ順シテ初ニ攝取ノ光明ヲ示ス次ニ「アラ殊勝ノ超世ノ本願ヤアラアリガタノ彌陀如來ノ光明ヤコノ光明ノ縁ニアヒタテマツラスハ<sup>乃</sup>至<sup>至</sup>コノ光明ノ縁ニモヨホサレテ宿善ノ機アリテ他力信心トイフコトヲバイマスデニエタリ<sup>ト</sup>アリ是ガ遍照ノ光明ノ相ナリコレ全ク執持鈔ノ次第ニ順ズルナリ、扱文相ヲ解セバカノ願スデニ成就シテ無碍ノヒカリヲモテアマチクトハアマチクハ觀經無碍光ハ淨土論兩方合シテ顯ス之ヲ十二ノ願成就ノ文ニ配當スレバ「遇斯光者三垢消滅身意柔軟歡喜踊躍善心生焉」ノ一段ナリ攝取ノ光明ハ歡喜踊躍ニ當ルコレ滿願ナレバナリ三垢消滅ハ遍照光ニ當ル爾バ觀經ノ文ト淨土論ノ文トニ合シテ十二ノ願成就ノ經文ノ意ヲ顯シ給フコトハ實ニ巧妙ノ御釋ト云フベシ、十方微塵世界ヲテヲシタマヒテトハ是ハ和讃ニ十方微塵世界トアルニ據リ給フ微塵ト云

フコトハ和讃ニ「本願毀滅ノトモガラハ生盲闡提トナヅケタリ大地微塵劫ヲヘテナガク三塗ニシヅムナリ<sup>ト</sup>アル微塵ノ御左訓ニ羊毛塵兔毛塵等ノ義ヲ述テアリ衆生ノ煩惱惡業ヲ長時ニ照シマシマス<sup>ト</sup>ハ十二願成就ノ文ニハ此言ナシ三垢消滅トアリ或ヒハ三途勤苦之處トアリ可知、サテ此熟語ハ和燈四<sup>ハ</sup>煩惱惡業ヲ斷シ盡シテアリ次下只佛ノ御語バ信ゼテ終ナケレバ佛ノ御力ニテ往生スルナリ先ノ喩ノ如ク船ニ乗タレバ目盲タル物モ目アキタル物モ共ニ行ガゴトシ<sup>乃</sup>至<sup>至</sup>念佛スル物ヲバ彌陀光明ヲ放テ常ニ照護シテ捨給子バ惡縁ニ遇ズシテ必ズ臨終ニ正念ヲ得テ往生スルナリ之攝取光明ニ約ス唯信文意<sup>ト</sup>九<sup>ト</sup>コノ如來ハスナハチ誓願ノ業因ニムクヒタマヒテ報身如來トマフス、ナハチ阿彌陀如來トマウス<sup>乃</sup>至<sup>至</sup>無明ノ闇ヲハラヒ惡業ニサヘラレズコノユヘニ無碍光トマフスナリ無碍ハ有情惡業煩惱ニサヘラレズトナリトアリ爾レバ其源トハ淨土論註ニ近クバ六要四<sup>ト</sup>七<sup>ト</sup>如彼如來光明智相ト者佛光明ハ智慧相也此光明照十方世界無有障碍能除十方衆生無明黑闇トアリ或ハ能被一切無明トアリコノ下タ六要一切無明ノ言ヲ釋シ



テ一切ノ言中應攝惑障業障報障諸不善トアリコレヲ斷破スルハ無碍光ノハダラ  
 キナリ是ニテ煩惱惡業ノ語ノ發處ヲ可知尤モ煩惱惡業ハ深信釋デ云ヘバ禮讚テ  
 云ヘバ煩惱トアリ散善義デ論ズル時ハ惡業ト云ベシ罪惡生死トアルヲ以テナリ  
 觀經デ云ヘバ下三品ハ惡業ナリ又以煩惱賊之所害者說ナリコレヲ煩惱惡業ト云  
 ベシ今執持鈔ノ釋ニ遍照ノ光明ニ付テ衆生ノ煩惱惡業ヲ長時ニテラシ在トノ給  
 フ誠ニ相承ノ嚴ナル處也又口傳鈔上<sup>七</sup>ニハ十方世界ヲ照耀スル無碍光遍照ノ明  
 朗ナルニテラサレテ等トアリ執持鈔ト照シテ見ルベシサテ六要四<sup>七</sup>ニ上ニ引テ  
 如示如彼如來光明智相者佛光明是智慧相也此光明照十方世界無有障碍能除十方  
 衆生無明闇トアリ無明破闇ノ義知ルベシ時ニコノ文ノ下ニ光明滿願ノ文ハ無  
 ケレドモ次名號ノ下ニ滿願ノ益ヲ述テアリ即チ「彼無碍光如來名號能破<sup>二</sup>衆生一  
 切無明能滿<sup>三</sup>衆生一切志願<sup>四</sup>」トアリ吾祖ハ名號ノ破滿ノ德ガ即チ亦光明ニ在リト  
 見給ヘテ和讚ニ「無碍光如來ノ名號トカノ光明智相トハ無明長夜ノ闇ヲ破シ衆  
 生ノ志願ヲミテタマフ」トノ給フソコデ光明ノ破滿ノ德ハ觀經ノ文ニ付バ光明

遍照十方世界ハ破闇ノ德ナリ念佛衆生攝取不捨ハ滿願ノ德ナリ上ハ遍照ノ光明  
 下ハ攝取ノ光明トシ給フ是ガ覺師ノ御卓見ナリ、時ニ破闇ノ義ハ聞ヘタレドモ  
 滿願ノ歡喜踊躍善心生焉ハ如何ナルコトナリヤト云フニ論註下<sup>二</sup>ニハ「能ク衆  
 生一切ノ志願ヲ滿ルトアリ十住毘婆娑論一<sup>四</sup>ニハ滿所願故名爲喜心<sup>三</sup>」ト云ヘリ  
 今彌陀ヲタノム一念ニ往生一定御助治定ノ念ヒニナサシメ給フ是ガ攝取ノ德ナ  
 リ豈滿願ノ義アラザランヤ末燈鈔<sup>九</sup>ニ云ク「往生ノ心ニウダガヒナクナリ候  
 ハ攝取セラレマイラセタルユヘトミエテ候トアリ御文三帖<sup>二</sup>五帖<sup>十</sup>ニテ見テ知  
 ルベシ、問云光明名號因緣ト云フコトヲ說キ初メタルハ誰ナリヤ答云和語燈<sup>一</sup>  
<sup>左</sup>丁ニ「然バ光明ノ緣ト名號ノ因ト和合セバ攝取不捨ノ益ヲ蒙ラン事疑フベカ  
 ラズ此故ニ往生禮讚ノ序ニ云<sup>三</sup>諸佛ノ所證<sup>ハ</sup>平等<sup>ナレバ</sup>若以願行<sup>ニ</sup>來<sup>シ</sup>收<sup>ム</sup>非無<sup>ニ</sup>因緣<sup>ニ</sup>然<sup>ラ</sup>  
 彌陀世尊本發<sup>シ</sup>深重<sup>ノ</sup>誓願<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>光明名號<sup>ヲ</sup>攝化<sup>シ</sup>十方<sup>ヲ</sup>ト云ヘリ」トアリ然バ其義旨  
 ハ善導ニ在レドモ正ク光號因緣ノ義ヲ唱ヒ初メタハ元祖ナリ然ドモ他流ニハ光  
 號因緣ノ深意ヲ辨ヘザルユヘ吾祖是ガ爲ニ行卷ニ於テ兩重ノ因緣ヲ示シテ顯シ



給フ而シテ其相傳ノ義ヲ詳ニシテ元祖ノ本意ヲ得ル吾祖ナリト云フコトヲ顯ス  
 爲ニ此ノ執持鈔ニ於テ光號因緣章ヲ設ケ給フト知ルベシ、問云觀經ノ光明遍照  
 ノ文ニ付テ長讀短讀ノ二義アリ其相如何 答云和語燈四左三丁ニ「又觀無量壽經  
 ニ云ク一ノ光明遍照十方世界念佛衆生攝取レ不捨ハ已上是レハ彌陀ノ光明  
 只念佛ノ衆生ヲ照シテ餘ノ一切ノ行者ヲバテラサズト云ナリ但シ餘ノ行ヲシテ  
 モ極樂ヲ願ハ、佛ノ光リ照シテ攝取シ給フベシ何ゾ只念佛ノ者バカリチエラン  
 デ照シ給フヤトナラバ善導和尚釋シテノ給ハク彌陀、身色如金山相好、光明照  
 十方唯有念佛蒙光攝當知本願最爲強已上（禮讚七十一）念佛ハ是彌陀ノ本願ノ行  
 ナルガ故ニ成佛ノ光明返ツテ本地ノ誓願ヲ照シ給フナリ餘行ハ是本願ニアラザ  
 ルガ故ニ彌陀ノ光明キラヒテ照シ給ハザルナリ」トアリ御文二帖十二ニ「コノ阿  
 彌陀如來ハフカクヨロコビマシ、テ八萬四千ノオホキナル光明ヲハナナテ其  
 ヒカリノナカニ其ヒトヲオサメイレテチキタマフベシ」トアルハ此意ナリ此ノ  
 時ハ十六字トモニ唯ダ攝取ノ光明トナル和讃ニ「十方微塵世界ノ念佛ノ衆生ヲ

ミソナハシ攝取シテステザレバ阿彌陀トナツケタテマツル」トアル意是ナリ是  
 ガ長讀ナリ、又此ノ光明遍照ノ文ヲ八字ツ、ニ分ケテ光明遍照十方世界ヲ照シ  
 念佛ノ衆生ヲ攝取シテ捨テザレバト讀ム時ハ前ハ遍照ノ光明後句ハ攝取ノ光明  
 トナル是ガ短讀ナリ、時ニ遍照ノ光明ノ德益如何ト云フニ和語燈一右四丁ニ「無  
 緣ノ衆生ハ利益ヲ蒙ル事アタハズ此故ニ彌陀善逝乃至一切衆生ニ悉ク緣ヲ結バシ  
 メンガ爲ニ光明無量ノ願ヲタテ給ヘリ」トアリ是ハ結緣ノ分ニテ遍照ノ光德ナ  
 リ今廣ク論ズレバ遍照ノ光德ニ四アリ一ニ結緣ノ義、是ハ今ノ和語燈ノ如シ宿  
 善ノ無キ者ニ善根ヲ起サセテ宿善ヲナサシムル益ナリ、第二ニハ宿善成熟ノ義  
 是ハ宿善アル者ヲ漸々ニ光明ヲ以テ照シテ宿善開發スルヤウニ宿善ヲ增長セシ  
 ムルノ益ナリ第三ニ無明斷破ノ義、是ハ口傳鈔上右六丁 已下光明名號因緣章ニ示  
 シ給ヘシ如ク「イフコ、ロハ十方世界ヲ照耀スル無碍光遍照ノ明朗ナルニテラ  
 サレテ無明沈没ノ煩惑漸々ニトラゲテ涅槃ノ眞因タル信心ノ根芽ワヅカニキサ  
 ストキ報土得生ノ定聚ノクラ井ニ住ス」等トアリ此ノ文ハ餘程心ヲ留メテ窺ハ



子バナラヌ如何トナレバ此處ニイフコ、ロハトアリ此語ヲ置キ給フ所以ハ是ハ  
 前ノ方ニ光明ノ縁ニアフユヘナリモシ光明ノ縁モヨホサスハ報土往生ノ眞因タル名  
 號ノ、因ヲウベカラズトアリ是ハ光明名號ノ因縁ヲ擧タルナリ處デ彼鎮西ニ於テ  
 ハ稱フル念佛が往生ノ因トナルト立ツ吾祖其レニ對シテ所信ノ方ニ於テ光明ノ  
 縁ニ由テ名號が因トナルト云フコトヲ立テ給フ其故ハ光明ノ縁ニ由テ無明ノ煩  
 惱ヲ斷ジテ他力信心ヲ得テ正定聚ニ住ス是ガ名號ヲ得タル相ナリ名號が因トナ  
 ル相ナリ信心ヲ得テ正定聚ニ住スルガ名號ノ因ヲ得タル相ト云フコトハ御文二  
 帖通十五ニ「南無トイフ二字ハスナハテ極樂へ往生セント子ガヒテ彌陀ヲフカク  
 タノミ奉ルコ、ロナリサテ阿彌陀佛トイフハカクノゴトクダノミ奉ル衆生ヲア  
 ハレミマシ〜テ無始曠劫ヨリコノカタノオソロシキツミトガノ身ナレドモ彌  
 陀如來ノ光明ノ縁ニアフニヨリテト〜ク無明業障ノフカキツミトガタマ  
 ナニ消滅スルニヨリテスデニ正定聚ノカズニ住スルガユヘニ凡身ヲステ、佛身  
 ナ證スルトイヘルコ、ロチスナハテ阿彌陀如來トハ申ナリ」トアリ然バ眞實信

心ニ住スルハ南無ノ二字ヲ貰フタ相正定聚ニ住スルガ阿彌陀佛ノ四字ヲ貰フタ  
 相タノム一念ノ時正定聚ニ住シタガ即チ南無阿彌陀佛ノ因ヲ貰フタ相ナリ夫ガ  
 名號が因トナルト云フコトニナルナリ由テ今イフコ、ロハトノ給フ是ニテイフ  
 コ、ロハト云フ釋ガ能ク聞ヘルコトナリ故ニ鎮西流ト格別ニシテ名號ハ處信ノ  
 行ト云フコトニ決擇シ給フ其證據ハ何レナリヤト云ニ口傳鈔ニ光明遍照十方世  
 界等ノ文ト善導禮讚ノ以光明名號攝化十方但使信心求念ノ文ヲ引キ信心ノ前ニ  
 名號が出シテアレバ是レ善導元祖ノ本意ヲ得タコトニアラズヤト成立シ給ヘタ  
 モノナリ吾祖兩重因縁ノ處ニ光號因縁ノ文ヲ引キ給フ意ガ此ノ意ナリ是レ第三  
 ノ無明斷破ノ徳ノ義ナリ、第四信心廻施ノ義、是ハ和讚ニ無碍光ノ利益ヨリ威  
 徳廣大ノ信ヲエテトアリ御文五帖通十ニ「シカルニコノ光明ノ縁ニモヨホサレ  
 テ他力信心トイフコトヲバイマスデニエタリコレシカシナガラ彌陀如來ノ御カ  
 タヨリサツケマシ〜タル信心トハヤガテアラハニシラレタリ」トアリ、以上  
 ノ四徳ヲ以テ遍照ノ光明ノ益ヲ知ルベシ、扱今ノ文ハカノ願スデニ成就シテア



マ子ク無碍ノヒカリヲモテ十方微塵世界ヲテラシタマヒテ衆生ノ煩惱惡業ヲ長  
時ニテラシマシマストハ遍照ノ光明ナリ短讀ノ方デハ光明遍照十方世界ノ意ナ  
リ

サレバコノヒカリノ縁ニアフ衆生ヤウヤク無明ノ昏闇ウスクナリテ宿善ノ  
タチキサストキマサシク報土ニムマルベキ第十八ノ念佛往生ノ願因ノ名號  
ヲキクナリ

一示名號因二 初正示 サレバコノヒカリノ縁ニアフ衆生ヤウヤク無明ノ昏暗  
ウスクナリテ宿善ノタチキザストキトハ阿彌陀如來ノ光明ノ御照シノ手助ケノ  
縁ニ値フ衆生ガ無明ノ昏闇ウスクナルト云フコト其ウスクナリタ處ニテ宿善ノ  
芽生ガデキルナリ 宿善ノタチキザストキトハ觀經ノ勢至觀ノ文ニ「擧身光明  
照十方國作紫金色有緣衆生皆悉得見」トアリ此ノ有緣衆生ヲ定善義<sup>三十一</sup>明  
但與勢至宿業有緣者即得親觸此光<sup>三十二</sup>ト釋セリ是ハ勢至菩薩ニ宿世ノ因縁ア  
ル者ハ勢至ノ光明ヲ見ルト云フコトナリ今モ其如ク前生ニ阿彌陀如來ト因縁約

束ヲ結ンダ宿縁ノタチキザストキ第十八ノ願因ノ名號ヲ聞クト云フコトナリ  
正シク報土ニムマルベキ第十八ノ願因ノ名號トハ第十八願ノ乃至十念若不生者  
不取正覺ノ名號ヲ聞クコトナリ是デ光明名號ノ因縁ニ由テ往生スルヲ得ルコト  
ニナル扱今ノ文ハ自カラ五重ノ因縁ノ義ヲ具ス一ニ宿善、次ニ聞クト云フ處ニ  
第二ノ善知識アリ、アマチク無碍ノヒカリトハ第三ノ光明ナリ、又聞即信ナレ  
バ自ラ第四ノ信心ヲ顯ス又名號執持ノ文字ハ自ラ信心ヲ顯ス、既ニ名號トアレ  
バコレ第五ノ名號ナリ、然バ五重ノ義ハ口傳鈔ヤ淨土見聞集ノミナラズ今鈔モ  
其義ヲ顯スナリ、問云光明ハ第十二ノ願ニシテ名號ハ第十七願ナルベシ六要<sup>三十三</sup>  
トアリ又「第一句者指第十七是名號故」トアリ然ニ今名號ヲ第十八ノ念佛往生  
ノ願因ノ名號トノ給フハ如何 答云元祖ハ一願建立ユヘニ名號ノ因ト云ヘバ第  
十八願ナリ又吾祖御本書ハ教行信證ト題シテ行ハ十七願信ハ十八願トスル由テ  
名號トハ第十七願ナルコト勿論ナリ處デ執持鈔ニ行ハ念佛往生ノ第十八願ノ名



號トシ給フハ如何ト云フニ是ハ和語燈ヲ相承シテ和語燈ニ付テ彼鎮西ハ名號ヲ能稱ノ念佛トス夫ヲ破斥シテ元祖ノ本意ヲ顯シテ此名號ハ所信ノ名號タルコトヲ示シ光明ニ由テ所信ノ名號ヲ得テ淨土參リチスルユヘ名號ヲ因ト云フナリ能稱ヲ因トスルニハアラズト鎮西ノ能稱正因ヲ嫌ヒ元祖ノ本意ヲ顯シ給フナリ、シカレバ名號執持スルコト自力ニアラズヒトヘニ光明ニモヨホサル、ニヨリテナリ 二明名號聞持由他力カ 名號ヲ執持スルコトハ彌陀經ノ執持名號ニシテ念持ノ義ナリ是レ平生業成ノ義ヲ示ス稱フル念佛ハ往生ノ因ニ非ズ名號執持ヲモテ往生ノ因トスル唯信正因ノ義ヲ顯スナリ題號ニ執持鈔ト云ヒ今又名號ヲ執持スルコト自力ニアラズト鎮西ニ嫌ヒ又下カニ名號ヲ正定業ト名クルコトハ佛ノ不思議力ヲタモテバ往生ノ業正シク定ルナリト能稱ノ念佛ヲ嫌ヒテ唯信正因ノ義ヲオシタテ給フ其中今ノ處ガ正シク題號ニ應ズルナリ、カラニ自力ニアラズ等トハ次上ノ十方微塵世界ヲテラシタマヒテ衆生ノ煩惱惡業ヲ長時ニテラシマシマスカ願因ノ名號ヲキクナリトアルニテ知ルベシ時ニ同シ照ス義ニテモ

鎮西ノ所立ト今家トノ區別ヲ知ルベシ彼ハ光明ノ手助ケニ由テ信心ノ生ズルコトハ云ハヌニハ非レドモ光明ノ力ニ由テ自分持テ前ノ自力ノ信心ヲ起サシムルナリ當流ハ光明ノ力ニ由テ彌陀ヨリ廻向ニ與カルナリソコデ他力ト云フコトニナルケ様ノ處ハ注意シテ見ルベキ處ナリ、コレニヨリテ光明ノ緣ニキザ、レテ名號ノ因ヲウツイフナリ三結上 光明ノ緣ニキザ、レルトハ宿善成熟シテ宿善ノタ子キザスコトヲ光明ノ緣ニキザ、レテト云フ光明ノ緣ニ照サレ宿善ガ芽生エシテ名號ノ義ヲ聞キ得タコトヲ名號ノ因ヲウルト云フ是レ光明名號ノ因緣ヲ結ビ給フ處ノ文ナリ。

カルガユヘニ宗師（善導大師ノ御コトナリ）以光明名號攝化十方但使信心求念トノタマヘリ

二示兩重因緣一 初承上舉文 カルガユヘニトハ光明名號ノ元祖ノタマヘタ因緣ガアル其因緣ト云フハ名號ノ因トハ衆生ガ唯ダ稱ヘテ因トナルニハ非ズ其名號ノ因ヲ聞テ信心發得シタ處デ名ガ因トナルコトヲ示シタ者ナリ由テ其義ヲ



成ズル爲ニ善導ノ釋ヲ擧テカルガユヘニ宗師ハ等ト文ヲ出シ給フ、處デ此文ハ義兼兩向トナリテ、上ニ向フテハ光明名號攝化十方ノ文ガ光明因緣ヲ顯ス證文トナル而シテ名號ヲ執持スルコト自力ニ非ズトアルユヘ自ラ但使信心求念ノ文證據トモナル又下ニ向ヘバ兩重因緣ノ證據トモナリテ獲信ノ因緣ヲ顯スナリ即チ兩重因緣ノ義ヲ顯ス由テ此文上ニ望メテ見レバ光明名號攝化十方ガ光緣ノ因緣ナリ其因ヲ獲タル相ガ但使信心求念ナリ光明ノ因緣ノ時ハ信心ヲ名號ニ攝メテ名號ノ因ト云フ然ニ光明名號信心ト開ヘテ三法相望ノ時ハ光明ノ緣ニ由テ名號ノ因ヨリ信心ノ子ガ生ズルナリ、今光明名號因緣ト云フコトヲ極樂淨土ノ果ニ望メテ因トナルト云フコトナリ由テ正信偈ニ光明名號顯因緣トアリ之ヲ正信偈大意四廿二ニ「然バ名號執持スルコトサラニ自力ニアラズヒトヘニ光明ニモヨホサル、ニヨリテナリコノユヘニ光明ノ緣ニキザ、レテ名號ノ因ハアラハル、トイフコ、ロナリ」ト示シ給フコレ執持鈔ヲ相承シテ義ヲ明カニ示シ給フナリ

但使信心求念トイフハ

二別釋但使信心求念文二一 初牒文 是ハ淨土往生ハ雜行雜善ヲ用非ズ自力念佛ヲモ捨テ唯タ信心ノ一ツト顯ス口傳鈔下二廿二「往生淨土ノ正因ハ安心ヲモテ定得スベキヨシヲ釋成セラル、條顯然ナリシカルニ吾大師聖人コノユヘチモテ他力ノ安心ヲサキトシマシマス」トアリ是ハ往生禮讚ノ文ニ由テ述給フ往生淨土ノ正因ハ安心ヲ以テ定得スベキヨシヲ釋成セラル、條顯然ナリト云フコトハ禮讚ニ一ヶ處アリ一ハ二種深信ノ信知彌陀本弘誓願乃定得往生ノ文是ナリ此ノ信知ノ言ト定得ノ言ト合セテ鎮西ノ起行肝要ニ嫌フテ安心ヲモテ定得スベキヨシトノ給フ又一ハ今文ナリ今文ハ論註相承ニシテ論註ニ「但以信佛因緣願生淨土」トアリ但以信佛因緣ハ但使信心ナリ願生淨土ハ求願ナリ然バ安心ヲ以テ先トスルトハ禮讚ノ二文ナリ由テ以テ獲信因緣ノ證文ニ出シ給フ

但使信心求念トイフハ光明ト名號ト父母ノゴトクニテ等

二述釋四 初示獲信因緣義 此文ニハグクムトアルハ長明發心集ニ親鳥ガ卵ヲ翼テ組合セテ暖メ孵カスチ云フ育テ上ルコトナリ彼鎮西ニ於テモ光明名號ノ父



母ニヨリテ信心ヲ生ズルト云ヘドモ名號ヨリ出ル信心ニアラズ信心ハ凡夫定散  
 自力ノ信心ナリ故ニ父母ト云フトモ子ヲ養ヒ育テルバカリナリト解スベシ尤モ  
 父母俱ニ養ヒ育ツト云フコトハ報恩記末ニ「父母ハ今生撫育ノ極リ師長ハ永  
 世得脱ノ縁ナルガユヘナリ」トアリ即チ父ハ教テ道ヲ守ラシメ母ハ抱テ愛ヲ施  
 スコレ今生撫育ノ相ナリ今ノ文ニ父母ト申スモノハ子ヲ育テハグクムトイヘド  
 モ子トナリテイデクベキタ子ナキニハチ、ハ、トナヅクベキモノナシ是ハ父母  
 ノ喩ヒニ二通りアリ一ニ出生ノ用ニ撫育ノ用ナリ當流ハ出生ノ用ナリ出生ノ  
 用ハ生因ヲ顯ス由テ父ハ能生ノ因母ハ處生ノ縁ナリ因ト縁トハ親疎ノ別ナリ父  
 ハ子ヲ生ズ能生ノ因母ハ子ヲウムノ處生ノ縁由テ能生ノ因處生ノ縁ト云フハ出  
 生ノ作用ヲ顯スソコデ子ノアルトキソレガタメニ父トイヒ母トイフ號アリ今光  
 明名號ノ父母ト云フコトモ報土ニ正シク生ルベキ信心ノ因ガ名號ニ無ケチバナ  
 ラズ處生ノ縁ガ光明ガ無ケチバナラヌ由テ夫ノ如クニ光明ヲ母ニ喩ヒ名號ヲ父  
 ニ喩フルニハ報土ニ正シク生ルベキ信心ノ因ナケチバナラヌ夫ノ道理ニ由テ光

明名號攝化十方但使信心求念ト光明ト名號ヲ父母ニ喩ヘタ者ト顯シ給フナリ此  
 ノ光號ヲ父母ト合セタハ吾祖ノ御釋ナリ是ハ何ニ據リ給フヤト云フニ元祖ノ和  
 語燈ガ本ナリ和語燈ニ然バ光明ノ縁ト名號ノ因ト和合セバトアリ因縁和合ト云  
 フコトハ善導序分義八十一ニ「既有父母即有大恩若無父者能生之因即闕若無母  
 所生之縁即乖若二人俱無即失託生之地要須父母縁具方有受身之處既欲受身  
 以自業識爲內因以父母精血爲外縁因縁和合故有此身」トアリ是ニ據リ給  
 フ即チ元祖ノ光號ノ因縁和合トノ給ヘシチ夫ヲ序分義ノ本ヘ戻シテ兩重ノ因縁  
 チ立テ給フナリ然バ覺師ノ今ノ一段ハ鎮西流ノ光號ノ解釋ト吾祖ノ解釋ト其位  
 ノ別ナルコトヲ顯シテ破邪顯正シ給フナリ、マサシク生ルベキ信心ノダチナク  
 シカレバ信心ヲオコシテ往生ヲ求願スルトキ名號モトナヘラレ光明モコレ  
 チ攝取スルナリ

一ニ示得生因縁義 此兩重ノ因縁ハモト善導ノ禮讚近クハ六要一三十一「光明名號



攝化十方但使信心求念上盡一形下至十聲一聲等以佛願力易得往生此文  
 ニ據リ給フソレデ信心ヲオコシテ往生ヲ求願スルトハ但使信心求念ノ文ヲ今ハ  
 下ノ文ニ向テ見ル意ナリ上盡一形等ノ文ハ名號モトナヘラレト云フコトニナル  
 光明モコレヲ攝取スルナリトハ以佛願力易得往生ノ意トナル下ノ文ニ攝取不捨  
 ノ誓ナクバトアリ攝取不捨ハ願力ナリ由テ以佛願力易得往生ハ攝取不捨ノ理リ  
 ナ云フ兩重因縁デハ得生ノ下ニ光明名號ヲ外縁トスルト云フ今ハ名號光明ノ次  
 第ナリコレ禮讚ノ文ニ順ゼシナリ二河喻ノ文ニ配セバ善ク叶フ一心トハ眞實信  
 心ナリ正念トハ第一希有ノ行ナリ護ノ言ハ攝取不捨ノ義ヲ顯ス此ノ文ト相應ス  
 ルナリ、シカレバ信心ヲオコシテ往生ヲ求願スルトハ觀經ニ「願生彼國者發三  
 種心」トアリ其ヲ釋スル散善義ニ「明求願往生」トアリ此文ハ自力ノ求願ナリ  
 玄義分<sup>六</sup>ニ「一心信樂求願往生上盡一形下收十念」トアリ此ノ欲願ハ欲生我  
 國ノ他力ノ求願ナリ今ハ玄義分ノ方ニ據ル本願ノ欲生成就ノ願生彼國ナリ願々  
 鈔<sup>七</sup>ニ「願樂欲求ノ心ノオコルコト」等トアリ願樂欲求ヲ中略スレバ願求トナ

ル信心ヲオコシテ往生ヲ求願スルトキ名號モトナヘラレ光明モコレヲ攝取スル  
 ナリトハ略文類ノ發信稱名光照護ノ意ナリ知ルベシ。

サレバ名號ニツキテ信心ヲオコス行者ナクバ彌陀如來攝取不捨ノチカヒ成  
 ズベカラズ等

三三法互成顯平生業成義二 初正示 サレバ名號ニツキテ信心ヲオコス行  
 者ナクバ彌陀如來攝取不捨ノチカヒ成ズベカラズトハ聞其名號信心歡喜ノ行者  
 ナケレバ彌陀攝取ノ誓ハ徒ラゴト、ナル聞其名號信心歡喜ノ行者アリテコソ至  
 心廻向ノ攝取不捨ノ誓ヒチ成ズルナリ和讚ニ金剛堅固ノ信心ノサダマルトキチ  
 マチエテ<sup>乃</sup>至ヘダテケルト信心ノ行者アリテコソ攝取ノ益顯ハル、ナリ、次ニ  
 彌陀如來攝取不捨ノ御チカヒナクバマタ行者ノ往生淨土ノチガヒナニ、ヨリテ  
 カ成ゼン、トハ是ハ御文二帖<sup>通四</sup>ニ「カルガユヘニ如來ノ誓願ヲ信シテ一念ノ疑  
 心ナキトキハ<sup>乃</sup>至極樂ヘマイルベキ身ナルガユヘナリ」トアリ一念信受ノ行者ア  
 リトモ攝取ノ光益ナキトキハ淨土ヘ往生スル處ノ望ミナ絶タチバナラヌ由テ彌



陀如來攝取ノナカヒナクバ等トノ給フ上ノ文デハ信心ト云ヒ今文デハ求願ノ義ニ付テ往生淨土ノノゾミトノ給ヘタモノナリ。

サレバ本願ヤ名號々々ヤ本願本願ヤ行者々々ヤ本願トイフコノイワレナリ  
一擧指南鈔 是ハ上文ノ名號ト信心ト攝取ノ二ヲ承タモノナリ 上文ニ名號ニ付テ信心ナクバト云フベキ筈ナリ然ニ信心ヲオコス行者ト云フ語ノ這入リシハ西方指南鈔ノ語ニ應ジタモノナリ西方指南鈔中末ニ本願ヤ行者ヤ本願本願ヤ名號名號ヤ本願ト云フ語アリ本願ヤ名號トハ上ニ名號ニ付テ信心ヲオコス行者ナクバトアリ之レ名號ト本願ト相望シタルモノナリ如何ニ攝取不捨ノ誓アリトモ信心ヲオコス名號ナクンバ信心生ゼズ阿彌陀如來ノ攝取不捨ノ誓ヲ施スニ由ナシ故ニ本願ヤ名號ナリ如何ニ信心ヲオコス名號アリトモ攝取不捨ノ誓ナクバ名號マタ何ノ所詮モアルコトナシ仍テ名號ヨリハ本願トイフナリ次ニ本願ヤ行者トハ名號ニ付テ信心ヲオコス行者ナクバ彌陀如來ノ攝取不捨ノ誓成ズベカラズトアリ仍テ本願ヨリハ行者トイフナリ又彌陀如來ノ攝取不捨ノ誓ナク

バ衆生往生スルコト能ハズ今ソレヲ彌陀如來ノ攝取不捨ノ御誓ナクバマダ行者ノ往生淨土ノチガヒナニ、ヨリテカ成ゼントイフナリ、コレ本願ヤ行者行者ヤ本願ト打返ス語ナリコレ西方指南鈔ノ意チアラハスナリトイフベシ然レドモ西方指南鈔ノ義ヲ轉ジテ用ヒタマヒシモノニシテ斯様ナルコトハ種々アルコトナリ下ノ章ニモ根機ツタナシトテ卑下スベカラズ等ノ語アリ是ハ鎮勤用心デハ乃至十念トアルヲ乃至一念ト改メテ用井タマフナリ蓮師ニアリテハ御文一帖目初通ニ「ウレシサチ昔ハ袖ニツ、ミケリユヨヒハ身ニモアマリヌルカナ」トコレハ西行ノ選集鈔デハ中納言公任ノ身ニ關シタル歌ナリ夫チバ自力念佛他力念佛ノコトニ轉用シタヒマタルナリ今モ其意ト見ルベシ

本願寺ノ聖人ノ御釋等

四舉祖釋成義 是ハ本願ヤ名號名號ヤ本願等ノ文ハ上ニ述ベシ兩重因緣ノ義ヲ大體トシ今所引ノ六要鈔三十九所明ノ兩重因緣ノ釋ニ據ルコトヲ示スナリサテ今此ノ兩重因緣ノ釋ハ名號ニ一ツアリ光明ニモ一ツアリ獲信因緣ノ光明ハ遍



照ノ方ニシテ得生因縁ノ光明ノ攝取ノ方ナリ又獲信因縁ノ名號ハ處信ノ方ニシテ得生因縁ノ名號ハ稱へ顯ハス能行ノ方ナリ信心ハ一ツ故ニ品ハ三ナレドモ事柄ハ五ツナリ處デ上ノ一段ニ唯ダ三トセシハ如何ト云フニ此五ノ中ニ於テ其作用ノ勝レタルニ就カガ光明ニテハ攝取ガ最要ナリ攝取ハ淨土へ送り届ケル光明ニテ正ク阿彌陀佛ノ四字ノ意上ノ第十二ノ願ノ下ニモ十二ノ願ヲ擧ゲテコレスナハチ念佛ノ衆生ヲ攝取ノタメトアリ又名號ニ付カバ能稱ヲ待タズ信心一ツニテ淨土ニ往生ス然バ兩重因縁中ニテ最大要ハ名號ト信心ト攝取ノ光明ナリ遍照ハ攝取ニ收メ能行ノ念佛ハ所信ノ行ニ攝ムレバ三法トナル故ニサレバ本願ヤ名號々々ヤ本願本願ヤ行者々々ヤ本願ト云フ開イテ云へバ兩重ノ因縁ナリ即チ德號ノ慈父マシマサズバ能生ノ因カケナン光明ノ悲母マシマサズバ所生ノ縁ソムキナントノタマフ此能生所生トイフコトハ生レルモノト生レサセルモノト行ト信トノ相望ナリ其所生ノモノ、出生ノ助縁トナリ母親トナルガ光明ナリ若シ母親ナケレバ生レル子ノタメニ出生ノ縁ノ缺ケルコトヲ所生ノ縁ソムキナントイ

フ是レハ獲信ノ因縁ナリ次ニ光明名號ノ父母コレスナハチ外縁トストハ是ハ得生ノ邊ニテハ光明モ名號モ同シク手助ケトナルナリ其故ハ父ニハ能生ノ位ニテ云フ時ト撫育ノ位ニテ云フ時トアリ生レ終リシ子ニ對シテハ撫育ノ位トナリテ能生ノ因ノ方ハ隠レル母ニ付テ云フモ亦然リ今光明名號モ亦同シ名號ハ出生ノ因ナレドモ信シタ上ハ光明モ名號モ共ニ外縁トナル愚禿鈔ニハ眞實ノ淨信ハ内因ナリ攝取不捨ハ外縁トアリ何故外縁トナラバ攝取不捨ハ外ヨリ手助ケナスルユヘ由テ外縁ト云フ又名號ノ外縁ト云フコトハ御一代記聞書<sup>三</sup>丁ニ「念稱是一トイフコトヲシラズトマフシサフヲフトキ仰ニオモヒウチニアレバイロホカニアラハル、トアリサレバ信ヲエタル體ハスナハチ南無阿彌陀佛ナリトコ、ロウレバ口モコ、ロチヒトツナリ」トアリ即チ信火内ニ在レバ行烟外ニ現ハル、御文二帖<sup>五</sup>ニ「眞實信心ヲ獲得シタル人ハカナラズ口ニモイダシ又色ニモ其スガタハ見ユルナリ」トアリ然バ稱フル念佛ハ外ト云ハチバナラヌ由テ光明名號ヲ外縁トスルト云ベシナリ能行ハ所行ヲ離レズ體ニ付ケバ唯ダ一ツ攝取ノ光明ハ



遍照ノ光明ヲ離レズ體ハ一ツナリ由テ攝メテミレバ能行ハ所行ニ攝マリ攝取ニ  
 遍照ヲ攝マルユヘ其義邊デハ三法トナル其義ヲ示シテ上ノ光明名號ノ因縁トア  
 ルヲ直グニ夫ヲ用テ光明名號ヲ外縁トスト云フ誠ニ巧ミナル御釋ト云フベシ、  
 眞實信ノ業識コレスナハナ内因トストハ是ハ御本書デハ「非信心業識無到光  
 明土眞實信業識斯則爲内因」トアル語ニ據リ給フ、眞實信トハ御自釋五十四ニ「按  
 方便之願有假有眞亦有行有信願者即是臨終現前之願也行者即是修諸功德之  
 善也信者即是至心發願欲生之心也」トアルニ據ル方便ノ信ニ嫌フテ他力ノ信ヲ  
 顯ス、業識トハ序分義ニ依レバ無明行ト次第シテ識ガ母ノ胎内ニ托生スル一念  
 ナ識支ト云フ其識ハ過去ノ無明、行ノ業ニ由テ感ズルユヘ業識ト云フ此ノ業識ガ  
 能ク身體ヲ成ズルタチナリ之ヲ今ノ一段ニ取レバ報識トハ本願名號正定業ノ行  
 ヨリ得タ信心ユヘ業識ト云フ是報土ノ眞身ヲ得證スル因トナル序分義ニ順シテ  
 解ストキハ此ノ如クニ解サチバナラヌ信心歡喜ノ信心ハ聞其名號ノ行ヨリ起ル  
 行トハ本願名號正定業ナリ其行ニ由テ起ル信心ユヘ業識ト云フ此ノ識ノ字モ信

心ニ約スルトキハ六要四十三ニ「識知自心三毒惡性捨自力行歸他力行可得眞  
 實清淨業也」トアリ此ノ時ハ識知自心三毒惡性トハ機ノ深信ノ相ナリ爾バ二  
 種深信他力ナレバ識モ他力ノ信心ナルコト知ルベシ或ハ業識ト云フハ業即識ノ  
 持業釋ナリ一多證文廿七ニ「是名正定之業順彼佛願故トイフハ弘誓ヲ信ズルヲ  
 報土ノ業因トサダマルヲ正定ノ業トナヅクトイフ」等トアリ是ニ據レバ信心即  
 業識ナリ信心ノ識ガ往生ノ業因トナルト云フコトニナル是レ名ハ同ズレドモ義  
 相ハ格別ニテ前ノ喩ヒノ方デハ業ニ依ルノ識依主釋ナリ後ノ義ハ業即識ノ持業  
 釋此ノ如ク兩義アリト知ルベシ、内外ノ因縁和合シテ報土ノ眞身ヲ得證ストミ  
 エタリトハ六要一六トニ「正智難信金剛信樂除疑獲證眞理也」トアリ獲證ハ得  
 證ト云フコト般舟讚四「證得菩提無上果」トアリ六要二トニ「獲證無上菩  
 提」トアリ是等ノ文ニ據ル報土トハ方便化土ニ嫌フテ眞實報土ヲ云フ眞身トハ  
 無上菩提ノ佛果ニナルコトナリ觀經ノ第九眞身觀ノ六十萬億那由他恒河沙由旬  
 ノ佛體ヲ指ス御文五七ニ「コノコ、ロノツユナリホドモウタガヒナケレバカナ



ラズ、極樂へマイリテウツクシキホトケトハナルベキナリトアルハ報土ノ  
眞身ヲ得證スル相ナリ。

コレヲタトフルニ日輪須彌ノ半バニメグリテ<sup>乃</sup>名號ノ寶珠ヲウルナリ  
三重示光明名號因縁一 初學喻嫌<sup>他</sup>之異解二 初正示喻 之ヲ喻フルニ等  
トハ何レヲ指スヤト云フニ是ハ上ノ光明名號因縁ノコト、イフ總釋ヲ承タルナ  
リ即チ上ニ無碍ノヒカリヲモテ十方微塵世界ヲテラシタマヒテ衆生ノ煩惱惡業  
ヲ長時ニテラシマシマスサレバコノヒカリノ縁ニアフ衆生ヤウヤク無明ノ昏闇  
ウスクナリテ宿善ノタチキザストキマサシク報土ニムマルベキ第十八ノ念佛往  
生ノ願因ノ名號ヲキクナリトアルチ今ノ一段ノ合法ノ處ニ彌陀佛日ノ照觸ニヨ  
リテ無明長夜ノヤミスデニハレテ安養淨土ノ業因タル名號ノ寶珠ヲバウルナリ  
トシルベシトアル此ノ文ニ能ク合ス實ニ函蓋相稱ス故ニ此ノ義佳ナリ、日輪須  
彌ノ半ニメグリテ他州ヲテラストキコノサカヒ闇冥タリ他州ヨリコノ南州ニテ  
カヅクトキ夜スデニアクルガゴトシシカレバ日輪ノイヅルニヨリテ夜ハアクル

モノナリ、トハ口傳鈔上<sup>八</sup>ニ本願寺ノ上人親鸞アルトキ門弟ニシメシテノタマ  
ハク<sup>乃</sup>日輪マサニ須彌ノ半腹ニ行度スルトキ他州ノヒカリチカヅクニツイテコ  
ノ南州アキラカニナレバ日イデ、夜ハアクトイフナリコレハタトヘナリ無碍光  
ノ日輪照觸セザルトキハ永々昏闇ノ無明ノ夜アケズシカルニイマ宿善トキイタ  
リ不斷難思ノ日輪貪瞋ノ半腹ニ行度スルトキ無明ヤウヤクヤミハレテ信心タチ  
マナニアキラカナリ<sup>乃</sup>日輪ノ他力イタラザルホドハワレト無明ヲ破ストイフコ  
トアルベカラズ無明ヲ破セズバマダ出離ソノ期アルベカラズ他力ヲモテ無明ヲ  
破スルガユヘニ日イデ、ノチ夜アクトイフナリトアリ是ノ文ニ照シテ今文ヲ  
知ルベシ、世ノヒトツ子ニオモヘラク夜ノアケテ日輪イツトイフ今イフトコロ  
ハシカラザルナリ、トハ 二嫌異解 世ノ人常ニ以爲ラクトハ鎮西ヲ指ス彼流  
ニハ心存助給口稱南無<sup>テ</sup>行者ノ方ヨリ助ケ給ヘト思ヘバ臨終ニ阿彌陀如來ハ助  
ケ給フナリト云フ此義デハ夜明ケテカラ日輪ガ照スト云フコトニナル、今イフ  
トコロハシカラザルナリトハ今家ノ所談ハ然ラズ無碍光ノ縁ニ照サレテ名號ノ



因ヲ得ル日輪ノ光リニ照サレテ夜ガ明ルナリ口傳鈔デハ「ウナマカセテヒトミ  
 ナオモヘラク夜アケテ後日出ヅトコダヘマウス上人ノタマハクシカラザルナリ  
 ト」ト云フ一段ナリ、彌陀佛日ノ照觸ニヨリテ無長明夜ノヤミスデニハレテ安  
 養往生ノ業因タル名號ノ寶珠ヲバウルナリトシルベシ 二結「因緣勸思惟」此  
 ノ一段ノ文ハ上文ノコノヒカリノ緣ニアフ衆生無明ノ昏闇ウスクナリテ宿善ノ  
 タチキザストマサシク報土ニムマルベキ第十八ノ念佛往生ノ願因ノ名號ヲキク  
 ナリトアルニ照シテ見ルベシ名號ヲ寶珠ト云フコトハ論註下丁十六同丁十六ニアリ見  
 ルベシ和讚ニハ「安樂佛國ニイタルニハ無上寶珠ノ名號」トアリ此ノ御左訓ニ  
 「ニヨイホウシユノタマナリコノホウシユハニコルミツニイルレハミスハスメ  
 トモミダレス」トアリ是ハ淮南子ニ青泥ト云フ玉ヲ水ニ入ルレバ濁リノ清ムコ  
 トヲ述テアリ是ヲ以テ如意寶珠ニ喩ヘ給フ意ヲ知ルベシ他力ノ信心ヲ決定スレ  
 バ此ノ如意寶珠ヲ我身ニ得ラル、ナリ和讚ニ「五濁惡世ノ有情ノ選擇本願信ズ  
 レバ不可稱不可說不可思議ノ功德ハ行者ノ身ニミテリ」即チ此ノ寶ヲ得ルナリ

誠ニ仰グベク信ズベキコトナリ上來第四章ヲ辯ズルコト此ノ如シ。

一私ニイハク

五第五章二 初票 上來ノ四章ハ祖釋ニシテ黑谷ヨリ吾祖相承シ給ヘ如信上人  
 之ヲ傳ヘ覺師之ヲ面授シ給ヘルヲ擧グ而シテコノ一章ハ前四章ノ義理ヲ總括シ  
 テ釋成シ給フ其大要ハ平生業成ノ宗義ヲ明スヨリ外ナシ、私ニイハク是ハ選擇  
 集十六章段ニ私云ノ語アリ今是ニ倣ヒ給フナリ今ノ章ハ御私案ヲ掲ゲテ平生業  
 成ノ主旨ヲ顯シ給フ能ク意ヲ留メテ窺フベシ。

根機ツタナシトテ卑下スベカラズ佛ニ下根ヲスクフ大悲アリ行業ヲロソカ  
 ナリトテウタガフベカラズ經ニ乃至一念ノ文アリ佛語ニ虛妄ナシ本願アニ  
 アヤマリアランヤ

二釋二 初舉「法勝益勸誠退疑」此ノ一段ノ文ハ上ニモ委シク述タリ西山ノ鎮  
 勸用心ニ「根力頑莫生却慮佛攝下根誓既成行業乏莫致孤疑」經要「十念」文是  
 驗「トアルヲ少々句面ヲ變ヒテ深重大悲ノ義ト一念業成ノ義トヲ顯シ給フナリ



所謂ル二尊ノ大悲ナリ、根機ツタナシトテ卑下スベカラズトハ是ハ觀經下三品ハ根機拙キ有様ナリ禮讚<sup>三十一</sup>「下輩下行下根人十惡五逆貪瞋」トアリ拙キハ鈍キコトナリ物ニ巧ミナラザルヲ云フ下三品ニハ如此愚人トアル修行戒行ノ出來ザル根機ナリ其根機拙キ者ガ此ノ義デハ往生イカト卑下スルナリ和語燈<sup>一六</sup>ニ機ノ深信ヲ釋シ給フ所以ヲ述テ「心ニ若シ貪欲瞋恚ノ煩惱ヲモ具シ身ニ自十惡破戒等ノ罪業ヲモ犯ス事アラバ猥リニ自身ヲ怯弱シテカヘリテ本願ヲ疑惑シナマシ誠ニ此彌陀ノ本願ハ十聲一聲ニ至ルマデ往生スト云事ハ小縁ノ人ニテハアラシ妄念ヲモ起サズ罪ヲモ造ラヌ人ノ甚深ノ悟ヲ發シ強盛ノ心ヲモテ申シタル念佛ニテゾアラン我等如キエセ者ノ一念十聲ニテハヨモアラジトコソ覺ンモ惡カラヌ事ナリ」トアルハ是レ我身ノ根機拙キニ付テ卑下スル相ナリ次ノ文ニ「善導和尙ノ未來ノ衆生ノ疑ヒチ起サン事ヲ願ミテ此二種ノ信心ヲ擧ゲテ我等如キ煩惱ヲモ斷ゼズ罪業ヲモ造レル凡夫ナリトモ深ク彌陀ノ本願ヲ信ジテ念佛スレバ十聲一聲ニ至ルマデ決定シテ往生スル旨ヲ釋シ給ヘルナリカクダニ釋シ

給ハザラマシカハ我等ガ往生ハ不定ニゾ覺エマシ危ク覺ユルニ付テモ此釋ノ殊ニ心ニソミテ覺エ侍ル也サレバ此ノ義ヲ心得分ヌ人ニコソ有ンズレ佛ノ本願ハ疑ハチドモ我心ノワロケレバ往生ハ叶ハジト申合ヒタルカヤガテ本願ヲ疑フニテ侍ル也」等トアリ然バ吾等ハ根機拙シトテ卑下スベカラズト知ルベキコトナリ、佛ニ下根ナスクフ大悲アリトハ鎮勸用心ニ佛攝下根誓既成トアリ散善義<sup>四</sup>法ノ深信ノ下ニ彼阿彌陀佛四十八願攝受衆生トアリ佛ノ御慈悲デハ助ケ度ノ御慈悲デマシマスト云フコトナリ御文四<sup>通九</sup>ニ「阿彌陀如來ノオホセラレケルヤウハ末代ノ凡夫罪業ノワレラタランモノツミハイカホドフカクトモワレチ一心ニタノマン衆生ヲバカナラズスクフベシトオホセラレタリ」トアリ論註ニハ拔苦云慈與樂云悲ト釋ス然バ佛ノ御慈悲ハ下根ヲ救フ大悲ニ在リ是レ此處ハ法ノ深信ノ有様ナリ、行業ヲロソカナリトテウダガフベカラズ經ニ乃至一念ノ文アリ等トハ鎮勸用心ニ行業乏莫致狐疑經要十念文是驗トアリ禮讚<sup>右</sup>法ノ深信釋ニ「信知彌陀本弘誓願及稱名號」下至十聲一聲等決定得往生乃至一念無有疑



心トアリ十聲一聲ホドノ念佛ハ五萬十萬ノ念佛ヲ申ス者ニ比アレバ其行業ハ實ニ疎カ者ト云フベシ選擇集本<sub>五十二</sub>ニ「念佛亦可通九品」ト又和語燈<sub>一十二</sub>ニ「上品上生ニハ經ニ勇猛精進ナルガ故ニト説キ釋ニハ日數スクナシト云ヘドモ作業ハゲシキガ故ニ等」トアリ是等ノ根機ニ對スレバ實ニ行業疎カト云フベキナリ去レド定得往生ト信シテ一念ノ疑心ナキ時ハ必ズ往生スルニ間違ヒハナシ由テ十聲一聲等ニ至ルマデ定テ往生ヲウト信シテ一念モ疑フコトナカレトアルナリ此ノ意ニ據リテ鎮勤用心ノ文ニ經ニ十念ヲ肝要トストアル文ヲ覺師ハ言テ改メ義ヲ轉用シテ本願ノ十念ノ文ヲ願成就ノ信ノ一念ト取り換ヘテ經ニ乃至一念ノ文アリトノ給フ是レ善導禮讚ノ法ノ深信釋ノ乃至一念無有疑心トアル意ニ據リテ願成就ノ經文ニ就テ經ニ乃至一念ノ文アリトノ給フ此處ガ經釋ノ意ニ據リテ信ノ一念ニ平生業成ノ義ヲ顯シ給フ處ナリ、末燈鈔<sub>六十二</sub>ニ願成就ノ經文ト善導ノ法ノ深信釋トナ一ツニシテ「行ト申ハ本願ノ名號ヲ一聲トナヘテ往生スト申コトナキ、テヒトコエヲモトナヘモシハ十念ヲモセンハ行ナリコノ御誓ヒ

ナキ、テウタガフコ、ロノスコシモナキナ信ノ一念トマフスナリ」トアリ信ノ一念ハ御本書デハ願成就ノ一念ナリスコシモウタガフコ、ロノナキトハ禮讚ノ法ノ深信釋ナリ此ノ兩方ヲ合シテ信ノ一念ノ義ヲ示シ給フ末燈鈔ノ御釋ナリ又口傳鈔下<sub>二</sub>ニ「コノコト多念モ一念モトモニ本願ノ文ナリイハユル上盡一形下至一念ト釋セラル、コレソノ文ナリシカレドモ下至一念ハ本願ヲタモツ往生決定ノ時尅ナリ上盡一形ハ往生即得ノウヘノ佛恩報謝ノツトメナリソノコ、ロ經釋顯然ナルヲ一念モ多念モ<sub>乃</sub>至サレバイクタビモ先達ヨリウケタマハリツタヘシガゴトクニ他力ノ信ヲバ一念ニ即得往生トトリサダメテソノトキイノチチハラサラン機ハイノチアラランホドハ念佛スベシ」トアリ和語燈四<sub>二</sub>ニ「信ヲバ一念ニ生ルトトク行ヲバ一形ニ勵ムベシ」トアリ元祖相承ノ義ナリ然バ今十念ノ語ヲ經ニ一念ノ文アリト改メ給ヘルハ意コ、ニアリト云フベシ信ヲバ一念ニ生ルト、リテトハ禮讚法ノ深信釋ノ意ナリ是等ノ御釋ヨリ見ルトキハ文表ハ願成就ノ經意ナレドモ御意ハ善導元祖ノ釋意ヲ稟ケテ此クノ如ク釋シ給フト云フベ



シ、佛語ニ虚妄ナシトハ金剛經ニ佛語無虚妄トアリ願成就ノ經文釋尊ノ御語ナ  
 レバ豈虚妄ノ説ナランヤ又本願ニアヤマリアランヤトハ口傳鈔デ見レバ多念  
 モ一念モ共ニ本願ノ文ナリ六要五初「信樂有」一念一念者斯顯「信樂開發時尅之極  
 促」トアリ爾バ一念往生ハ從少向多ノ乃至ト見レバ至心信樂ガ信ノ一念ナリ由  
 テ本願アニ誤リアランヤトノ給フ、又一説デハ御文四帖通九ニ「末代ノ凡夫罪業  
 ノワレラタランモノツミハイカホドフカクトモワレテ一心ニタノマン衆生ヲバ  
 カナラズスクフベシトオホセラレタリ」然バ佛ノ大悲ハ造惡不善ノ凡夫ヲ助ケ  
 給フコトハ誤リナキ本願ナリ既ニ願文ニモ若不生者不取正覺ノ誓ヒヲ立テアル  
 コトナリ故ニ疑フコト勿レト深ク衆生ニ信ヲ勸メ給フ處ナリ。

名號ヲ正定業トナヅクルコトハ佛ノ不思議力ヲタモテバ往生ノ業サマシク  
 サダマルユヘナリ

一正顯平生業成義四 初就正定業示平生業成義四初示信名號爲平生業成  
 義 名號ヲ正定業トナヅクルコトハ佛ノ不思議力ヲタモテバ往生ノ業正シク定

ルユヘナリトハ鎮勸用心ニ乃至十念トアルハ行ヲ以テ往生ノ業因トスルナリ是  
 ハ西山ノ意ニテハ正行門ノ邊ニテ我宗ノ眼ヨリ見ルトキハ諸行往生ノ機ナリ口  
 傳鈔中十七「元祖ノ御語ニ「善惠坊ノ體失シテ往生スルヨシノブルハ諸行往生ノ  
 機ナレバナリ」ト行ヲ以テ業因トスルユヘ臨終來迎ヲ期スルナリコトノ時ハ鎮西  
 流モ同ジコト、ナル稱フル念佛ヲ以テ往生ノ業因トスル能行正因ノ義ト云フ可  
 シ然ニ今ハ西鎮ノ能稱正因ヲ破拆シテ今家不共ノ唯信正因ノ義ヲ顯シ名號念持  
 ナ以テ正定業トスル義ヲ示シ給フナリ先ヅ名號ヲ正定業トハ散善義十八「一心專  
 念彌陀名號行住坐臥不問時節久近念々不捨者是名正定之業順彼佛願故」トアリ  
 テ當分ハ能稱正定業ナリ然レドモ是テ往因究竟ノ義ヨリ云ヘバ名號ヲ信ズル時  
 正定業ト名ケラル、ナリ今ハ此義ナリ此義ハモト和語燈一 八右ニ「只心ノ善惡ヲ  
 顧ズ罪ノ輕重ヲモ辨ヘズ心ニ往生セント思フテ口ニ南無阿彌陀佛ト唱ヘバ聲ニ  
 付テ決定往生ノ思ヒヲナスベシ其決定ニ依テ即チ往生ノ業ハサダマルナリカク  
 心得ツレバ易キ也往生ハ不定ニ思ヘバ聽テ不定也一定ト思ヘバ聽テ一定スル事



也」ト又同二二三<sup>廿</sup>ニ「心ノ善惡ヲモ顧ズ罪ノ輕重ヲモ沙汰セズ只口ニ南無阿彌陀佛ト申セバ佛ノ誓ニ依テ必ズ往生スルゾト決定ノ心ヲ發スベキナリ其決定心ニ依テ往生ノ業ハ定ルナリ往生ハ不定ニ思ヘバ不定ナリ一定ト思ヘバ一定スルナリ詮ジテハ深ク佛ノ誓ヲ憑ミテイカナル過ヲモ嫌ハズ一定迎ヘ玉フト信ジテ疑フ心ナキヲ深心トハ申候也」ト此文ハ善導和尚ノ一心專念彌陀名號<sup>乃</sup>至是名正定之業ノ言ヲ同ジク散善義ノ法ノ深信釋ノ乘彼願力定得往生ト決定深信スルトアル文トナ照シ合セテ示シ給フ處ナリ、決定シテ往生スト深ク憑ミテトハ法ノ深信釋ノ決定深信ト定得往生トノ語ヲ兩方取り合セテノ給ヘタモノナリ、往生ノ業マサシクサダマルナリトハ是名正定之業ノ語ヲ以テ釋シタモノナリ是名正定之業ノ文ハ稱ヘル念佛ガ正定業ナリ法ノ深信釋デハ乘彼願力が往生ノ正因トナル夫ヲ決擇シテ兩方ノ文ヲ合セテ往生ノ業ノ定ルハ決定深信ノ時ト顯シ給ヘルナリ吾祖之ヲ相承シテ一多證文<sup>廿七</sup>「是名正定之業順彼トイフハ弘誓ヲ信ズルヲ報土ノ業因トサダマルヲ正定ノ業トナツクトイフ」ト釋シ給フ今ノ文ノ佛ノ不

思議力ヲタモテバ往生ノ業マサシクサダマルナリトハ全ク和語燈ノ御釋相承ナリ即チ和語燈ノ其決定ニ依テ即チ往生ノ業ハサダマルナリカク心得ツレバ易キ也往生ハ不定ニ思ヘバ聽テ不定ナリ一定ト思ヘバ聽テ一定スル事ナリトアル意ナリ此ノ如ク和語燈ヲ相承シテ元祖ノ本意ヲ顯シ給フ然バ決定ノ心ト云ハズニ佛ノ不思議ヲタモテバトアルハ如何是ガ題號ノ執持ニ應ジテノ給ヘシナリ執持ハ即チ決定ノ思ヒナリ即チ御文三帖<sup>三</sup>ニ「他力ノ信心ヲトルトイフハイカヤウナルムツカシキコトゾトイフニナニノワヅラヒモナクダバヒトスデニ阿彌陀如來ヲフダゴ、ロナクダノミダテマツリテ餘ヘコ、ロチチラサ、ランヒトハダトヘバ十人アラバ十人ナガラミナホトケニナルベシコノコ、ロヒトツチタモタンハヤスキコトナリダ、コエニイダシテ念佛バカリヲトナフルヒトハオホヤウナリ」等トアリ是ガ全ク執持鈔和語燈ノ意ト同シコトナリ即チヒトスデニ阿彌陀如來ヲフダゴ、ロナクダノミダテマツリテ餘ヘコ、ロチチラサ、ランヒト、ハ彌陀ヲタノンデ決定往生ノ思ヒナリタトヘバ十人アラバ十人ナガラミナホトケ



ニナルベシトハ往生ノ業マサシクサダマルユヘナリノ意ナリ不定ト思ヘバ不定ナリトハタゞ聲ニイダシテ念佛バカリヲ稱ル人ハオホヤウナリ一定ト思ヘバ一定スルノ意ガコノ念佛ノイワレヲ知リタル人コソホトケニハナルベケレノ語ナリ然バ名號念持ノ義ヲ示シテ唯信正因ノ義ヲ顯ス覺師ノ御勸メナリ是デ唯信正因平生業成ハ元祖吾祖覺師蓮師御相承ハ一轍ナルコトヲ知ルベシ、モシ彌陀ノ名願力ヲ稱念ストモ往生ナチ不定ナラバ正定業トハナヅクベカラズ一嫌能稱業成説<sup>一</sup>モシ彌陀ノ名願力トハ觀念法門<sup>二</sup>ニ<sup>三</sup>「若不<sup>レ</sup>因<sup>レ</sup>彌陀名願力者千劫萬劫恒河沙等劫終不可轉得女身等」トアリ和讃ニ「彌陀ノ名願ニヨラザレバ百千萬劫スグレドモイツ、ノサワリハナレチバ女身ナイカデカ轉ズベキ」トアリ名願力トハ名號ノ本願ト云フコト名號ニ力ノ字ヲ附ケルコトハ竹林鈔上<sup>九</sup>丁ニ「阿彌陀佛無量無邊不可思議功德ノ名號ノ力即チ歸命ノ衆生ノ行體トナリテ願行具足シツレバ一念モ往生疑ヒ無シト云ナリ」トアリ和讃ニ「恒沙塵數ノ如來ハ萬行ノ少善キヲヒツ、名號不思議ノ信心ヲ等」和語燈<sup>一</sup>卷<sup>二</sup>ニ「凡ソ佛ノ別願

ノ不思議ハ只心ノハカル所ニアラズ佛ト佛トノミ能ク知リ給ヘリ阿彌陀佛ノ名號ヲ唱ルニ依テ五逆十惡悉ク生ルト云フ別願ノ不思議ノ力マシマス誰是ヲ疑ベキ」トアリ然バ名號ヲ佛ノ不思議力ト云フ第十七願成就ノ文ニ名號ヲ讚嘆シテ無量壽佛ノ威神功德ノ不可思議トアリ龍樹ハ易行品ニ人能念是佛無量力威徳トノ給フテアリ是等ノ文ニ由テ上文ニハ佛ノ不思議力ト云ヒ今ハ名願力ト云フ其意知ルベシ、稱念ストモ往生ナチ不定ナラバ正定業トハナヅクベカラズトハ和語燈<sup>一</sup>卷<sup>二</sup>ニ「往生ハ不定ト思ヘバ聽テ不定ナリ一定ト思ヘバ聽テ一定スルナリ」トアリ決定心ノナキ稱名ナレバ正定業ト名クベカラズ是レ元祖相承也、ワレスデニ本願ノ名號ヲ持念ス往生ノ業スデニ成辨スルコトヲヨロコブベシカルガユヘニ臨終ニ再ビ名號ヲトナヘズトモ往生ナトクベキコト勿論ナリ 三就自身述平生業成自督 次上ニハ佛ノ不思議力ヲタモテバトアリ是ハ念持ノ義デ往生ノ正因ハ名號執持ノ信心ニアルト云フコトヲ顯シタ者ナリ今亦本願ノ名號ヲ持念スト云フ是レ名號念持ノ義平生業成ノ義ニシテ今ハ夫レヲ御自身ノ覺悟



ニ就テ述給フ一段ナリ此ノ自身ノ覺悟ニ就テ述給ヘタハ遠クハ天親菩薩ハ世尊  
 我一心歸命盡十方無碍光如來トノ給フヲ鸞師釋シテ天親菩薩自督ノ詞トノ給フ  
 又上ノ第二章ニモ元祖ノ御化導ニアヅカリテ彌陀ノ本願ヲキ、攝取不捨ノ理リ  
 ナ胸ニ收メ生死ノ離レ難キヲ離レ淨土ノ生レ難キヲ一定ト期スルコト更ニ私ノ  
 力ニ非ズトアリ是ハ吾祖ノ御自督ナリ其レヲ御相傳アリテ今御自身ニ付テ領解  
 ナ述給フナリ、我スデニ本願ノ名號ヲ持念ストハ執持念持ノ義ヲ云ベシナリ是  
 レ執持鈔ト題スルニ由テ持念トノ給フ後世物語五丁ニ「佛ノ名願ヲ念持スレバ  
 本願カギリアルユヘニ」トアリ遺德記三丁ニ「シカレバ祖師聖人ヨリ以來一念  
 歸命ノコトハリヲ勸トイヘドモ念持ノ義ヲ教ヘズ」御文三帖三ニ「サレバソノ  
 信心ヲトルトイフハイカヤウナルムツカシキコトゾトイフニナニノワヅラヒモ  
 ナクダバヒトスギニ阿彌陀如來ヲフタゴ、ロナクダノミダテマツリテ餘ヘコ、  
 ロナケラサ、ランヒトハ」又一帖三ニ「一心ニフタゴ、ロナク彌陀一佛ノ悲願  
 ニスガリテダスケマシマセトオモフコ、ロノ一念ノ信マコトナレバカナラズ如

來ノ御ダスケニアヅカルモノナリ」トアリ然バタノムハ念ノ字ノ意ソレヲ餘ヘ  
 散ラサバルガ持ノ字ノ意由テ御文デハ念持ト示ス今ハ持念トノ給フ同意ナリ、  
 往生ノ業スデニ成辨ストハ口傳鈔中八ノ御釋ガ今ノ御意ヲ懇ロニ示シ給フト云  
 フベシ即チ「念佛往生ニハ臨終ノ善惡ヲ沙汰セズ至心信樂ノ歸命ノ一心他力ヨ  
 リサダマルトキ即得往生住不退轉ノ道理ヲ善知識ニアフテ聞持スル平生ノキサ  
 ミニ治定スルアヒダコノ穢體亡失セズトイフトモ業事成辨スレバ體失セズシテ  
 往生ストイハル、歟」トアリ今文ト照シ合シテ心得ベシ 問云彌陀ヲタノム當  
 體ニ往生ノ業事成辨スルトアル彌陀ヲタノムハ名號持念ノ義ナリ其時往生ノ業  
 事成辨ヲ喜ブトアル然ニ論註上四三丁八番問答ノ終リニ經言十念者明業事成辨ト  
 アリ是レ稱名ノ業事成辨ナリ然バ論註ニ相違スルニ非ズヤ答云相違ニ似テ相違  
 ニ非ズ即チ六要五一六丁信卷ノ末ニ引キ給フ是ヲ六要五一七丁信ノ一念ノ下ニ引キ  
 附ケレバ同五二丁ニ獲得金剛真心者橫超五趣八難道必獲現生十種益トアリ  
 然バ信ノ一念ノ時ニ往生ノ業事成辨スルナリ吾祖ノ意是處ニ在リ之ヲ改悔文ニ



照セバタノム一念ノ時往生一定御助治定ト存シコノ上ノ稱名ハ御恩報謝トヨロ  
 コビ申候トアリタノム一念ノ時往生治定スルガ業事成辨ナリ覺師論註ノ本意ヲ  
 得吾祖ノ御指南ニ順シテ示シ給フ處ナリ、カルガユヘニ臨終ニフタ、ビ名號ヲ  
 トナヘズトモ往生ヲトグベキコト勿論ナリトハ是ヲ遡リテ云ヘバ觀經ノ下中品  
 ナリ只名號ヲ信ズルノミニテ往生スルナリ應請順轉ノ義門ノ邊デハ要門自力ナ  
 レドモ自開逆轉スレバ聞名欲往生皆悉到彼國ノ義ヲ顯ス嘆異鈔四十一ニ「攝取不  
 捨ノ願ヲタノミタテマツラズハイカナル不思議アリテ罪業ヲオカシ念佛マウサ  
 ズシテチハルトモスミヤカニ往生ヲトクベシ」トアリ今コノ趣ヲ傳ヘ示シテ教  
 行信證ノ義ヲ顯シ給ヘタモノナリ

一切衆生ノアリサマ過去ノ業因マケクナリマタ死ノ緣無量ナリ乃至ムナシ  
 カルベシ

四述臨終業成失 此ノ一段ハ和語燈七九十一ニ「但シ人ノ死ノ緣ハ兼テ思フニモ  
 叶ヒ候ハズ俄ニ大道路ニテ終ル事モ候又大小便利ノ處ニテ死スル人モ候前業遁

レ難クシテ大刀刀ニテ命ヲ失ヒ火ニヤケ水ニ溺レテ命ヲ亡ス類モ多ク候ヘバ左  
 様ニテ死候トモ日比ノ念佛申テ極樂ヘマイル心ダニ候人ナラバ息ノ斷シ時ニ阿  
 彌陀觀音勢至來リ迎ヘ給フベシト信シ思召スベキニテ候也」トアリ是等ノ意ヲ  
 述テ今死ノ緣無量ヲ示シ給フ口傳鈔下八ニ「前世ノ業因シリカダケレバイカナ  
 ル死ノ緣ガアラン火ニヤケ水ニ溺レ刀劍ニアタリ乃至寢死マデミナコレ過去ノ宿  
 因ニアラズトイフコトナシモシカクノゴトクノ死ノ緣身ニソナヘタラバサラニ  
 ガル、コトアルベカラズモシ怨敵ノタメニ害セラレバソノ一刹那ニ凡夫トシテ  
 オモフトコロ怨結ノホカナンゾ他念アランマタ寢死ニオヒテハ本心イキノタユ  
 ルキワチシラザルウヘハ臨終ヲ期スル先途スデニムナシクナリヌベシイカンシ  
 テカ念佛センマダサキノ殺害ノ機怨念ノホカ他アルベカラザルウヘハ念佛スル  
 ニイトマアルベカラズ」トアリ蓮師ニ來リテハ御文四帖三ニ「予スデニ頽齡六  
 十三歳ニセマレリ勸篇スレバ年ハ、ヤ七年マデイキノヒヌコレニツケテモ前業  
 ノ所感ナレバイカナル病患ヲウケテカ死ノ緣ニノゾマントオボツカナシコレサ



ラニハカラザル次第ナリト」此等ノ諸文ヲ照シ見レバ思ヒ半ニ過シ臨終ノ正念ハ當テニナラズ臨終業成ハ成スベカラズト顯スナリ尤モ臨終ニ因縁満足シテ業ヲ成スルコトニ住スル機アリト雖口傳鈔下三十二順スレバ「モシカ、ル業アリテナハラン機多念ノナハリゾト期スルトコロダナロカズシテソノトキカサテ十念ヲ成シ來迎引接ニアヅカラシメテタトヒカテアラマストイフトモ願トシテカナラズ迎接アランコトオホキニ不定ナリ」トアリ然バヤウヤク臨終正念ニマデ至リタルニセヨ夫ハ只機決定ノミニシテ法決定ハナキナリ十九ノ願ハ假令ノ來迎ナリ必ズトハ云ハズヤウヤクニシテ機ノ決定ハアルトモ法ノ方不定ナラバ何ノ所詮カアラン是レ臨終業成ノ達シ難キヲ示ス處ナリ故ニ臨終正念ハタノムベカラズ臨終業成ハ立スベカラズト行者自ラ深ク計リテ平生業成ノ他力ノ宗風ニ歸セヨト示シ給フ處ナリ可知

シカレバ平生ノ一念ニヨリテ往生ノ得否サダマレルモノナリ平生ノ時不定ノ思ニ住セバカナフベカラズ<sup>乃至</sup>臨終トオモフベシ

二就願成就約橫超斷示平生業成義

コノ下ハ上ノ名號ヲ正定業ト名ルコトハ佛ノ不思議力ヲタモテバ往生ノ業マサシク定ルナリモシ彌陀ノ名願力ヲ稱念ストモ往生ナチ不定ナラバ正定業トハ名クベカラズノ文ハ元祖相承ナルコト既ニ辯ズルガ如シ今其義ヲ更ニ願成就ニ付テ橫超斷ニ約シテ西鎮ニ對シテ元祖相承ヲ腰刀トシテ一念業成ノ義ヲ明シ給フ處ナリ、シカレバ平生ノ一念ニヨリテ往生ノ得否ハ定ルモノナリトハ漢燈七<sup>五</sup>ニ「凡平生之時已成往生行業之人臨終必得聖衆來迎」トアリ此文ヲ拾ヘバ平生ト成スルト行業ノ業ヲ合スレバ平生業成ノ語アリト云フベシ語ノミナラズ義モ亦アリモト平生業成ノ熟語ハ竹林鈔ナリ義ハ元祖吾祖ニアリ一念ハ願成就ノ經文ナレバ今成就ニ付テ一念業成ヲノ給フ一念ト云フハ平生聞信ノ一念ナリ故ニ一念業成ト云フモ平生業成ト云フモ同ジコトナリ、サテ平生ノ時不定ノ思ニ住スレバ叶フベカラズトハ住ノ字ハ和燈及御文ニ出ル語ナリ源トハ觀經日想觀ニ令心堅住專想不移トアリ是ハ堅ク西方日輪ノ方ニ思ヘテ住セシムルナリ而シテ之ヲ自開逆轉門ヨリ見レバ名號ノ一法



ニ心ヲ住シ彌陀ヲ一心ニタノンデ思ヘテ住セシムルコトナリ此ノ令心堅住ノ文ニ據テ略文類執持名號ノ御釋ニ執者心堅牢不移轉持者名不散不失トアルナリ然バ一定ノ思ヘニ住シ善知識ノコトバノ下ニ歸命ノ一念發得スルハ決定ノ思ヘニ住スルコト、云フベシ和燈一三ニ「深キ山路ヲ尋チヤスカナル住家ヲシムル迄モ一筋ノ心ノ靜カアラシメ」等トアリ然バスキカトアレバ其處ニ我身ヲ置クコトナリ今ハ疑ヒアリナガラ障リカ、ヘナガラ頼ム一ツデ助ケル御慈悲ヲ聞テモ我が善惡ヲ心配シテ往生ハ叶フヤ叶ハザルカト案ズルニナリテスハリ込デ居ルユヘニ不定ノ思ヘニ住スルト云フ夫デハ叶フベカラズト示スナリ、平生ノ時善知識ノ言ノ下ニ歸命ノ一念發得セバトハ善知識トハ阿彌陀經ニ衆處知識トアリ序分義五丁ニ「問云此等尊宿云何名衆處知識答德高曰尊者年曰宿一切凡聖知彼內德過人識其外相殊異故名衆處知識」トアリ又眞要鈔末三十七ニ「眞ノ善知識ト云ハ諸佛菩薩ナリ別シテ云トキハ我等ニ法ヲ與ヘ給ヘル人ナリ」トアリ次ニ涅槃經及ヒ華嚴經ヲ出シテアリ二經ハ共ニ六要九三ニ已下御引用ナリ

御文二通ニ「善知識ノ能トイフハ阿彌陀佛ニ歸命セヨトイヘルツカセナリ」トアリコノ言ヲモテ今文ヲ解スベシ願成就デハ十方恒沙諸佛如來トアリ然ニ今我等ニ於テハ凡夫ノ善知識ナラザル可ラズ即チ觀經ノ下三品ハ皆凡夫ノ善知識ナリ我等ニ法ヲ與ヘル有緣ノ善知識ナリ、言ノ下ニトハ善知識ノ御勸化ノ言ノ下ト云コト佛祖統記ニ教トハ聖人下ニ蒙ルノ言トアリ知ル可シ、歸命ノ一念發得セバトハ是ハ言南無者ノ歸命ト願成就ノ一念トチ合ンタモノナリ吾祖六要二ニ六十四ニ言南無者ヲ釋シテ必得往生ノ下ニ至テ經云即得釋云必定トアリ是ハ願成就ト言南無者ト一致ニ扱ヒヨトノ御指南ナリソコデ今モ兩方合シテ一念歸命ト熟シテ示シ給フ、發得トハ如來會ノ經文ニ能發一念淨信トアリ信卷別序文ニ獲得信樂ニ發起自如來選擇願心トアリ獲得ノ得ト能發ノ發ノ字ト兩方合スレバ發得トナル、扱執持ト歸命ノ一念トハ如何ナル關係ナリヤト云フニ是レハ執持ハ念持ノ義ナリ念持スルコトガ即チ歸命スルコトニナル如何トナレバ龍樹ノ易行品ニ若人念我稱名自歸トアリ論註ニ來リテハ念無碍光如來ト云ヒ信佛因



縁ト云ヒ一心歸命ト云フ信念歸一體ニ扱フ是ヲ以テ心ニ念シ持タノガ夫レガ彌陀ニ歸命スル義ナリ故ニ今モ念シタマ、ガヨリタノミヨリカ、ルコトニナルソコデ執持ノ下ニ歸命ヲ出シテ念持ノ有様ヲ懇ロニ示シ給フナリ由テ御文三帖通三ニ「サレバソノ信心ヲトルトイフハイカヤウナルムツカシキコトゾトイフニナニノワヅラヒモナクタ、ヒトスヂニ阿彌陀如來ヲフダゴ、ロナクタノミダテマツリテ餘ヘコ、ロチチラサ、ランヒトハ」トアリ此ノトルトハ執ノ字ナリナラサ、ラントハ持ノ字ノ意ナリ其執持シタ模様ハ何ノワヅラヒモナク一ト筋ニ阿彌陀如來ヲニタ心ナク頼ム相タナリ由テ歸命スルコトガ念持ノ相ユヘ名號執持ト云フ又佛ノ不思議力ヲタモテバ往生ノ業正シク定ル也トアル是レガ歸命ノ相タユヘタモツ相タガ歸命スル相ナリ夫ガ即チ南無阿彌陀佛ノ六字ヲ貰フタ相ユヘ名號念持ノ義トナルナリ、ソノトキチモテ娑婆ノチハリ臨終トオモフベシトハ横超斷ノ義ヲ示シテ平生業成ノ義ヲ顯シ給フ是ニ一義アリ一義デハ六要五下ニ「言斷者發起往相一心故無生而當受生無趣而更應到趣已六趣四生因亡

果滅故即頓斷絕三有生死故曰斷也」ト次ニ光明寺ノ釋ヲ引テ「厭則娑婆永隔欣則淨土常居隔則六道因亡輪廻之果自滅因果既亡則形名頓絕也」ト又禮讚ヲ引ケリ「前念命終後念即生彼國長時永劫常受無爲法樂」ト此ノ下六要下ニハ「但我上人別存一義愚禿鈔云信受本願前念命終即得往生後念即生已上是就平生業成文義所顯橫超頓益也」トアリ是等ノ御釋ヨリ窺ヘバ願成就ノ經文聞名信歸ノ一念ニ六趣四生ノ迷ヒノ因果ヲ滅亡シ淨土ニ往生スベキ身トナルユヘ今日マデ三界六道ノ迷ノ纏ニ繋ガレテ居ル一生ハ終リタル分ナリ由テ娑婆ノ終リ臨終ト思フベシトノ給フ是レハ惑業ヲ斷除スル益ヲ得ル頓速ナルニ付テ義ヲ立タ者ナリ一ツニ心命終ノ義ニ約ス最要鈔下ニ「コレニヨリテ往生ノ心行ヲ獲得スルニ終焉ニサキダナテ即得往生ノ義アルベシ假令身心ノ一ツニ付テ命終ノ道理アヒラカルベキガ無始ヨリコノカタ生死ニ轉環シラ出離ヲ悌求シナラヒタル迷情ノ自力心ニ本願ノ道理ヲキクトコロニ謙敬スレバ心命ノツクルトキニアラザルチヤソノ時攝取不捨ノ益ニモアツカリ住正定聚ノクラ井ニサダマレバコレヲ即得往



生トイフベシ善惡ノ生處ヲサダムルコトハ心命ノツクルトキナリ身命ノツクルトキニアラズトアリ此ノ心身命終ヲ分ツコトハ文珠問經上七下ニ「何故名死更覓生處彼行業熟此謂爲死」トアリ此ノ文ニ順スレバ心命終トハ平生善惡ノ造業ニ由テ來處ノ生處決定スルヲ云フ身命終トハ死ノ緣ニ値フテ臨終ノ夕ニ息ノタユルヲ云フ然バ是レニ例シテミレバ平生ノ時ニ歸命ノ一念發得シテ往生ノ業定ルトキ自力ノ迷ヒノ因トナル計ヒ心ノ盡キタル時チ心命終ト云フナリ改邪鈔末二下ニ「生死流轉ノ本源ヲツナグ自力ノ迷情共發金剛心ノ一念ニ破レテ知識傳持ノ佛語ニ歸屬スルヲ云フ自力ヲステ、他力ニ歸スルトモ名ケマタ即得往生トモナラヒハンヘリ」トアリ自力ヲステ、迷ヒノ纏ノ切レタルガ心ノ命終ナリ之ヲ以テ身ノ命終ヲモテ娑婆ノ終リ臨終ト云フベカズト此ノ二義共ニ用ユベシ、扱娑婆トハ元照ノ彌陀經義疏ニ娑婆亦云索河此翻堪忍悲華經云是諸衆生忍受三毒及諸煩惱故トアリ即チ愚痴ノ闇夜ニ瞋恚ノ電光閃キ貪欲ノ惡鬼羅刹殘害殺戮ニ耽リ迭相吞噬チ事トスル巷ヲ堪ヒ忍ビテ昨日モ過ギ今日モ暮シ徒ラニ

年月ヲ送ルバカリナリ其處ガ堪忍土ナリ土ト云フハ所ト云フコト知ルベシ只今善知識ニ遇ヒ奉リテ早ク歸命ノ一念ヲ發得スレバ其時ニ於テ堪忍娑婆ノ苦ヲ免レテ無量光明土極樂無爲ノ城ニ至ルニ定マル夫チ今娑婆ノ終リ臨終ト思フベシトノ給フ臨終トハ大經下輩ニ此人臨終トアル文ニ據リ給フ下輩ノ文ハ身命終ナレドモ今ハ心ノ命終ニ轉用シ給フ、可レ知

ソモ、南無ハ歸命々々ノコ、ロハ往生ノタメナレバマダコレ發願ナリコノコ、ロアマチク萬行萬善ヲシテ淨土ノ業因トナセバマダ廻向ノ義ナリコノ能歸ノ心所歸ノ佛智ニ相應スルトキカノ佛ノ因位ノ萬行果地ノ萬德コトク名號ノナカニ攝在シテ十方衆生ノ往生ノ行體トナレバ阿彌陀佛即是其行ト釋シタマヘリ

三就言南無者願行具足顯平生業成義是レハ上ノ名號ヲ正定業トナヅクルコトハ佛ノ不思議力ヲタモテバ往生ノ業マサシク定ルユヘナリ、或ハワレスデニ本願ノ名號ヲ持念ス往生ノ業ステニ成辨スルコトヲ喜ブベシトアル夫チ今名號



ノ法體ニ付テ名號ノ不思議ヲ持ツバカリテ往生定ル義ヲ顯サンガ爲ニ言南無者ニ付テ平生業成ノ義ヲ顯シ給フナリ即チ彌陀ヲ頼ム一念ニ發願廻向ノ思ヘアリ此ノタノム心ガ所歸ノ阿彌陀佛ノ助ケ給ヘル御心ニ相應スルトキ因位ノ萬行果地ノ萬德ヲ名號ノ中ニ攝在シテ衆生ニ與ヘ給フユヘニ願行具足シテ其時ニ往生定ルナリ即チ四帖通八ニ「南無ト衆生ガ彌陀ニ歸命スレバ阿彌陀佛ノソノ衆生ヲヨクシロシメシテ萬善萬行恒沙ノ功德ヲサヅケタマフナリコノコ、ロスナハチ阿彌陀佛即是其行トイフコ、ロナリコノユヘニ南無ト歸命スル機ト阿彌陀佛ノタスケタマフ法トガ一體ナルトコロヲサシテ機法一體ノ南無阿彌陀佛トハマフスナリ」トアリ即チ衆生ガ歸命スル一念ニ願行具足スルコトヲ顯ハス言南無者ノ釋意ナルガユヘニ今六字ニ約シテ願行具足ノ義ヲ示シテ平生業成ノ義明カナリト顯シ給フナリ、扱其言南無者ノ釋ハ語ハ竹林鈔上九丁ニ依ル即チ「南無ハ歸命也歸命ノ心ハ往生ノ爲也故ニ亦是發願シ廻向シテ往生ヲ求ル義也如此歸スレバ阿彌陀佛無量無邊不可思議功德ノ名號ノ力即チ歸命ノ衆生ノ行體トナリ

テ願行具足シツレバ一念モ往生疑無シト云也」トアル此ノ文ニ據リテ轉用シ給フナリ、扱歸命ニ付テ一家ノ義ニ付テ論ズレバ一ニ歸命トハシタガヒカナフ義是レハ銘文末切ニ「歸命トイフハ釋迦彌陀ノ二尊ノ勅命ニシタガヒメシニカナフトマフスコトバナリ」トアル文ニ據リテ釋スル義ナリ和讃デハ大心力ヲ歸命セヨノ歸ノ御左假名ニ「ヨリ反タノム反オホセニシタガウミヤウノコトバナリメシニカナウトイフナリ」トアリ是レ通佛法デハ起信義記上ニ歸敬順之義命者諸佛之敎命トアル是レニ順スルナリ時ニ銘文ノ御釋歸命ハ信順ノ義ニ約シテ釋シ給フハ何ニ據リ給フヤト云フニ散善義ニ河喻ノ文ニ照シ合セテ見レバ此ノ義ヲ成ズニ河喻ノ文ニ「西岸上有人喚曰汝一心正念直來我能護汝衆不畏墮水火之難」トアリコノ勅命ニ順フタ相ガ「今信順ニ尊之意不顧水火」ニ河念々無遺乘被願力之道二ノ文ナリ是ガ歸命ノ相ナリ西岸上有人喚トハ命ノ字ノ意信順ニ尊之意ハ歸ノ字ノ意然バ歸命ト云フハ釋迦彌陀ニ尊ノ仰ニシタガヒメシニカナフト云フコトニナル御文二帖通十五ニ「ソレ當流安心ノスガダハイカンソナレ



バマツ我身八十惡五逆五障三從ノイタヅラモノナリトフカクオモヒツメテソノ  
 ウヘニオモフベキヤウハカ、ルアサマシキ我ヲ本トダスケタマヘル彌陀如來  
 ノ不思議ノ本願力ナリトフカク信シタテマツリテスコシモ疑心ナケレバカナラ  
 ズ彌陀ハ攝取シタマフベシトアリ是ガ釋迦彌陀二尊ノ勅命ニ從フタ歸命ノ相  
 タナリ扱第二ニハタノムノ義是レハ日本古代ノ字書ニ依テ歸トハヨクタノムヨ  
 リカ、ルト訓シ給フ尤モ元祖和燈一<sup>八二</sup>ニ「處詮深心ト云ハ惡業煩惱ノ身トイ  
 フトモ十聲一聲等往生ストノ本願ノ道理ナキ、フカク憑ミテ一念疑ナキヲ深心  
 ト申ス」トアリ元祖ノ意ハ信ズル心ガ彌陀ヲタノム心トナル乘彼願力ト深信ス  
 ルノガ本願ニ乗シテタノム思ヘナリ元祖ハ深心ヲ釋シテ深クタノムコトナリト  
 云フ今歸命ノ二字モ向ヒ心ノ方ヨリ釋スルトキハタノムト云フナリ由テ六要二  
<sup>四</sup>歸ノ字ノ御左假名ニ「ヨリタノムヨリカ、ル」トアリ御文四帖<sup>通九</sup>ニ「末代ノ  
 凡夫罪業ノワレラタランモノ罪ハイカホドフカクトモ我ヲ一心ニタノマン衆生  
 ナバカナラズスクフベシトオホセラレタリ」是ガ行卷ノ歸命トハ本願招喚ノ勅

命ナリ「カ、ルトキハイヨ」阿彌陀佛ヲフカクタノミマイラセテ極樂ニ往生  
 スベシトオモヒトリテ一向一心ニ彌陀ヲトウトキコト、ウダガフコ、ロモツマ  
 シキコトナリ」是レガタノム相タヲ示シ給フナリ順フタマ、ガタノム相タナリ  
 尤モタノムト云フコトハ御相承ニ取テ申セバ横川法語ニハ「信心アサケレドモ  
 本願フカキガユヘニタノメバカナラズ往生ス」トアリ元祖ハ和燈四<sup>二</sup>ニ「十  
 方ニ淨土多ケレドモ西方ヲ願フハ十惡五逆ノ衆生生ル、所以ナリ諸佛中ニ彌陀  
 ニ歸レ奉ルハ三念五念ニ至ルマデ迎ヒタマフ故ナリ」又七<sup>九</sup>「誰々モミナ人ノ彌  
 陀ノ誓ヲタノミト」トアリ如信上人嘆異鈔ニハ「攝取不捨ノ願ヲタノミタマ  
 ツラバ」同<sup>八二</sup>ニ「本願ヲタノミ參ラスルコトヲ廻心トハ申シ候」トアリ覺師  
 敬白文ニハ「タトヒ四重五逆ヲ造レル惡人ナリトモタトヒ五障三從ノ垢ツキシ  
 女人ナリトモ我國ニ生レント思フ志ヲ一念オコシテ南無阿彌陀佛トタノミ奉ラ  
 バ必ズ阿彌陀如來御光ニテ其志ヲオサメトリテ永ク捨テズト誓ヒタマヘリ我其  
 本願ヲタノムガユヘニ彼誓ニマカセテスデニ二世ノ苦ヲ後ニナシテ淨土ニ生ル



ベキ身ニ定リヌ」ト存覺上人ハ眞要鈔末<sup>三十一</sup>ニ「來迎ヲタノマズトモ一念ノ信心サダマレバ平生ニ決定往生ノ業ヲ成就スル念佛往生ノ願ニ歸シテ如來他力ヲタノミカナラズ眞實報土ノ往生ヲ遂ベキナリ」諸神本懷集末<sup>三十三</sup>ニ「釋尊ニ歸セント思ハ、彌陀ヲタノミ奉ルベキナリ」トアリ如此代々相承シ給フタノミナリ此ノタノミノ義ヲ以テ歸命ノ能歸ノ相ヲ教ヘ給フガ中興上人ト謂ツベシ五帖<sup>初ニ</sup>「心ナ一ツニシテ阿彌陀佛ヲフカクタノミマイラセテ」又五帖<sup>十二ニ</sup>「阿彌陀如來ノ御袖ニヒシトスガリマイラスルオモヒヲナシテ後生ヲタスケタマヘトタノミマフセバ」トアリ是レ等ノ御文ニテタノム相ヲ知ルベシ、三ニ歸命トハ助ケ給ヘノ義コレハ御文五帖<sup>十三ニ</sup>「歸命トイフハスナハナタスケタマヘトマウスコ、ロナリ」トアリ又四帖<sup>十四ニ</sup>「歸命トイフハ衆生ノ阿彌陀佛後生タスケタマヘトタノミタマツルコ、ロナリ」トアリ又五帖<sup>八ニ</sup>「南無ノ二字ハ衆生ノ彌陀如來ニムカヒタマツリテ後生タスケタマヘトタノミマウスコ、ロナルベシ」トアリ此ノ源トハ行狀翼讚二十一卷ニ「南無阿彌陀佛ト云ハ別シタ

ル事ニハ思ベカラズ阿彌陀ホトケ我ヲタスケ給ヘトイフコトハト心得テ心ニハ阿彌陀ホトケタスケ給ヘトオモヘテ口ニハ南無阿彌陀佛ト稱フルヲ三心具足ノ名號ト申ナリ」トアリ又九品義下<sup>九丁ニ</sup>「此南無言<sup>乃</sup>或翻歸命或云歸身或云救濟或云護我雖有異譯又歸一途謂歸身命於佛境界期救護我滅罪生善矣」トアリ此ノ義ハ南無ノ譯語ニ種々アレドモ歸スル處ハ歸命トハ救濟ヲ乞フヨリ外ナシ歸命トハ我ヲ救濟シ給ヘノ意ナリト示スニアリ傳通記ニハ度我ト云フ立義分楷定記七<sup>二丁ニ</sup>「南無歸命梵漢相對亦云救我度我護我語異義同我猶如命云云」トアリ然バ南無ト云ハスグサマ救我度我ヲ以テ歸命ヲ解スベキナリ然ルニ我宗デハ九品義ヤ傳楷二記ニ據ニアラズ元祖黑谷傳ノ御語ニ據ルト云ベシ即チ蓮師御文帖外四帖<sup>十六ニ</sup>「マヅ南無トイフ二字ハイカナルコ、ロゾトイフニ罪業フカキワレラ衆生ヲタスケタマヘト彌陀如來ニ申コ、ロナリ」トアリ又帖内<sup>二ニ</sup>「マヅ南無トイフ二字ハイカナルコ、ロゾトイフニヤウモナク彌陀ヲ一心一向ニタノミタマツリテ後生タスケタマヘトフタゴ、ロナク信シマイラスルコ、



ロチスナハナ南無トハマウスナリ」トアリ然バ助ケ給ヘト云ハ御助ケ下サレト  
 彌陀如來ニスガリマカセル心ナリ即チ信ズル心ナリ如是ニ義アリト雖歸スル  
 處ハ一ツナリ其故ハ如來ノ勅命ニ順フタ相ガアテチカラニシテ打チマカセル心  
 ナリ其心ガ助ケ給ヘト思フ心ナリト知ルベシ、歸命ノコ、ロハ往生ノタメナレ  
 バマタコレ發願ナリトハ此ノ所依ハ竹林鈔ナリ楷定記ニハ言南無者ヲ釋シテ發  
 願ハ歸命ヲ轉釋シタモノト云フ竹林鈔モ轉釋ノ意ユヘ歸命ハ往生ノ爲ナレバ又  
 コレ發願也ト歸命ノ心其マ、極樂ニ參ル爲ナレバ自ラ願フ心アリト顯ス今モ其  
 意ナリ是ハ南無ト歸命ト一ノ意トスレバ何レニシテモ仔細ナカルベシ御文三帖  
 通六ニ「南無ハ願ナリ」ト云ヒ又二帖<sup>十五</sup>ニハ「南無トイフハスナハナ極樂ニ往生  
 セント願ヒテ彌陀ヲフカクタノミダテマツル」ト云フ然バ南無ヲ釋シテ發願ト  
 ノ給ヘタリ轉シテ歸命ノ釋トスルモ又得タリ知ルベシ、扱往生ノタメナレバマ  
 タコレ發願ナリトアル此ノ往生ノタメトハ一枚起請文ニ「タ、往生極樂ノタメ  
 ニハ南無阿彌陀佛ト申テ疑ヒナク往生スルソトオモヒトリテ申ス外ニ別ノ仔細

候ハズ」トアリ深ク信シテ稱フルガ往生ノ爲ナリ吾祖ニ來リテハ嘆異鈔ニ上ノ  
 文ニ往生極樂ト票シテ「親鸞ニオキテハタ、念佛シテ彌陀ニダスケラレマイラ  
 スベシトヨキヒトノオホセチカウフリテ信ズルホカニ別ノ仔細ナキナリ」ト元  
 祖一枚起請文ノ行ノ仔細ナキヲ吾祖ハ信ノ仔細ナキコト、ナシ給フ是レ信心爲  
 本ノ義ヲ顯ス今モ歸命ノ心ハ往生ノ爲ナレバ信心一ツガ往生ノ正因ト示シテ元  
 祖ノ正意信心正因ニ在ルコトヲ顯ス言ハ竹林鈔ニ據リ乍ラ義ハ此クノ如シト顯  
 ス深妙ナル御釋ト謂ツ可シ扱如此伺ヘバ彌陀ニ歸命スルハ往生ノ爲ナレバ自  
 ラ極樂ニ參リ度ノ思アルト云フコトナク扱銘文末<sup>初</sup>ニ「マタコレ發願廻向之義  
 トイフハ二尊ノ召ニシタガフテ安樂淨土ニ生レント願フ心ナリ」トノ給フ是モ  
 此ノ鈔ト同シコトデ發願トハ二尊ノ召ニシタガフテ安樂淨土ニ生レント願フ心  
 ナリトノ給フナリ帖外御文一<sup>二</sup>ニ「南無阿彌陀佛トイヘル行體ハマズ南無ノ二  
 字ハ歸命ナリ歸命ノコ、ロハ往生ノタメナレバマタコレ發願ナリサレバ南無ト  
 タノメバ阿彌陀佛ノ御方ヨリ光明ヲ放テ行者ヲ攝取シ在スガ故ニ我等ガ往生ハ



治定ナリケリト思フベキナリ」同一二三ニ「歸命ト云モ發願廻向ト云モ同シコ、  
 ロナリ」トアリ又惠空講師ノ彌陀經義要下末六二ニ「信願不異謂信深信名願廻  
 向心稱也是爲異俱一心名也」トアリ此ノ義ニ據レバ信信不異ノ義ヲ顯シ信ニ願  
 ナ具スル義ヲ示ス論註上四ニ「我一心者天親菩薩自誓之詞言念無碍光如來願  
 生安樂」トアリ歸命ノ一心ニ願ヲ具スル義ヲ顯スナリ今モ此ノ義ニ由テ歸命ハ  
 往生ノタメナレバマタコレ發願ナリトノ給フ、問云文ハ竹林鈔ニ據リ義ハ異ナ  
 リアルトハ如何 答云竹林鈔ハ發願廻向ヲ釋シテ發願シ廻向シ往生ヲ求ム義ナ  
 リト云フ是レ萬善萬行ヲ勤メテ夫ヲ廻向シテ極樂ニ參リ度ト思フ發願ナリ今ハ  
 然ラズ阿彌陀如來ヲ頼ミ奉ルトキ極樂へ參リ度ト思フ發願心ガ具ハルナリ由テ  
 銘文ニモ發願廻向ト云ハ二尊ノ召シニシタガフテ安樂淨土ニ生レント願フトア  
 リ本願ニシタガヒ歸命ノタマ、早ヤ其處ニ發願ノ願フ心具ハルト顯ス持テ物持  
 タヌ發願ナリ故ニ其差別アルコト知ル可シ、コノコ、ロアマチク萬善萬行ヲシ  
 テ淨土ノ業因トナセバマタ廻向ノ義アリトハ是ハ言南無者ノ當位ハ發願廻向ト

云ハ願行具足デ云ヘバ歸命ニ具シタ發願廻向デ極樂ヲ願ヒ九方ノ淨土ハ我が願  
 ヒニ非ズ思ヒテ廻ラシテ心ヲ西方ニ向ルコトナリ發願ノ心其マ、ガ廻向ノ心ナ  
 リ由テ銘文ニ發願廻向トイフハ二尊ノ召シニ從フテ安樂淨土ニ生レント願フ心  
 ナリト發願即廻向ノ意ヲ示シ給フ然ルニ今ノ廻向ノ釋ハ萬善萬行廻向ノ義ヲ釋  
 シ給フ其區別アルコトヲ知ル可シ凡ソ廻向ヲ解スルニ二義ヲ以テ先輩ハ解サレ  
 タリ一ニ法ニ約スル義コレハ行卷字訓釋ニ發願廻向ト言フハ如來已ニ發願シテ  
 衆生ノ行ヲ廻施シ給フノ心トノ給フ三帖通八ニ「阿彌陀如來凡夫ノタメニ御辛勞  
 アリテコノ廻向ヲ我等ニアタヘンガタメニ廻向成就シタマヘテ一念南無ト歸命  
 スルトコロニコノ廻向ヲ我等凡夫ニアタヘマシマスナリ四帖通八ニ「南無ト衆生  
 ガ彌陀ニ歸命スレバ阿彌陀佛ソノ衆生ヲヨクシロシメシテ萬善萬行恒沙ノ功德  
 ナサツケタマフナリ」五帖通五ニ「南無ト歸命スル一念ノトコロニ發願廻向ノコ、  
 ロアルベシコレスナハナ彌陀如來ノ凡夫ニ廻向シマシマスニ、ロナリ」トアル  
 是レ皆衆生ノ彌陀ヲ頼ム一念ノ處ニ萬善萬行ヲ與ヘ給フ他力廻向ノ相タナリ之



ニ法ニ約スルノ廻向ノ義トス今文ニ合スレバコノコ、ロトハ是ヲ發願ノコ、ロト解スモアリ又歸命ノコ、ロト解スモアリ又廻向ト云フ言バノコ、ロト解スモアリ今ハ歸命ノコ、ロト解ス義ガ親シト存ズ、アマチク萬善萬行ヲシテトハ如來廻向ノ物柄ヲ云フ淨土ノ業因トナセバトハ衆生ノ歸命ノ一念ニ萬善萬行ヲ廻向シテ衆生往生ノ業因トナシメ給フ淨土ノ業因トナセバト云フ、マタ廻向ノ義ナリトハ歸命ノ心起リタ處デ其處ニスグ如來ヨリ大善大功德ヲ與ヘ給フ心アリ夫ヲ廻向ノ義アリト云フタモノト云フ義也、扱第二機ニ約スルノ義コレハ廻向ト發願トヲ振り離シテ解スナリコノ義デハ廻向トハ萬善萬行ヲバ機ノ方ヨリ廻向スル義ナリ是ハモト善導ノ散善義ニ觀經ノ廻向發願心ニ三釋アリ其中初二釋ニ付テ第一釋ハ自力ニ約ス六要八<sup>三</sup>御引用ナリ第二釋ハ他力ナルガ故ニ六要四<sup>九</sup>御引用ナリ今其第一釋ノ文ヲ示サバ「言廻向發願心者過去及以今生身口意業所修世出世善根及隨喜他一切凡聖身口意業所修世出世善根」以此自他所修善根悉皆眞實深信心中廻向願生彼國故名廻向發願心也」トアリ之ヲ竹

林鈔ニ承ケテ此ノ釋文ノ當分デ解スユヘ發願シ廻向シ往生ヲ求ル義ナリト釋ス今覺師ハ夫ニ隨ヒナガラ弘願ノ法德廻向ノ釋ト轉ジテ用井給フソコデコノ御釋ニ萬善萬行ヲシテトアリ當分デハ銘文ノ御釋ノ如ク發願廻向トハ安樂淨土ニ生レント願フトアルナリ今ハ彌陀ヲ頼ム一念ニ萬善萬行ヲバ如來ヨリ御廻向ニ與カレバ其貫フタモノガサマニ彌陀ノ淨土ヘオシムケル用キアリ夫ガ歸命ノ心ニ具ハル廻向ノ義アリト顯スナリ 問云コノ法德廻向ノ義ハ其義何レニアリヤ 答云ソノ義如來會ノ第十八願ナリ六要四<sup>四</sup>ニ御引用ナリ三經往生文類亦然リ即チ如來會ノ文ニハ本願ノ文ヲ擧ゲテ「諸有情類聞我名已所有善根心々廻向<sup>セシム</sup>」トアリ次ニ成就ノ文ニハ「他方佛國所有衆生聞無量壽如來名號<sup>乃</sup>至所有善根廻向願生無量壽國者」等トアリ三經往生文類ニハ心々廻向トアル文ヲ心々ニ廻向シテト訓シテアリ是等ノ文ニ順ズレバ有ノ善根廻向ト云フハ御當流ハ他力廻向ノ宗義ニシテ約機ノ廻向ナシ第十八願ノ廻因向果ノ廻向アルベキ筈ナシ覺師此ノ處ヲ見透フシテ法德廻向ニ約シテ廻向ヲ釋シ給フ竹林鈔ニ據リ乍ラ弘



願門ニ約シテ法徳廻向ノ義ニ就テ釋ヲ設ケ給フ實ニ青キハ藍ヨリ出デ、藍ヨリモ青シノ風情ナリ所有ノ善根心々ニ廻向スルトアル此ノ心トハ彌陀ヲ頼ム心ニ萬善萬行ヲバ如來ヨリ與ヘ給ヘバ衆生ノ方デ彌陀ヲ頼ム心ニ法ノ徳益トシテ萬善萬行ヲ具シテ此ノ萬善萬行ヲ淨土ヘ廻向シテ淨土ノ業因トスル徳益ガアルト釋顯シ給フナリ、コノ能歸ノ心所歸ノ佛智ニ相應スルトキ彼佛ノ因位ノ萬行果地ノ萬徳名號ノウケニ攝在シテ十方衆生ノ往生ノ行體トナレバ阿彌陀佛即是其行ト釋シタマヘリトハ是ハ上ニ出スガ如ク竹林鈔上下九ニカクノ如ク歸スレバ阿彌陀佛無量無邊不可思議ノ功德ノ力ヲ即歸命ノ衆生ノ行體トナリテ願行具足スレバ一念モ往生疑ヒナシトナリノ文ニ據リ給フコノ能歸ノ心トハ彌陀ヲ頼ム心ナリ處歸ノ佛智トハ勅命ノ喚ビ給フ阿彌陀如來ナリ其阿彌陀如來ノ御心ハ末代ノ凡夫罪業ノ我等タランモノ罪ハイカホド深クトモ我ヲ一心ニ頼メ必ズ救ヒ度ト思ヘ給フ佛ノ大慈悲ガ其儘佛智ナリ頼ム心ガ其御心ニ叶フトキ阿彌陀如來ノ因位ノ萬行果地ノ萬徳名號ノ中ニ攝在シテ衆生往生ノ行トナレバ阿彌陀佛即是

其行トハ申スナリ漢語燈七四十一「彼佛所有因位果上一切功德皆悉攝在此名號中一唱南無阿彌陀佛即得無上善根」トアリ安心決定鈔末下六ニ「本願功德ヲウケトルコトハ宿善ノ機南無ト歸命シテ阿彌陀佛ト稱フル六字ノ中ニ萬善萬行ノ功德タゞ一聲ニ成就スルナリ」トアリ選擇集本下七ニ「名號者萬徳之所歸也然則彌陀一佛所有四智三身十力四無畏等一切內證功德相好光明說法利生等一切外用功德皆悉攝在阿彌陀名號之中故名號功德最爲勝」トアリ吾祖行卷ニ發願廻向トハ彌陀發願シテ衆生ガ信ズルトキ阿彌陀佛即是其行ノ南無阿彌陀佛ヲ廻向シ給フトアル是等ノ意ニ據リテ今阿彌陀佛即是其行ノ釋ヲ施シテ衆生ガ一念歸命ノ時大善大功德ヲ賜ハル故ニ願行共ニ具足シテ往生ノ業事成辨スルト顯シ給フナリ

マタ殺生罪ヲツクルトキ地獄ノ定業ナムスブモ臨終ニカサチテツクラザレドモ平生ノ業ニヒカレテ地獄ニオツベシ念佛モマタカクノゴトシ本願ヲ信ジ名號ヲ稱レバソノ時分ニアタリテ必ズ往生サダマルナリトシルベシ



四舉業道成辨述平生業成義二 初示殺生罪業道成辨 此ノ殺生罪八十惡ノ  
 隨一ニシテ最初ニアリ殊更四重禁ト云テ殺盜姪妄ノ四ハ重罪ナリ而シテ四重禁  
 ノ始メニ在ルガ殺生罪ニシテ重キ中ニ最モ重シ故ニ今其殺生罪ニ付テ成道成辨  
 ナ示スナリ散善義下左ニ「然殺業有<sub>レ</sub>多種或有<sub>レ</sub>口殺或有<sub>レ</sub>身殺或有<sub>レ</sub>心殺乃若論」  
 殺業不簡四生皆能指罪障生淨土トアリ大經五惡段ニハ「轉相尅賊殘害殺  
 戮迭相吞噬不知修善惡逆無道後受殃罰自然趣向神明記識乃世有常道王法牢  
 獄不敢畏慎爲惡入罪受其殃罰求望解脫難得免出世間有斯目前見事壽終  
 後世尤深尤劇入其幽冥轉生受身」等ト殺生造罪ノ果報ヲ示ス此下述文讚下二  
下九五痛華報乃至三塗果報名爲五燒アリ然ハ華報ト果報ノ差別アレドモ重キ果報ニ  
 付テ地獄ノ定業ト云フタモノト知ルベシ、殺父殺母等ノ重罪ヲ造リシ者ハ臨終  
 ニ改メテ造ラズトモ平生造リタル決定業ニ引カレテ未來地獄ノ果ヲ感シテ地獄  
 ニ墮シテ苦ヲ受クベシトナリ、念佛モマダカクノゴトシ等 二對辨念佛 マダ  
 ノカクノゴトシトハ上ノ句ハ造罪ヲ出シテ業道成辨ノ例ヲ出ス今ハ念佛ヲ出

シテ夫ニ對辨シテ示スナリ玄義分下四ニ「此等衆生作不善業五逆十惡具諸不善此  
 人以惡業故定墮地獄多劫無窮」トアレバ殺生ハ惡業ナリ十惡ノ隨一ニシテ父母  
 ナ殺セバ五逆罪トナル今コノ惡業ニ對シテ善業ノ念佛ノ行業ヲ出シテ對辨シ平  
 生念佛ニ付テ業道成辨スルコトヲ示スナリ又殺生ハ身業ナリ念佛ハ口業ナリ故  
 ニ業ト業トヲ出シテ對辨シ給フナリ大經ニハ善人行善從樂入樂惡人行惡從苦入  
 苦從冥入冥トアリ述文讚ニハ行ヲ業ナリト釋ス是レ善惡對辨ニハ善キ例ナリト  
 知ルベシ 問云名號ヲ正定業ト名クルコトハ佛ノ不思議力ヲタモテバ往生ノ業  
 正シク定ルナリトアリコレ信心正定業ナリ今何ゾ稱名正定業ノ義ヲ出スヤ答云  
 是ハ惡行ニ對シテ善行ノ業ヲ出ス行々相望ナルベシ凡ソ行々相望ニ二通りノ義  
 アリーニ善惡相對ノ行々相望、一ニ善々相對ノ行々相望ナリ雜行ニ對シテ正行  
 ト云ヒ助業ニ對シテ正定業ト云フ如キハ是ナリ今善惡相對トハ今ノ一段ナリ、  
 扱今文ニ往生カナラズ定ルトアル此ノ正定業ト云フコトハ善導ノ一心專念彌陀  
 名號乃至是名正定之業ノ語ヨリ起ルコノ正定業ハ三義トナル一ニ能行ニ約ス是ハ



選擇集二行章ガ其意ニテテ稱名必得生依佛本願故ノ意ナリ一ニ信心ニ約ス一多  
 證文<sup>下七</sup>ニ弘誓ヲ信ズルヲ報土ノ業因トサダマルヲ正定ノ業トナヅクトアル意  
 是レナリ三ニハ所信ノ行ヲ正定業ト名ク正信偈ノ本願名號正定業トアルハコノ  
 義ナリ然ニ正定業ノ當分ハ行ニ約スルニアリ故ニ今ハ行ニ約シテ能稱ノ念佛ヲ  
 正定業ト云フ是ハ散善義ノ文ニ順シ行々用對ノ義ニ付テ示シタルナリ處デ名號  
 ノ不思議力ヲタモテバ往生ノ業正シク定ルナリトハ往因究竟ヲ論ズレバ稱フル  
 念佛ニ非ズ信心ガ正定業ナリ其邊ニ約シテ論ズルトキハ名號ノ不思議力ヲタモ  
 ナタ處デ往生ノ業正シク定ルト云フ是ハ一多證文ノ弘誓ヲ信ズルヲ正定ノ業ト  
 名ク或ハ和語燈ノ決定ノ心ニヨリテ往生ノ業ハ定ルナリトノ給ヘタ意ニ據リテ  
 示シ給ヘタル者ナリ而シテ今文ハ結釋ニハ本願ヲ信シ名號ヲ稱フレバソノ時分  
 ニアタリテ必ズ往生ハ定ルナリト必ズ定ルト云フ處ガ決定往生ノ正因ヲ顯スナ  
 リ扱信心モ稱名モ往生ノ因ト云フコトハ根本第十八願ノ儘ニ約シテ示シ給ヘタ  
 ルナリ善導ノ御釋デハ二河喻ノ文ニ汝一心正念直來我能護汝トアリ愚禿鈔ニ一

心ノ言ハ眞實ノ信心ナリ正念トハ第一希有行ナリトアリ然バ信ト行トガ往生ノ  
 因ト顯スナリ略文類ニ發信稱名光照護トアルハ其意ナリ 問云然ラバ上ニ於テ  
 善知識ノ言バノ下ニ歸命ノ一念發得セバ其時ヲ以テ娑婆ノ終リ臨終ト思フベシ  
 トアリ既ニ信心正定業ノ義ヲ示シテアリ然ルナ今稱フル念佛ヲ正定業トシ給フ  
 ハ如何答云是ハ行々相對ナリト前ニ示シテアリ併シ乍ラ一宗ノ信後ノ稱名ハ佛  
 恩報謝ノ念佛ナルコトハ勿論ナリ由テ稱フル念佛ヲ正定業ト云フニ付テ古來三  
 義アリ一ニ信德寄顯ノ義是レハ往因究竟ハ信心正因ニシテ涅槃ノ城ニハ唯ダ信  
 心ヲ以テスルナリ其信德ヲバ諸行念佛相對ノ時ニ夫ヲ能稱ノ行ニモタセテ能稱  
 ノ念佛正定業ト云フ又一義ニハ能稱ノ念佛ハ正定業トハ云ハレテドモ所信所行  
 ノ行體ハ名號正定業ナリ由テ正信偈ニハ本願名號正定業トノ給フ此ノ所行ノ名  
 號ノ正定業ヲ衆生ノ能行能稱ノ念佛ニ寄顯シテ能稱ノ念佛ヲ正定業ト云フト立  
 ルナリ又一義ニハタトヒ能稱ノ念佛ト云ヘドモ其行體ヲ論ズレバ萬德具足ノ名  
 號ナリ願行具足ノ名號ナリ由テ能行ノ念佛ヲ直ニ行體ニ寄セテ報恩ノ稱名ヲ



バ正定業ト云フト解スルナリ右ノ三義ヲ以テ此ノ不審ヲ通釋スベシ。

嘉曆元歲丙寅九月五日拭老眼染禿筆是偏爲利益衆生也

五跋文 文易シ知ルベシ上來不肖淺識ヲ願ミズ本日尾講ニ及ブコト佛祖善知識ノ御冥加ト有リ難ク存ジタテマツル 先ヅ。

# 執持鈔講錄 終

大正六年六月二十七日印刷  
大正六年七月一日發行

非賣品

京都府愛宕郡上賀茂村字小山

眞宗大谷大學内

編輯兼  
發行者

## 安居事務所

右代表者

沼波政憲

京都市下京區中珠數屋町通烏丸東入ル廿八講町  
廿二番戶

印刷者 西村七兵衛

印刷所 法藏館活版部





終

